Canon

POWER PROJECTOR
4K501ST
使用説明書

AISYS
Aspectual Illumination System

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PJLink™

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

安全にお使いいただくために
はじめに
基本編
設置のしかた
接続のしかた
投写のしかた
便利な機能
応用編
メニューの使いかた
メニューの構成
メニューによる設定
ネットワーク上の
プロジェクターを使用する
高度な投写
その他
メンテナンス
製品の仕様
困ったときには

JPN

本書の読みかた

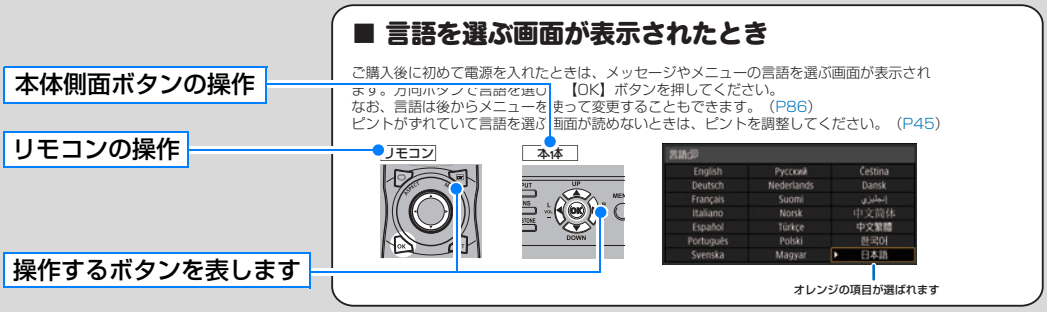
キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。
パワープロジェクター 4K501STは、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能プロジェクターです。

本書について

本書はパワープロジェクター **4K501ST**（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）の使用説明書です。**基本編**には、本機の設置方法や使いかたが説明されています。**応用編**には、メニューの説明とネットワーク接続方法が説明されています。本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については専門の技術者または販売店で行って頂くことをお勧めします。

ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。なお、リモコンではすべての機能が操作できます。
本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中で以下のマークがついた欄は、次のような内容となっています。

操作上の注意事項や知っておいていただきたいことが記載されています。

目次

本書の読みかた 2
おもな特長 4
安全にお使いいただくために 5
安全上の注意を表す記号 5
使用上のご注意 6
設置および取り扱い上のご注意 7
ランプについての安全上のご注意 8
リモコンの電池に関するご注意 9
正しくお使いいただくために 12
設置の前に 13
持ち運び時／輸送時のご注意 13
設置のときのご注意 13
第三者のソフトウェアについて .. 17
はじめに 18
同梱品の確認 18
各部のなまえ 19
リモコンの準備 25
基本編 27
設置のしかた 28
プロジェクターを設置する 28
天吊り金具 RS-CL15 を使用したときの設置方法 30
投写距離と画面サイズの関係 40
レンズシフト機能について 41
接続のしかた 43
コンピューターを接続する 43
AV 機器を接続する 44
4K 映像を投写する 45
電源コードを接続する 50
投写のしかた 51
ステップ 1　電源を入れる 51
ステップ 2　入力信号を選択する 54
ステップ 3　画面を調整する 56
ステップ 4　スクリーンに合わせて縦横比（アスペクト）を選択する 62
ステップ 5　台形ひずみを調整する 63
ステップ 6　画質（イメージモード）を選択する 66
ステップ 7　電源を切る 68
便利な機能 69
応用編 71
メニューの使いかた 72
メニューの構成 72
メニューの基本操作 73
メニューの構成 75
メニューによる設定 80
映像設定 80
イメージ調整 84
設置設定 91
システム設定 102
ネットワーク設定 114
インフォメーション 122
ネットワーク上のプロジェクターを使用する 123
ネットワーク接続時のコンピューター設定 123
ネットワークを設定する 126
コンピューターからプロジェクターを制御する 139
高度な投写 141
エッジブレンディング機能を使って投写する 141
高度なレジストレーションにより投写画面を調整する 145
周辺フォーカスを調整する 149
その他 151
メンテナンス 152
本体を清掃する 152
エアフィルターを清掃する 152
エアフィルターを交換する 154
ランプを交換する 156
交換用のランプについて 157
ランプを交換する 157
製品の仕様 160
表示できるテストパターン 160
対応信号 161
仕様一覧 166
困ったときには 171
LED インジケーターの警告 171
困ったときのアドバイス 172
索引 177
保証とアフターサービス 179

おもな特長

高精細（4096 x 2400 画素）の LCOS パネルによる 4K モデル

0.76 型の 4K-LCOS（反射型液晶）パネルを 3 枚搭載し、高性能映像エンジン（2 基）、新開発の 4K 対応ワイドズームレンズと合せて、最大 4096 × 2400 ドットでの高品位投写が可能な 3 板式 LCOS プロジェクターです。

高輝度コンパクト機

高輝度 5000 ルーメンの 4K モデルでありながら、幅 470mm ×奥行き 533.5mm ×高さ 175mm とコンパクトです。（P166）

完全デジタル対応の映像入力

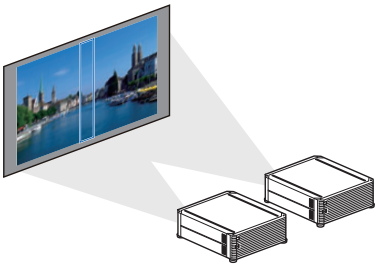
HDMI 2.0（HDCP 2.2）を搭載しブルーレイ映像機器等から HDMI ケーブル 1 本で 4K 映像（最大 4096 × 2160 60Hz）の投写ができます。また、2 つの HDMI 端子と 4 つの DVI 端子を搭載し、複数の映像入力端子を組み合わせたマルチインプット機能により 4K 映像の投写ができます。

周辺フォーカス調整

画面周辺部のフォーカスを調整できるため、ドーム型スクリーンに対応します。（P97、P149）

エッジブレンディング

複数のプロジェクターを並べて 1 つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。（P97）



高精度なレジストレーション補正

画面内の場所によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、場所ごとに微調整できます。（P95）

動画視認性を向上

動画視認性を向上する MB リダクションに新方式を採用し、従来よりも快適な動画を表示できます。（P109）

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警 告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
注 意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
感電注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
高温注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
分解禁止　接触禁止 水ぬれ禁止　ぬれ手禁止	**これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。**
禁 止	**この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。**
アース線を接続する　電源プラグをコンセントから抜け	**これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。**
注 意	**この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。**

電波障害自主規制について

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断装置を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜け

感電注意

- **煙が出ている。**
- **変なにおいや音がする。**
- **水など液体が本機に入った。**
- **金属類や異物が本機に入った。**
- **本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。**

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

禁 止

感電注意

- **電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。**
- **電源コードを敷物などで覆わないでください。**
- **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。**
- **電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。**
- **付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。**

アース線を接続する

感電注意

- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

禁 止

感電注意

- **表示された電源電圧(AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。**
- **電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。**
- **電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。**

ぬれ手禁止

感電注意

- **ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。**

注 意

感電注意

- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。**
- **コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量が超えていないか十分ご確認の上ご使用ください。**

注 意

- **電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。**

設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

水ぬれ禁止

感電注意

- **水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。**
- **本機の上に液体の入った容器を置かないでください。**

接触禁止

感電注意

- **雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。**

電源プラグをコンセントから抜け

感電注意

- **本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。**
- **本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。**

⚠警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。

禁 止　分解禁止

- **キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。**
- **本機（消耗品を含む）・リモコンを改造しないでください。**
- **使用中は排気口をのぞかないでください。**

禁 止

- **吸気口や排気口などの穴から物などを差し込まないでください。**
- **排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。**
- **本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。**
- **使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。**
- **本製品の投写光はIEC62471-5:2015に基づくリスクグループ2（RG2）に分類されます。**

RG2

- **本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。**
- **天吊り設置についての注意は、専用の天吊り金具（別売品）に同梱している「組立・設置説明書」を見てください。**

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示「ランプを交換する」（P156）が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

⚠警告

ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。

- **ランプ交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、1時間以上待ってから行ってください。**
- **ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。**

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

- **電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**
- **本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。**
- **ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。**
- **万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。**

リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２本同時に交換してください。また、種類の異なる電池を同時に使用しないでください。**
- **＋と－の向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

- **長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因となることがあります。**

禁 止

- **投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。**
- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。**
- **本機の上に重い物をのせたり、乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。**
- **投写中、レンズの前に物をおかないでください。また、レンズキャップをつけたまま投写しないで下さい。火災の原因となることがあります。**
- **投写中、本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。**

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

禁 止　高温注意

- **ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、1 時間以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。**

天吊り金具　品番：RS-CL15　別売品

⚠警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。

注意

- **取り付け作業は足場の安全を確保してから行ってください。**
- **プロジェクターの電源プラグやコネクターは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。**

禁止

- **天吊り金具のねじは確実に締め、ゆるめたり取り外したりしないでください。**
- **プロジェクターの投写の調整中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。**
- **プロジェクターの動作中に、レンズの前に物をおかないでください。**

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

注意

- **設置工事は必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因となることがあります。**
- **設置の前に必ず天井の強度を確認してください。設置部分の天井は、プロジェクターと天吊り金具（および延長パイプ）の質量を支える十分な強度が必要です。天井が強度不足のときは、十分な補強を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。**
- **持ち運びや作業は２人以上で行い、落下、指はさみなどに十分注意して作業を行ってください。**
- **地震や振動などによる落下を防止するため、設置の際はワイヤーなどによる落下防止の対策を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。**

注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。

注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となることがあります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

注意

- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときは、本機のレンズやミラーに結露して、映像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の映像が映るまでお待ちください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。使用温度については「製品の仕様」を参照してください。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 高地でご使用される場合や上向き投写、下向き投写でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設定を変更しないと、ランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもりランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。
- 本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。立てたり左右に傾けて設置しないでください。
- 本機の吸気口、排気口を壁などから離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。
- 長い間清掃をしないと内部にホコリがたまり故障や投写する映像に影響が出る場合があります。定期的にエアフィルターを清掃してください。（P152）
- 投写前にレンズキャップを必ず外してください。故障の原因となることがあります。

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を持ち運び、運搬するときは次のことにご注意ください。

注意

- **接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。**
- **調整脚をおさめてください。移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがあります。**
- **強い衝撃や振動を与えず、持ち運びは２人以上で行ってください。**

設置のときのご注意

5～12ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注意

- **本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。**
- **本機を立てかけたり、立てて置かないでください。転倒により故障の原因となることがあります。**

■以下のような場所には設置しないでください

注意

- **湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所**
  レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。
- **高圧電線や電力源の近く**
  正しく動作しないことがあります。
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上**
  内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。
- **高温、低温、高湿度になる場所**
  故障の原因となることがあります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～40℃	85%まで	-20℃～60℃

■レンズを素手で触らないでください

注 意

レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。

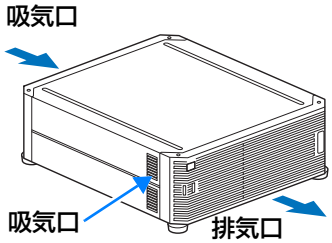
■画面のピントを合わせる（P58）ときは、30 分以上点灯させてから行うことを推奨します。

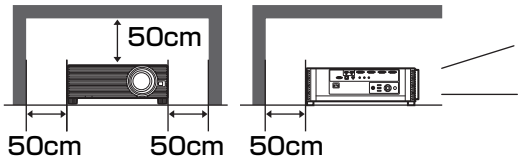
電源を入れた直後はランプの熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。また、ピントを合わせる際はテストパターン（P101、P160）の⑩の画像を使用することをお勧めします。

■壁などから十分な距離をあけて設置してください

注 意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。
また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。下図に示すように、上方、側面、後部何れも壁などから 50 ㎝以上離してください。





■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して映像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の映像が映るまでお待ちください。

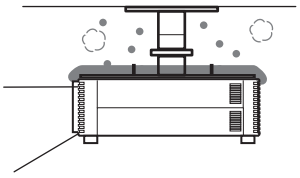
■海抜 2,300m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの［高地設定］（P96）を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合

注 意

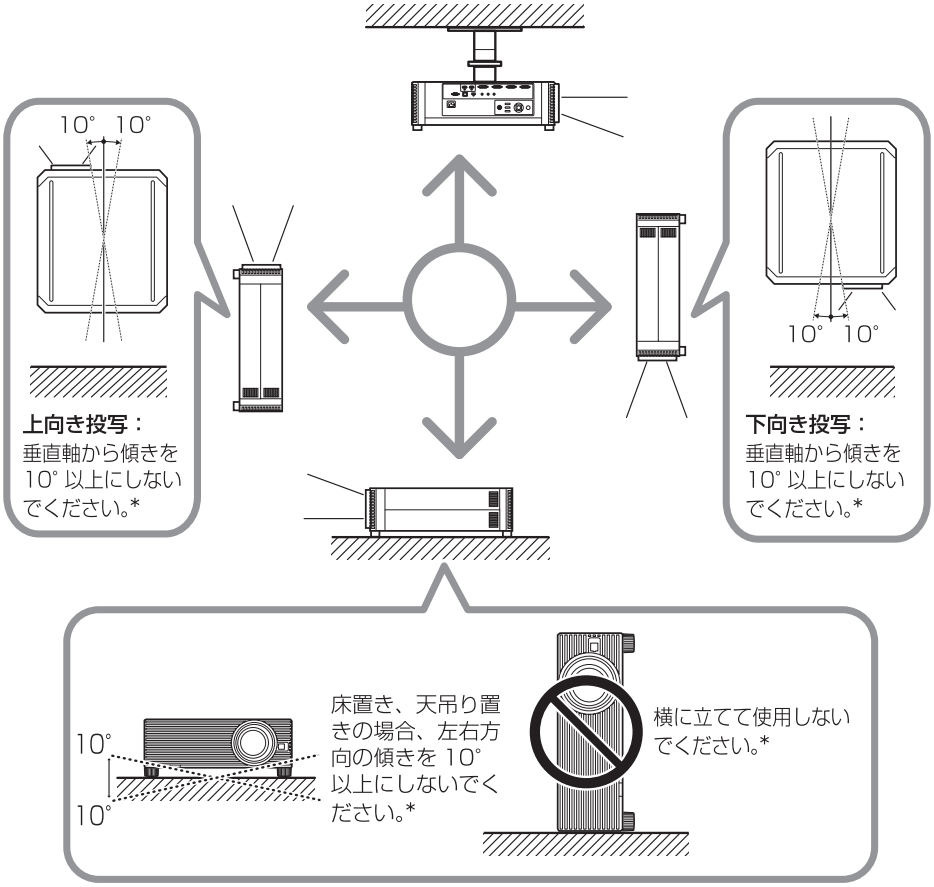
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の清掃を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。



■ 正しい方向に設置してください

注 意

- **本機は、下図に示す通り 360° の方向に設置することができますが、上向き投写、または下向き投写で使用する場合、ランプの寿命が縮まる可能性があります。**
- **上向き投写、または下向き投写で使用する場合は、本機の［設置設定］メニューの［直立投写］（P96）の設定を変更する必要があります。**
- **上向き投写、または下向き投写の設置はお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**



*** ランプ故障の原因となることがあります。**

- 本機は天吊り金具（P29、P30、P179）以外の設置のためのオプションは用意されていません。
- 本機を天井から吊り下げて設置するときは、調整脚が下側になるよう設置することをお勧めします。

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の障害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

＜対策例＞

- イントラネット環境で使用する。
- プライベートIPアドレスで運用する。
- ファイアーウォールが設定された環境で運用する。
- パスワードを定期的に変更する。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista 、Windows 7、Windows 8 、Windows 8.1、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac, Mac OS, および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PJLink は JBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™ は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、同梱セットアップCD-ROMのLICENSEフォルダの「ThirdPartySoftware.pdf」（第三者ソフトウェアライセンス）をご覧ください。
また、各モジュールのライセンス条件につきましては、同じフォルダに含まれていますので、ご覧ください。

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム

本メディアに含まれるソフトウェアプログラム（「本プログラム」）はフリーソフトウェアです。お客様は、GNU General Public License Version 2の定める条件の下で再配布および改変することができます。

それぞれのプログラムは有用であることを願って配布されますが、販売見込みまたは特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含め、一切の保証がありません。下記の「保証の否認」と「サポート」をご覧ください。詳しくは、GNU General Public License Version 2の原文をご覧ください。

保証の否認

本プログラムは無償でライセンスされるものであり、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もありません。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者およびその他の当事者は、本プログラムをそのままの状態で、いかなる保証（明示的か黙示的かに関わらず、また、販売見込みまたは特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されない）もすることなく提供するものとします。本プログラムの品質および性能に関するリスクは、すべてお客様が負うものとします。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、または修正に要する費用は、すべてお客様のご負担となります。

準拠法において義務が課されている場合または書面による合意がある場合を除き、著作権者または上記の定めに従い本プログラムを修正または配布した当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、お客様の被った損害について何らの責任も負いません。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの（データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがお客様である場合と第三者である場合、および本プログラムが他のプログラムと連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない）を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含みます。

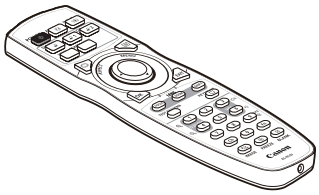
サポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

同梱品の確認

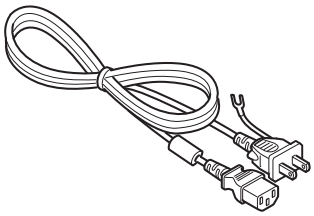
次の同梱品が揃っていることを確認してください。

・リモコン（品番：RS-RC05）

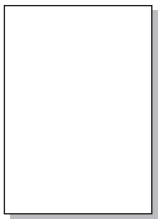


RS-RC05 リモコン は有線リモコンとして使用することができます。(P26)

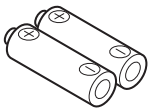
・電源コード（1.8m）
アース線にはキャップが付いています。



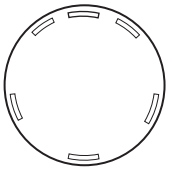
・重要なおしらせ
（Important Information）（冊子）



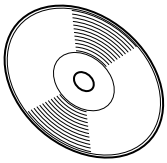
・リモコン用乾電池（単３形２本）



・レンズキャップ

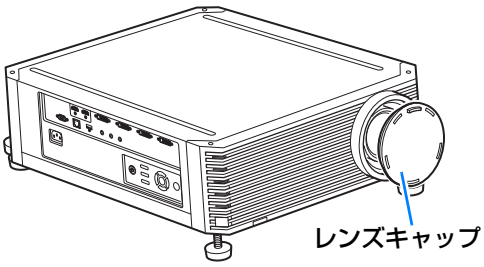


・使用説明書（CD-ROM）



・保証書

■ レンズキャップについて

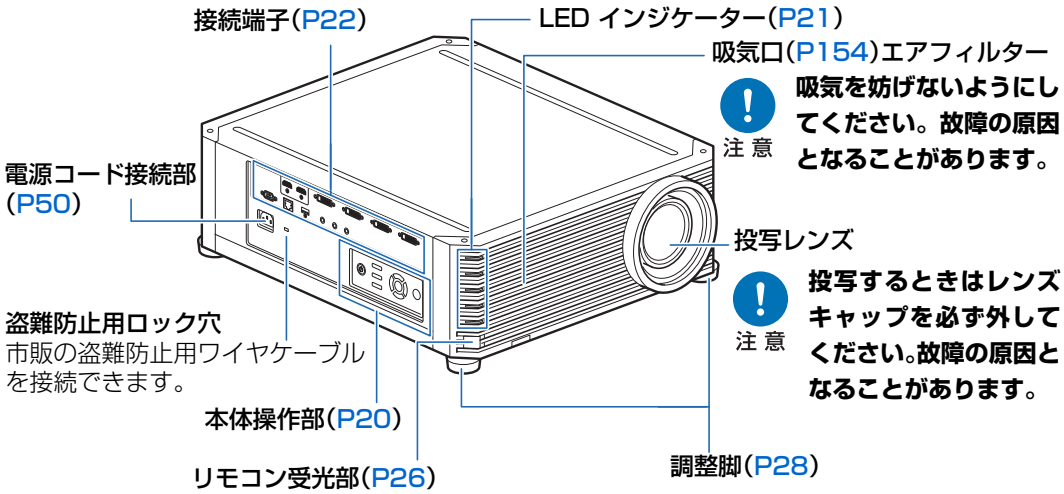


投写するときは必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップを付けたまま投写するとレンズキャップが変形し本機の故障の原因となることがあります。

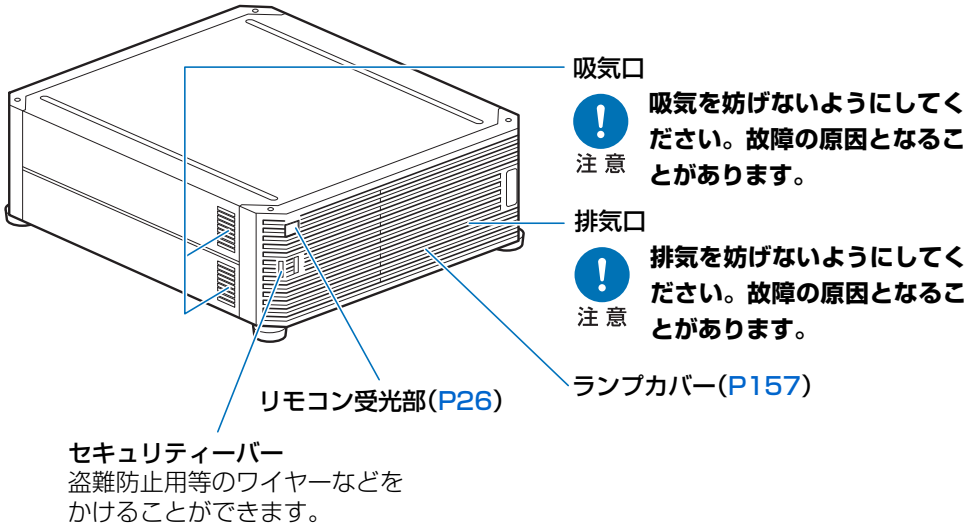
各部のなまえ

本体

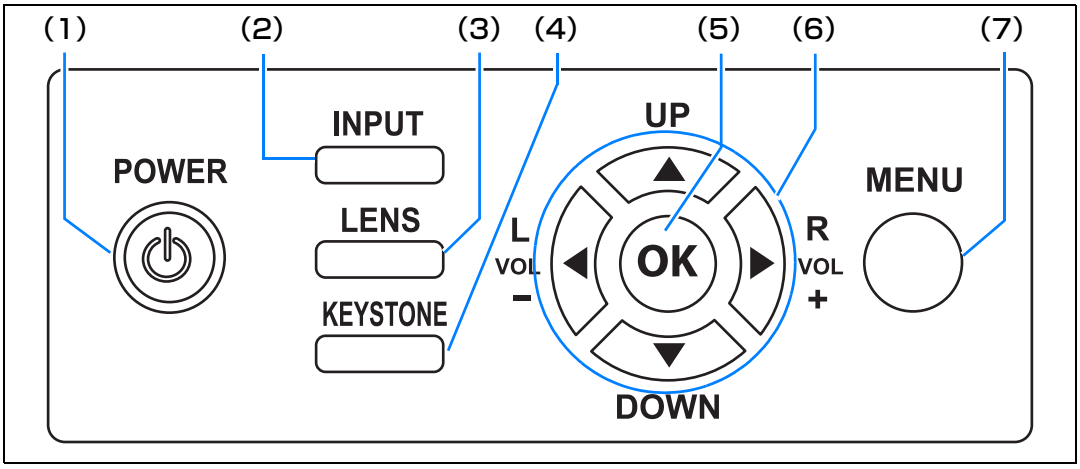
■ 前面



■ 背面



本体操作部



(1) POWER（パワー）ボタン（P51、P68）
電源をON / OFFします。

(2) INPUT（インプット）ボタン（P54）
投写する入力信号を選びます。

(3) LENS（レンズ）ボタン（P58）
押すごとにフォーカス（ピント）（P58）、ズーム（画面サイズ）（P58）、レンズシフト（画面位置）（P60）の調整画面が切り換わります。

調整は【▲】【▼】ボタンまたは【◀】【▶】ボタンで行います。

［周辺フォーカス］の設定（P97）により、フォーカス調整画面の次に周辺フォーカス（画面周辺のピント）（P149）の調整画面も表示されます。

(4) KEYSTONE（キーストーン）ボタン（P63）
台形ひずみ（キーストーン）を補正します。

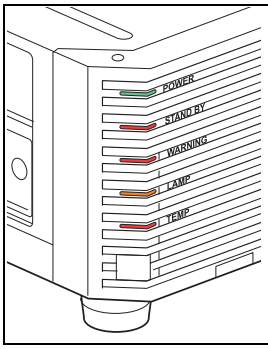
(5) OK（オーケー）ボタン（P74）
メニューなどで選んだ項目を確定します。

(6) 方向 / VOL（ボリューム）ボタン（P73）
メニュー操作などでは上下左右の方向を指定します。
音量を調整します。
【◀】【VOL −】ボタンは音量を下げます。
【▶】【VOL +】ボタンは音量を上げます。

(7) MENU（メニュー）ボタン（P72）
投写画面にメニューを表示します。

LED インジケーター

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。



- POWER（緑）　：正常状態で、点灯または点滅します。
- STAND BY（赤）：スタンバイ中、終了時に点灯または点滅します。
- WARNING（赤）：エラー発生時に点灯または点滅します。
- LAMP（橙）　：ランプやランプカバーの異常時に点灯または点滅します。
- TEMP（赤）　：内部が高温状態になったときに点灯または点滅します。

■ LED インジケーターの表示について

本機の動作状態は５つのLEDの表示で下表の通りに示されます。
警告の表示ついては、「LEDインジケーターの警告」(P171) をご覧ください。

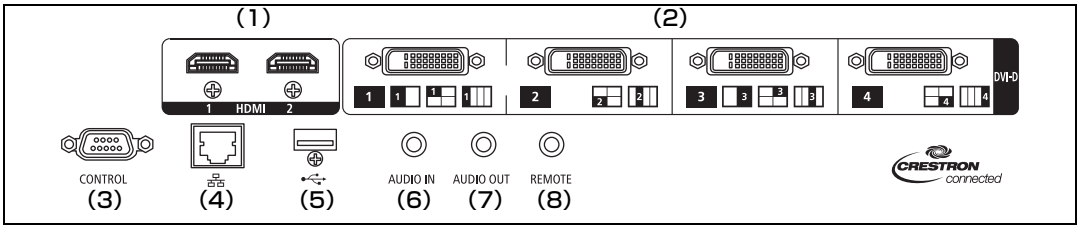
［POWER］インジケータの点灯例　□: 消灯　■: 点灯　▦: 点滅

LED インジケーター					動作状態
POWER（緑）	STAND BY（赤）	WARNING（赤）	LAMP（橙）	TEMP（赤）	
□	□	□	□	□	電源が接続されていません
□	■	□	□	□	スタンバイ状態
▦	□	□	□	□	スタンバイ状態から電源 ON（投写）に移行中です
□	▦	□	□	□	電源 ON からスタンバイ、またはパワーマネージメントモードに移行中で、クーリングダウンしています
■	□	□	□	□	電源が入っています（投写しています）
▦	▦	□	□	□	パワーマネージメントモードでランプを消灯しています（緑、赤が交互に点滅）
□	■	□	▦	□	ランプの交換時期が近づいています（スタンバイ時）
■	□	□	▦	□	ランプの交換時期が近づいています（投写時）
□	■	□	□	▦	内部の温度が高くなっています（スタンバイ時）
■	□	□	□	▦	内部の温度が高くなっています（投写時）
□	□	■	■	□	ランプのエラーが発生しています
□	□	■	□	■	温度のエラーが発生しています
□	□	▦	■	□	ランプカバーが開いています
□	□	▦	□	□	3 回点滅：エアフィルターのエラーが発生しています 4 回点滅：ファンのエラーが発生しています 5 回点滅：電源のエラーが発生しています

注 意

LAMP が点滅しているときは、ランプの交換時期が近づいています。交換ランプを用意してください。

接続端子



(1) HDMI端子（HDMI）（P43、P44）

デジタルコンテンツの映像信号（HDMI）の入力端子です。
映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

(2) デジタルPC / DVI-D端子（DVI-D）（P43）

コンピューターの外部モニター出力と接続します。
デジタル信号（デジタルPC）の入力端子です。

(3) サービス用端子（CONTROL）（P168）

ユーザーコマンドを実行することができます。（P169、P170）

(4) LAN端子（P114）

LANケーブル（シールドタイプ）を接続します。
本機をネットワークに接続できます。

(5) USB端子（P113）

USBメモリを接続する端子です。ファームウェアのバージョンアップに使用します。

(6) 音声入力端子（AUDIO IN）（P43）

音声信号の入力端子です。選択中の映像入力に対応した音声入力端子選択で［オーディオイン］を設定していた場合に、本端子から入力した音声が内蔵スピーカーから出力されます。

(7) 音声出力端子（AUDIO OUT）（P43、P44）

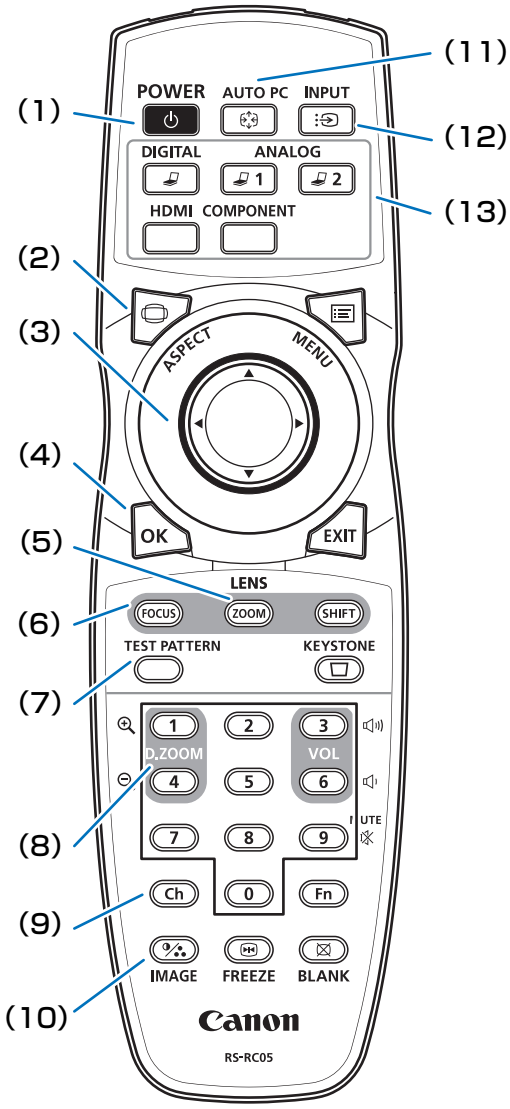
選択中の音声信号が出力されます。（音声ケーブルを端子に接続するとスピーカーは消音になります。）

(8) 有線リモコン用端子（REMOTE）（P26）

リモコンをケーブルで接続するときに使用する端子です。

リモコン

付属しているリモコンで本機のすべての操作ができます。



(1) POWER（パワー）ボタン（P51、P68）
電源をON / OFFします。

(2) ASPECT（アスペクト）ボタン（P62、P81）
映像の縦横比（アスペクト）を切り換えます。

(3) 方向ボタン（P73）
メニューなどで上下左右の方向を指定します。

(4) OK（オーケー）ボタン（P74）
メニューなどで選んだ項目を確定します。

(5) ZOOM（ズーム）ボタン（P58）
画面サイズを調整します。
【▲】【▶】ボタン
　画面サイズを拡大します。
【▼】【◀】ボタン
　画面サイズを縮小します。

(6) FOCUS（フォーカス）ボタン（P58）
画面のピントを合わせます。
【▲】【▶】ボタン
　ピントの位置を遠くにします。
【▼】【◀】ボタン
　ピントの位置を近くにします。
FOCUS ボタンを 2 回押すと画面周辺のピントを合わせることができます（P149）。
［周辺フォーカス］の設定（P97）

(7) TEST PATTERN（テストパターン）ボタン（P101）
テストパターンを表示します。

(8) D. ZOOM（デジタルズーム）ボタン
本機では使用しません。

(9) Ch（チャンネル）ボタン（P107）
リモコンを赤外線で使用する場合のチャンネルを切り換えます。

(10) IMAGE（イメージ）ボタン（P66）
イメージモード（画質）を切り換えます。

(11) AUTO PC（オートピーシー）ボタン
本機では使用しません。

(12) INPUT（インプット）ボタン（P54）
投写する入力信号を選びます。

(13) 入力信号切替えボタン
入力信号をデジタルPC、HDMIに切り換えます。
［ANALOG 1］、［ANALOG 2］、［COMPONENT］は本機では使用しません。

（14）MENU（メニュー）ボタン（P72）
投写画面にメニューを表示します。

（15）EXIT（イグジット）ボタン（P74）
メニュー表示や、テストパターンなどの使用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

（16）SHIFT（シフト）ボタン（P60）
画面を上下左右に移動します。
【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
画面を移動します。

（17）KEYSTONE（キーストーン）ボタン（P63）
台形ひずみを調整します。
操作は［キーストーン］の設定により、上下、または左右方向の長さを調整する縦横キーストーンと、画面の四隅を調整する４点補正があります。

（18）VOL（ボリューム）ボタン
音量を調節します。
【▶】、数字ボタンの【3】
音量を上げます。
【◀】、数字ボタンの【6】
音量を下げます。

（19）MUTE（ミュート）ボタン
音声を一時的に消します。

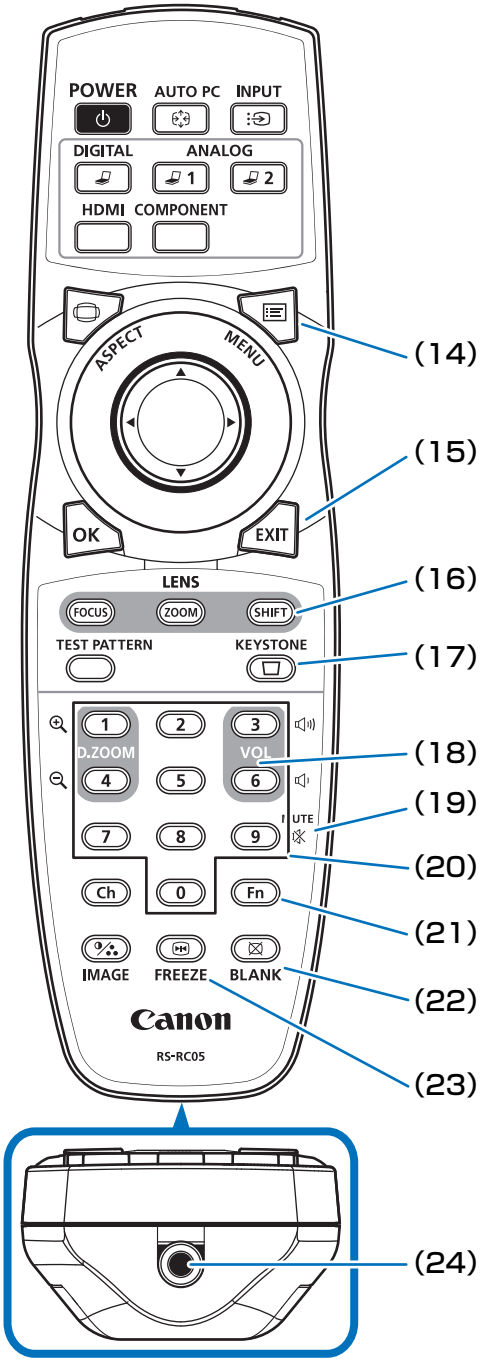
（20）数字ボタン（P111、P116、P118）
パスワードや TCP / IP の設定値などの入力をします。

（21）Fn（ファンクション）ボタン
本機では使用しません。

（22）BLANK（ブランク）ボタン（P69）
映像を一時的に消します。

（23）FREEZE（フリーズ）ボタン（P69）
映像を静止させます。

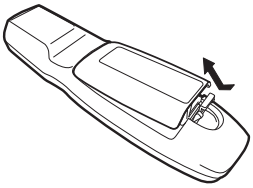
（24）有線リモコン用端子（P26）
本機をケーブルで接続して、操作します。



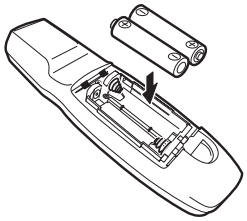
リモコンの準備

■ リモコンへの電池の入れかた

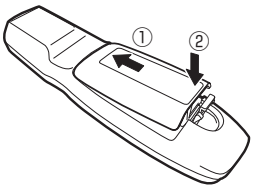
1 **電池カバーを開く。**
電池カバーのつまみを押しながら上に持ち上げます。



2 **電池を入れる。**
新しい単３乾電池２本を＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。



3 **電池カバーを閉じる。**
ツメをリモコンの切り欠けに入れ（①）、電池カバーを押し下げます（②）。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となることがあります。

警告

禁 止

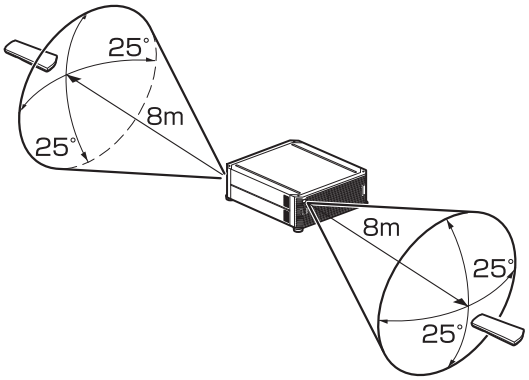
電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。
- **電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。**
- **付属の電池は充電しないでください。**

注 意

- **電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。**
- **電池を交換するときは２本同時に交換してください。また、種類の違う電池を同時に使用しないでください。**
- **＋と－の向きを正しく入れてください。**
- **万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。**

■ リモコンで操作できる範囲

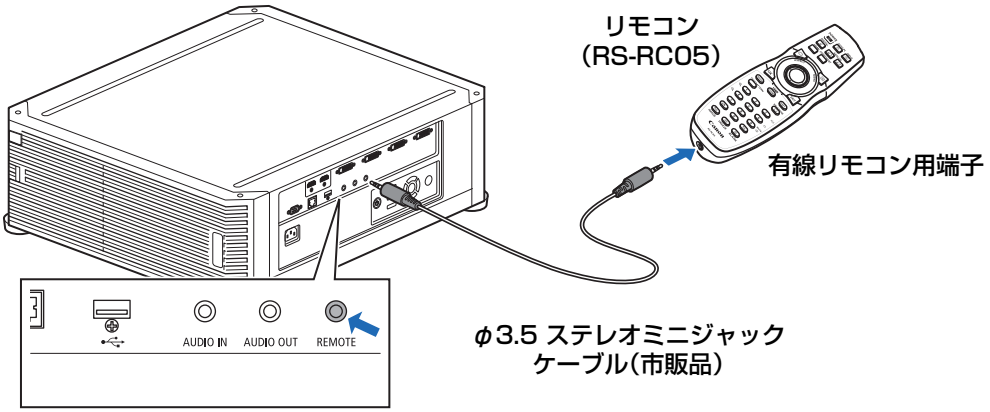
リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。



- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2 台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P107)

■ リモコン（RS-RC05）をケーブルで接続して使う場合

リモコンを本体とケーブルで接続して使用することもできます。
ケーブルは、市販品の φ3.5 ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。
- φ3.5ステレオミニジャックケーブル(市販品)は、**長さ30m以下**のものを使用してください。

基本編

安全にお使いいただくために
はじめに
基本編
設置のしかた
接続のしかた
投写のしかた
便利な機能
応用編
メニューの使いかた
メニューの構成
メニューによる設定
ネットワーク上の
プロジェクターを使用する
高度な投写
その他
メンテナンス
製品の仕様
困ったときには

設置のしかた

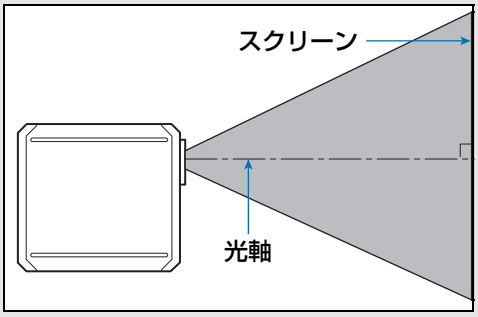
本機を設置する前に、「設置の前に」（P13）を必ずお読みください。

プロジェクターを設置する

■ スクリーンの正面に置く

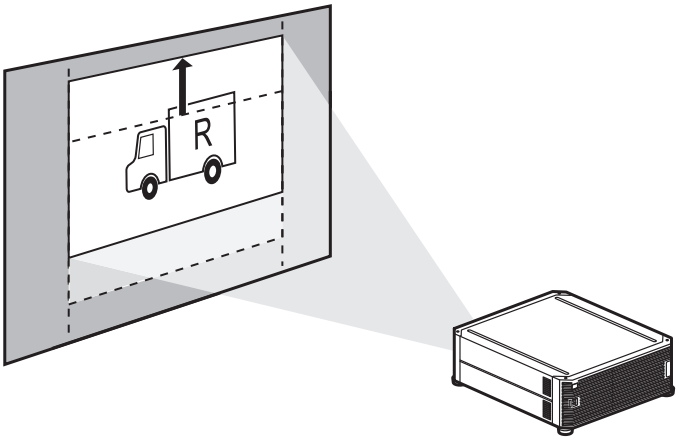
本機をスクリーンの正面に置いてください。

- 真っすぐに投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。
- 使用するスクリーンの特性によっては、斜めから見た場合に投写画面の一部が色づいて見えることがあります。広視野角タイプ（マットタイプ）のスクリーンの使用を推奨します。



■ 床に置く

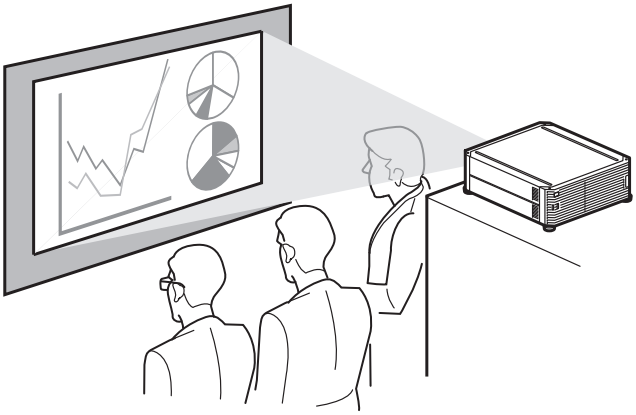
床置きのとき、スクリーンへの投写位置を調整するには、レンズシフト機能（P41、P60）を使用して画面を上下左右に調整することができます。
画面サイズと投写距離の関係については40ページを参照してください。



レンズシフト

■ 高い位置に置く

本機は、レンズシフト機能（P41）を使用して画面を下側に投写することができます。本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に調整脚を下にして設置してください。

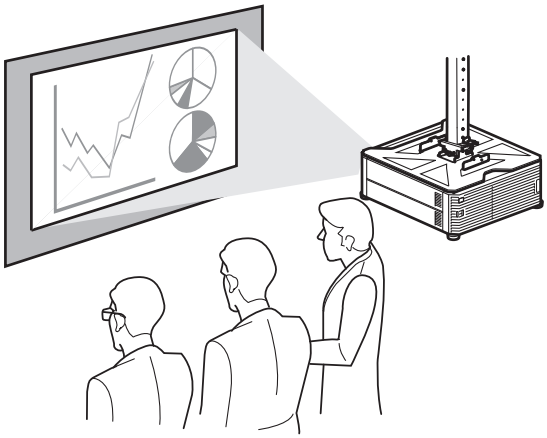


注意

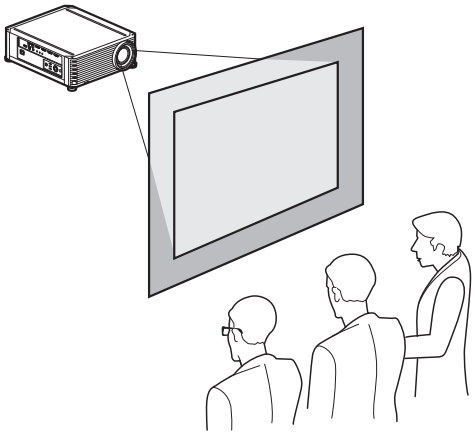
本機が落下して事故やけがの原因になります。

■ 天吊り / リア投写について

本機は、天井から吊り下げ（天吊り）て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写（リア投写）することもできます。



天吊り投写



リア投写

本機を天井から吊り下げて設置するときは、調整脚が下側になるよう設置することをお勧めします。

天吊り金具 RS-CL15 を使用したときの設置方法

注 意

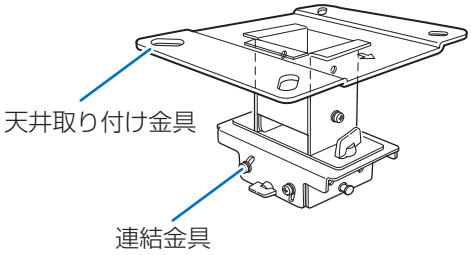
本製品（RS-CL15）は天吊り専用です。天吊り以外の用途では使用しないでください。

天吊り金具 RS-CL15 の部品の構成

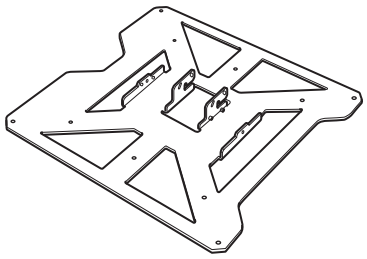
■ RS-CL15 の同梱品

質量：RS-CL15 (6.9 kg)

・天井取り付け金具および連結金具



・本体取り付け金具

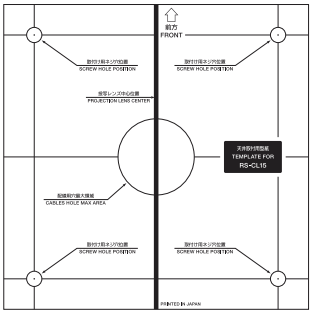


作業工程の中で天井取り付け金具と連結金具はいったん分離させる必要があります。

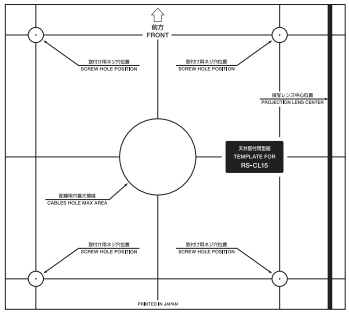
・天井取り付け穴用テンプレート：2 枚

本機にはテンプレート紙（T2）を使用してください。

T1



T2

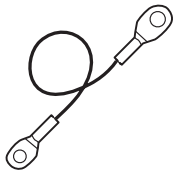


・M6 ねじ（25mm）：4 本

・M5 ねじ（12mm）：4 本

・M4 ねじ（15mm）：10 本

・落下防止ワイヤー：2 本



・ワッシャー（歯付座金）：1 枚

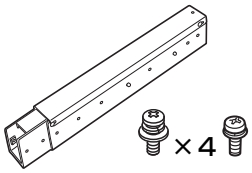
・組立・設置説明書（冊子）：1 冊

■ 延長用パイプ RS-CL08 / RS-CL09（別売）

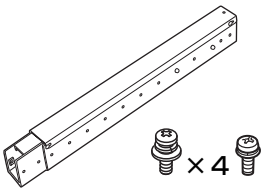
質量：RS-CL08 (2.2 kg)/RS-CL09 (3.4 kg)

天井の高さに合わせて、別売の延長用パイプ（RS-CL08 / RS-CL09）をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

RS-CL08
外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー
M5 ねじ（12 mm）：4 本
M3 ねじ（10 mm）：1 本
※ 延長量は 35 ～ 55 cm で、5 cm ごとに調整できます。



RS-CL09
外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー
M5 ねじ（12 mm）：4 本
M3 ねじ（10 mm）：1 本
※ 延長量は 55 ～ 95 cm で、5 cm ごとに調整できます。



取り付け位置

プロジェクターはスクリーンの正面に設置してください。ただし、レンズシフトを使って画面の位置を補正することができます。

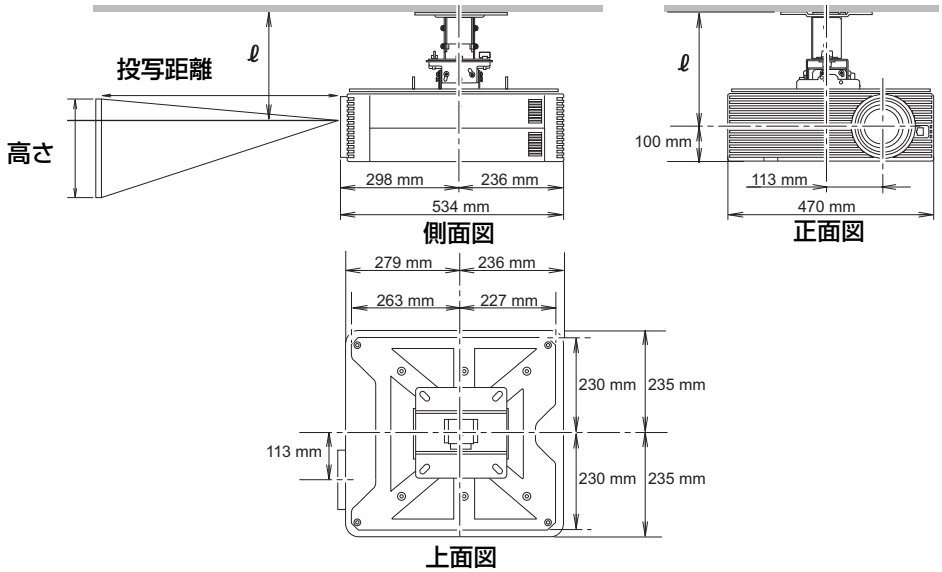
注 意

- **設置の前に必ず天井の強度を確認してください。設置部分の天井は、プロジェクターと天吊り金具（および延長パイプ）の質量を支える十分な強度が必要です。天井が強度不足のときは、十分な補強を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。**
- **取り付け作業は２人以上で行い、落下、指はさみなどに十分注意して作業を行ってください。**
- **地震や振動などによる落下を防止するため、設置の際はワイヤーなどによる落下防止の対策を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。**

注 意

- **プロジェクターの吸気口から壁までは 50 cm 以上、排気口から壁までは 50 cm 以上離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。**

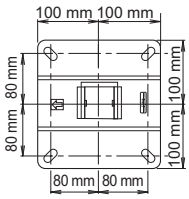
取り付け寸法



天井からレンズ中心までの距離（ℓ）

RS-CL15	RS-CL08 を使用	RS-CL09 を使用
22.9 cm	57.9 ～ 77.9 cm	77.9 ～ 117.9 cm

天井取り付け金具

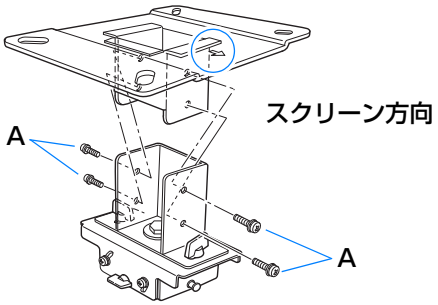


組み立てと設置

■ 普通の天井への取り付け

準 備：天井取り付け金具と連結金具をいったん分離する

連結金具の M5 ねじ（A）4 本を外し、天井取り付け金具と連結金具を分離します。



1 天井に穴を開けます。

- テンプレート紙（T2）を使用し、天井取り付け金具の固定用の穴を開けます。
- ケーブル類の配線用の穴を開けます。

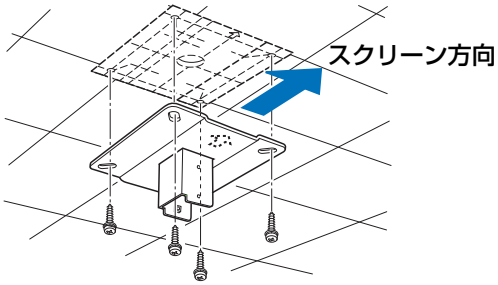
注意

- **天井の穴の位置を決めるときは、必ず付属のテンプレート紙（T2）をご使用ください。**
- **テンプレート紙（T2）にはスクリーン方向と光軸（レンズのセンター）が記載されています。**

2 天井取り付け金具を天井に固定します。

金具の矢印をスクリーンに向け、M13ねじ４本で天井に固定します。

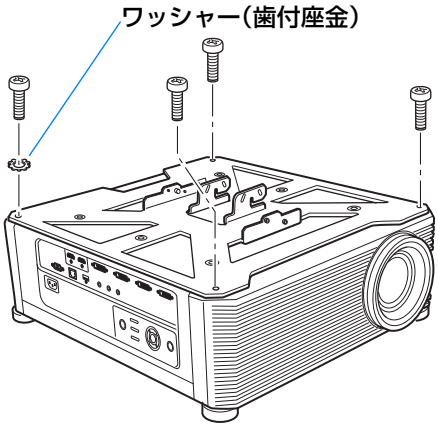
- 金具の取り付け前にテンプレート紙(T2)ははがしてください。
- M13ねじは付属していません。天井の構造に適したねじをご用意ください。



3 本体取り付け金具をプロジェクターに固定します。

① 本機上面の四隅のビスを外します。

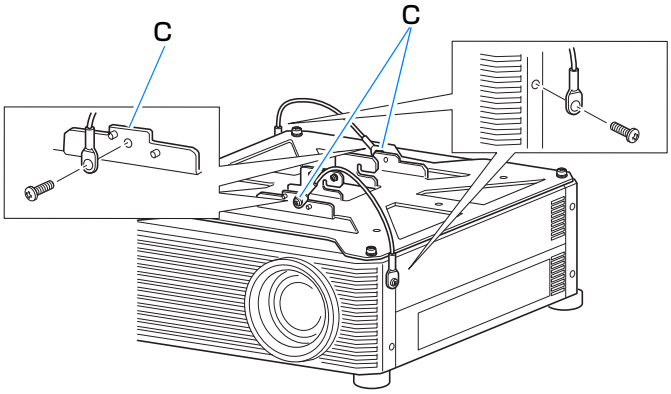
② 本体取り付け金具のねじ取り付け部 4 箇所を付属の M6 ねじで固定します。
このとき右図のように、左後の一箇所に付属のワッシャー（歯付座金）を取り付けてください。



4 落下防止ワイヤーを取り付けます。

ワイヤー先端のターミナル金具を本体取り付け金具の（C）のねじ穴に付属の M4 ねじで固定します。

- ねじは、緩みのないようにしっかり締め付け固定してください。

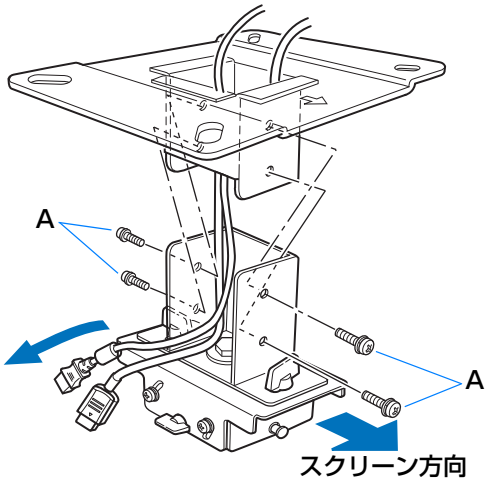


5 **天井の穴からケーブル類を出します。**

- 図のように天井取り付け金具の穴からケーブル類を出します。
- ケーブル類が太い場合、天井取り付け金具の穴とは別の箇所に穴をあけケーブルを通してください。

6 **天井取り付け金具に連結金具を固定します。**

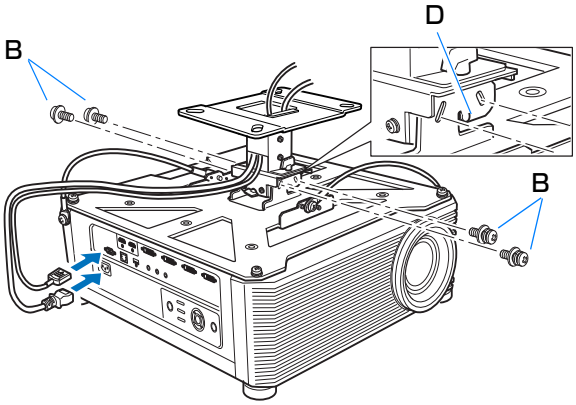
準備のときに外しておいた M5 ねじ（A）4 本で固定します。



7 **本体取り付け金具を連結金具に掛けて仮止めします。**

連結金具の突起 (D) に引っ掛け、予め取り外した M5 ねじ (B) 4 本で仮止めします。

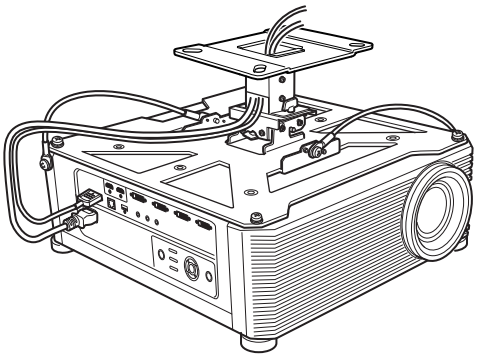
- ケーブル類を引き出してください。
- ねじ (B) は「投写角度の調整」（P38）の後でしっかり締めて固定してください。



8 **ケーブル類を接続します。**

プロジェクターにケーブル類を接続します。

設置が終わったら、投写角度を調整してください。（P38）



■ 高い天井への取り付け

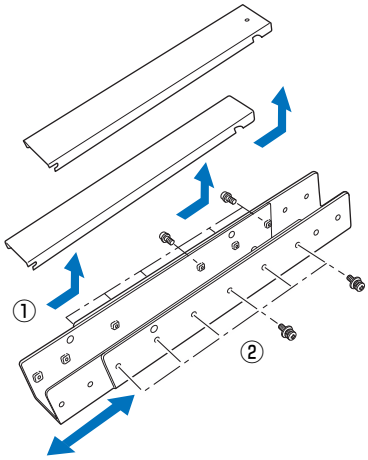
天井が高いときは、別売の延長用パイプRS-CL08またはRS-CL09を使用します。

準 備：天井の高さに合わせ、パイプの長さを調整する

① 外側パイプと内側パイプのカバーを図のように少しずらし、取り外します。

② プロジェクターを取り付ける延長高さ（下の表を参照）に合わせてから付属のM5ねじ４本で図のように固定します。

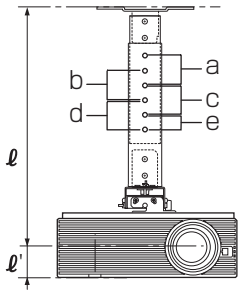
- ②のねじは、連続した２穴ではなく、間を１穴空けて固定してください。ただし、最も延長したときは、連続した２穴で固定してください。



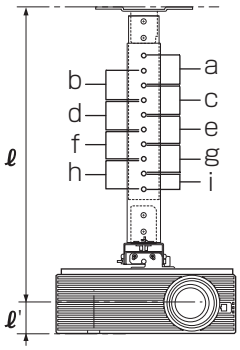
延長用パイプを取り付けたときの延長量（レンズシフト量が0% のとき）

取り付け穴の位置	天井からレンズ光軸までの距離（ℓ）	
	RS-CL08	RS-CL09
a	57.9 cm	77.9 cm
b	62.9 cm	82.9 cm
c	67.9 cm	87.9 cm
d	72.9 cm	92.9 cm
e	77.9 cm	97.9 cm
f		102.9 cm
g		107.9 cm
h		112.9 cm
i		117.9 cm

RS-CL08の場合



RS-CL09の場合



1 天井取り付け金具と連結金具をいったん分離します。⇒ P32 準備

2 天井に穴を開けます。⇒ P32 手順１

3 天井取り付け金具を天井に固定します。⇒ P33 手順２

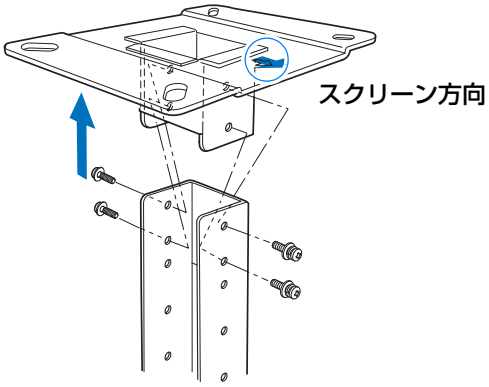
4 本体取り付け金具をプロジェクターに固定します。⇒ P33 手順３

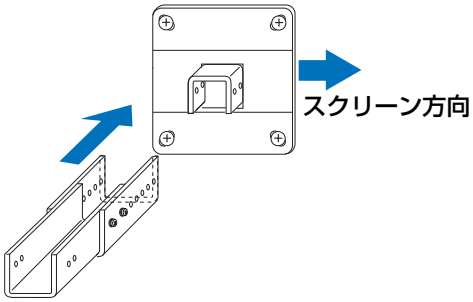
5 落下防止ワイヤーを取り付けます。⇒ P33 手順４

6 **天井取り付け金具に延長パイプの上端を固定します。**

延長用パイプに付属のM5 ねじ４本で固定します。

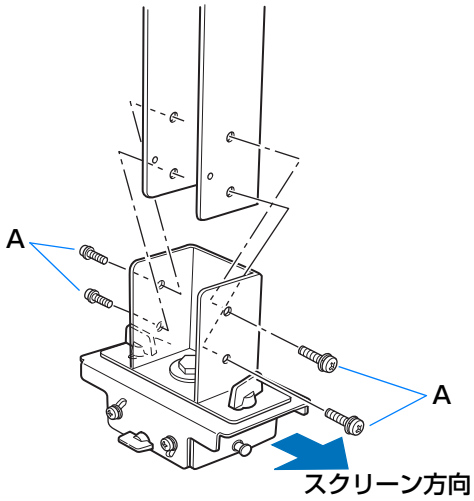
- 図のようにパイプの開放部は天井取り付け金具の開放部に対して 180 度になる向きで取り付けます。





7 **連結金具を延長パイプの下端に取り付けます。**

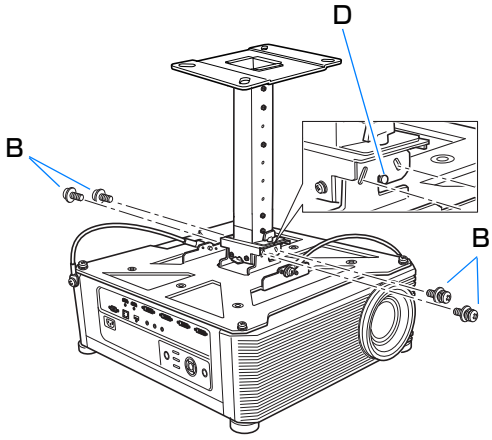
準備のときに外しておいた M5 ねじ（A）４本で固定します。



8 **本体取り付け金具を連結金具に掛けて仮止めします。**

連結金具の突起（D）に引っ掛け、付属のM5 ねじ(B)4本で仮止めします。

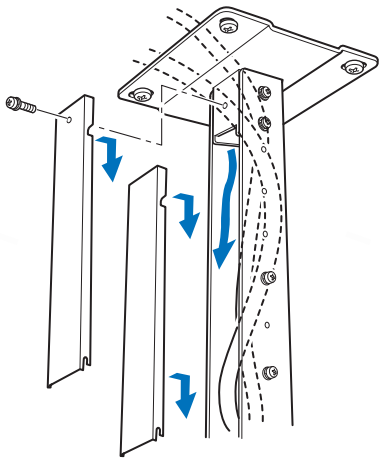
- ケーブル類を引き出してください。
- ねじ(B)は「投写角度の調整」(P38)の後でしっかり締めて固定してください。



9 **ケーブル類をパイプ内に配線し、カバーを閉めます。**

ケーブル類が太い場合、天井取り付け金具の穴とは別の箇所に穴をあけケーブルを通してください。

① 天井の穴からケーブル類を引き出します。
② パイプの内側にケーブル類を収納します。
③ パイプのカバーを内側、外側の順で閉め、延長用パイプに付属の M3 ねじ 1 本で固定します。
④ ケーブル類をプロジェクターに接続します。

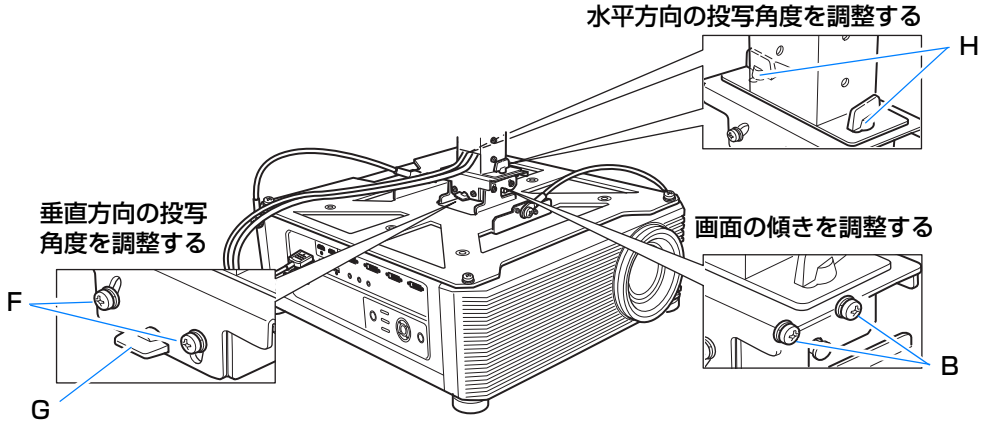


投写角度の調整

プロジェクターの電源を入れ、映像を投写して投写角度および画面の傾きを調整してください。

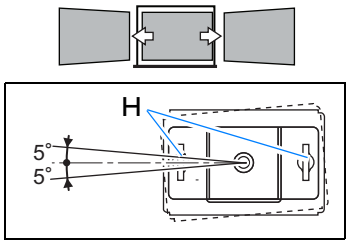
注 意

- **調整後はそれぞれのねじをしっかりと締め、各金具が確実に固定されていることを確認してください。**
- **各金具を確実に固定するまでは、プロジェクターが落下しないように支えてください。**



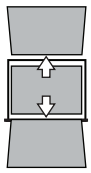
■ 水平方向の投写角度（ひずみ）を調整する

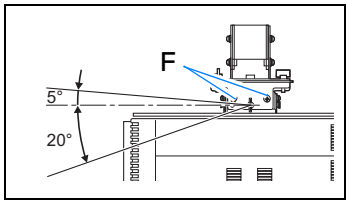
① 蝶ねじ（H）２本をゆるめ、本体を左右に動かして水平方向の投写角度を調整します。
② 位置が決まったら、蝶ねじを締めて固定します。



■ 垂直方向の投写角度（ひずみ）を調整する

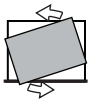
① ねじ（F）４本、蝶ねじ（G）２本の順にゆるめ、本体を上下に動かして垂直方向の投写角度を調整します。
② 位置が決まったら、蝶ねじ（G）、ねじ（F）の順に締めて固定します。

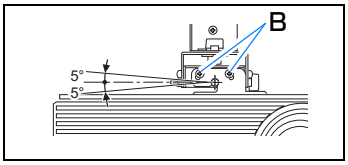




■ 画面の傾きを調整する

① ねじ（B）4 本をゆるめ、本体の傾きを調整します。
② 位置が決まったら、ねじ（B）を締めて固定します。





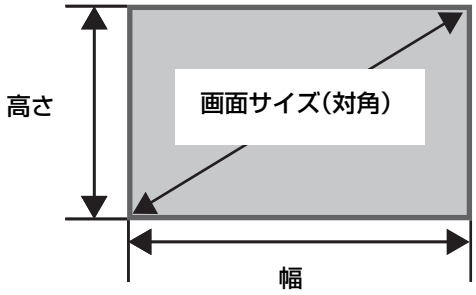
警告

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

- **電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。**
- **本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。**
- **ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。**
- **万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。**

投写距離と画面サイズの関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）と画面のサイズ（P58）、画面のピント（P58）で決まります。次の表を参考に、本機のスクリーンからの距離を決めてください。



投写距離と画面サイズの関係（参考値）

画面サイズ（型）	4096 × 2160		4096 × 2400		投写距離［m］	
	幅 [cm]	高さ [cm]	幅 [cm]	高さ [cm]	ワイド端	テレ端
40	90	47	88	51	0.9	1.1
60	135	71	131	77	1.3	1.7
80	180	95	175	103	1.8	2.3
100	225	118	219	128	2.2	2.9
120	270	142	263	154	2.7	3.5
140	315	166	307	180	3.1	4.1
160	359	190	351	205	3.6	4.7
180	404	213	394	231	4.0	5.3
200	449	237	438	257	4.5	5.8
220	494	261	482	282	4.9	6.4
240	539	284	526	308	5.4	7.0
260	584	308	570	334	5.9	7.6
280	629	332	614	360	6.3	8.2
300	674	355	657	385	6.8	8.8
350	786	415	767	449	7.9	10.3
400	899	474	877	514	9.0	11.8
450	1011	533	986	578	10.2	13.2
500	1123	592	1096	642	11.3	14.7
550	1236	652	1205	706	12.4	16.2
600	1348	711	1315	770	13.6	17.7

レンズシフト機能について

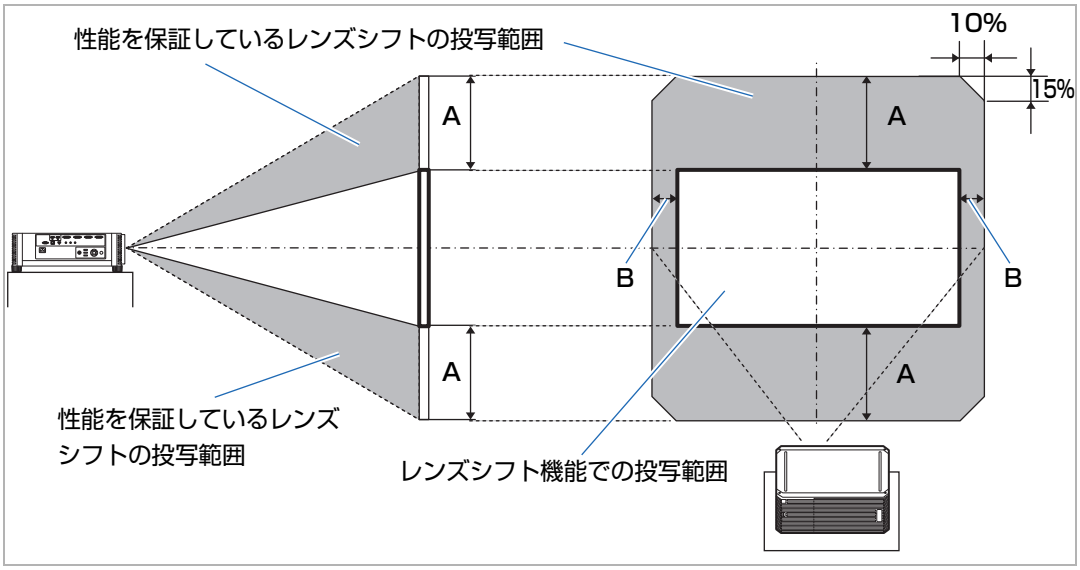
リモコンの【SHIFT】ボタンで投写レンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動することができます。操作のしかたについては、「画面の位置を調整する」（P60）を参照してください。

■ レンズシフト移動量について

レンズシフト量は、画面の高さおよび幅に対する移動量をパーセンテージで表したものです。本機におけるレンズシフト量は、次の通りです。

A 上下方向のシフト量	± 60%
B 左右方向のシフト量	± 10%

本機では、上下左右方向のレンズシフト操作が可能です。以下は、本機のレンズシフト操作の性能を保証している範囲です。四隅の横 10%、縦 15%の範囲を外れた場合、周辺光量が低下したり、解像感が劣化する場合があります。この場合、許容範囲内までレンズシフト位置をずらしてご使用ください。



レンズシフトによる上下方向（A）と左右方向（B）の最大移動量（参考値）[cm]

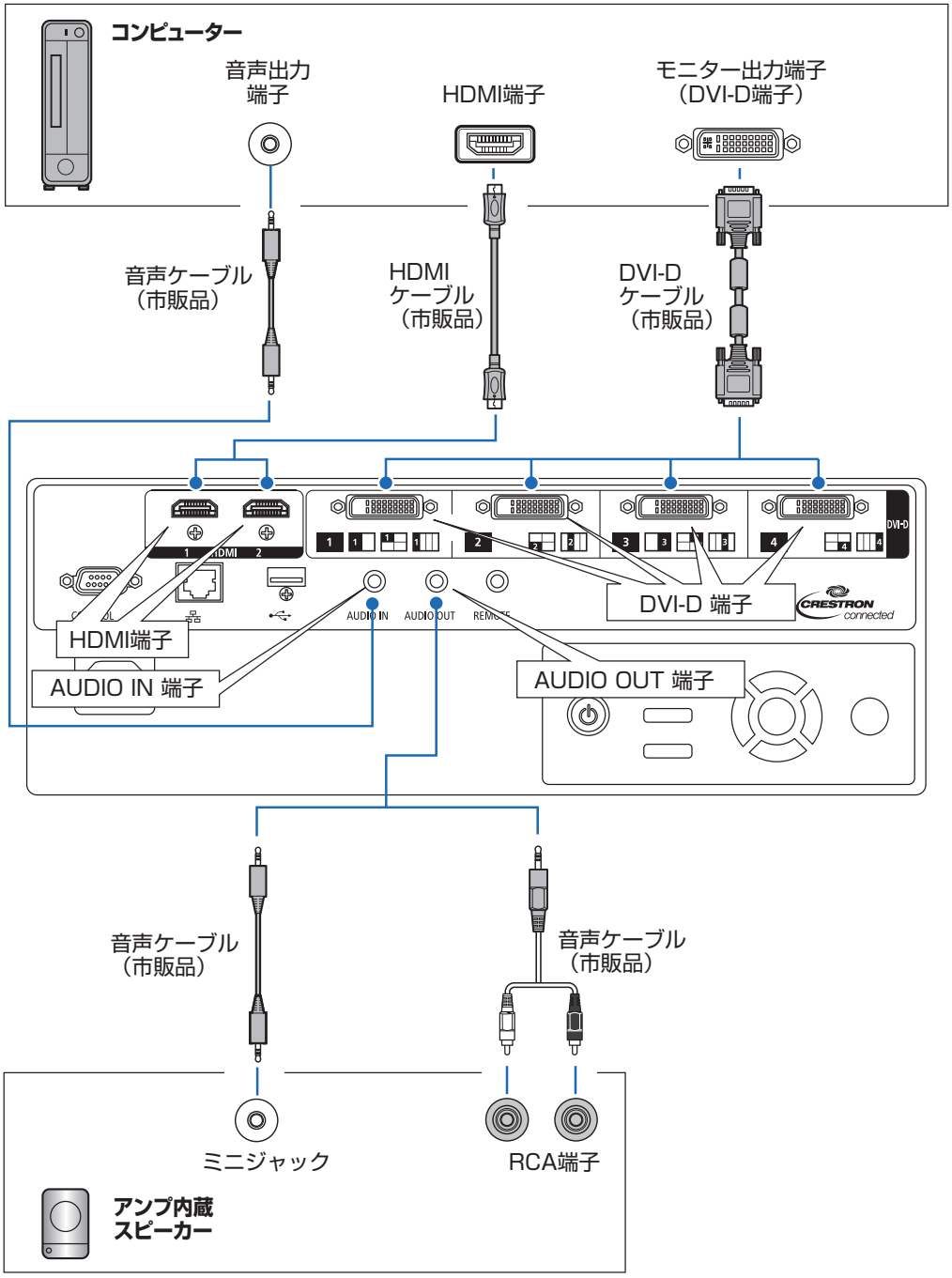
画面サイズ（型）	4096 × 2160		4096 × 2400	
	A	B	A	B
40	28	9	31	9
60	43	13	46	13
80	57	18	62	18
100	71	22	77	22
120	85	27	92	26
140	100	31	108	31
160	114	36	123	35
180	128	40	139	39
200	142	45	154	44
220	156	49	169	48
240	171	54	185	53
260	185	58	200	57
280	199	63	216	61
300	213	67	231	66
350	249	79	269	77
400	284	90	308	88
450	320	101	347	99
500	355	112	385	110
550	391	124	424	121
600	427	135	462	132

- A の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し垂直方向に移動したとき、映像が移動できる範囲の中心の位置からのおおよその移動量です。
- B の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し水平方向に移動したとき、映像が移動できる範囲の中心の位置からのおおよその移動量です。
- レンズシフトの操作は映像を投写し、映像を見ながら行ってください。
- レンズシフトの操作中、映像が移動しなくなったら移動範囲の限界です。

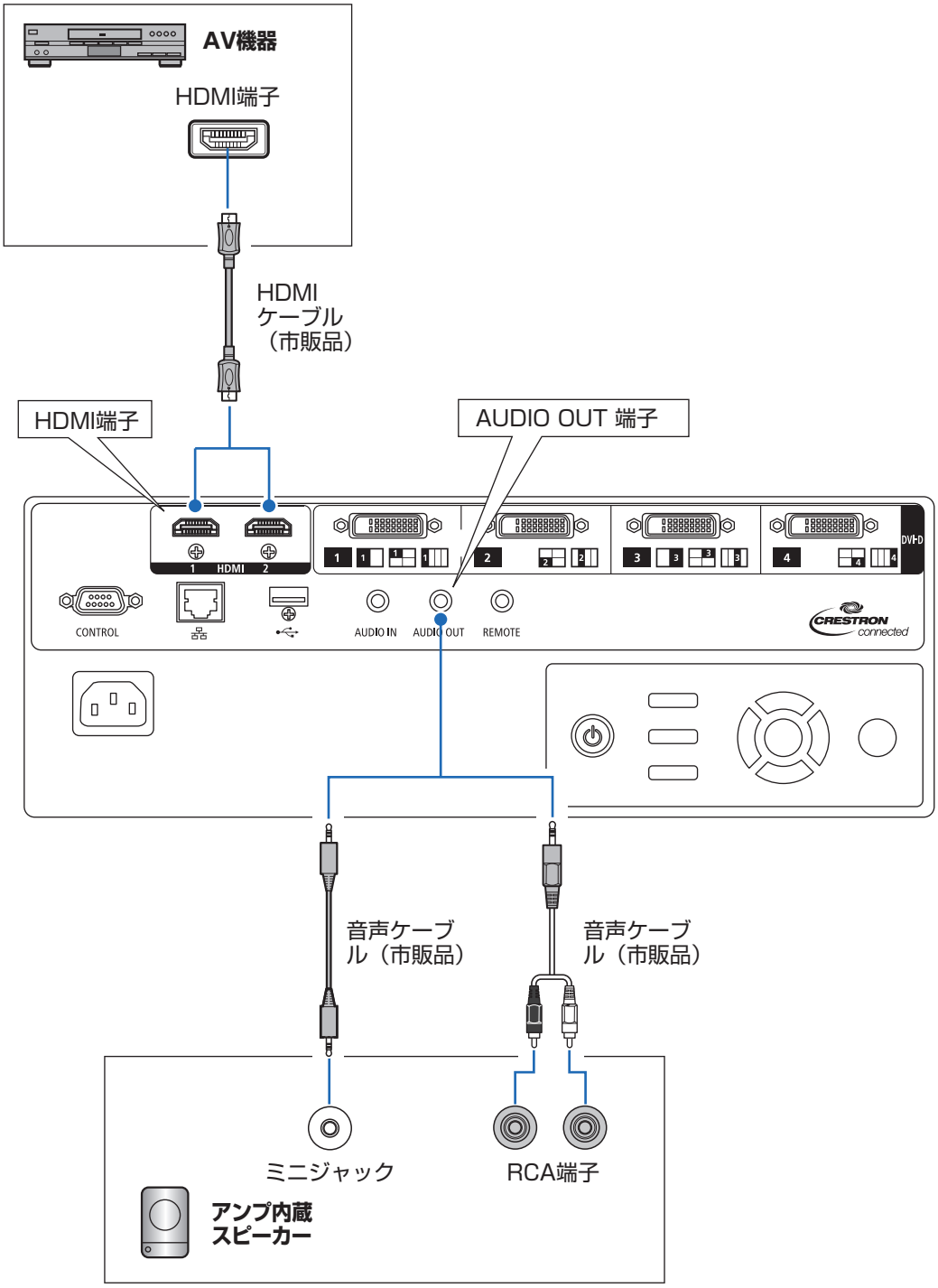
注意 **プロジェクターと接続機器の電源を切ってから接続してください。**

マルチインプットにより 4K 投写する場合の接続は、「4K 映像を投写する」（P45）を参照してください。

コンピューターを接続する



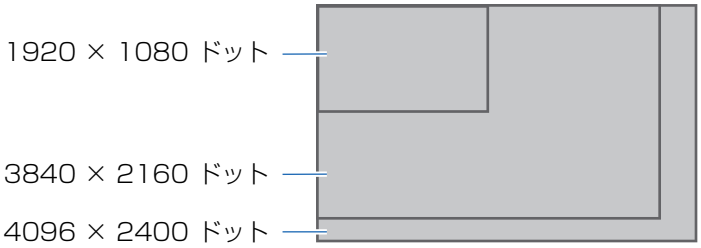
AV 機器を接続する


AV機器
HDMI端子
HDMI
ケーブル
（市販品）
HDMI端子
AUDIO OUT 端子
1 HDMI 2
DVI-D
CONTROL
AUDIO IN
AUDIO OUT
REMOTE
CRESTRON connected
音声ケーブル（市販品）
音声ケーブル（市販品）
ミニジャック
RCA端子
アンプ内蔵
スピーカー

4K 映像を投写する

■ 4K とは

3840 × 2160 ドット、3840 × 2400 ドット、4096 × 2160 ドット、4096 × 2400 ドットなどの解像度の規格を「4K」と言います（下記は解像度のイメージ図）。



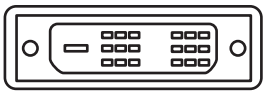
本機は 4K の最大解像度 4096 × 2400 ドットまでの入力信号に対応しています。
詳細は対応信号の一覧表を確認してください。（P161）

■ 4K のデジタル信号対応

本機は、DVI-D 入力と HDMI（ver2.0 / HDCP 2.2*1）入力を備えています。
DVI-D 入力はドットクロックによりシングルリンクとデュアルリンクが規定されています。
ドットクロックが 165MHz を超えるような解像度の場合は、デュアルリンクのコネクターとケーブルを使用する必要があります。

DVI-D 入力のおもな解像度

- 1920 × 1200（シングルリンク、垂直周波数 60Hz）
- 2560 × 1600（デュアルリンク、垂直周波数 60Hz）
- 4096 × 2160（デュアルリンク、垂直周波数 24Hz）


シングルリンクコネクター

HDMI（バージョン 2.0）入力のおもな解像度

- 1920 × 1080（垂直周波数 60Hz）
- 3840 × 2160（垂直周波数 60Hz）
- 4096 × 2160（垂直周波数 60Hz）

デュアルリンクコネクター

解像度	QFHD（3840 x 2160）							
周波数	24Hz				60Hz			
サブサンプリング	422		444		422		444	
色深度	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit
HDMI 1.4（10.2Gbps 帯）× 1 本	○	○	○	×	×	×	×	×
HDMI 2.0*2（18Gbps 帯）× 1 本	○	○	○	○	○	○	○	×

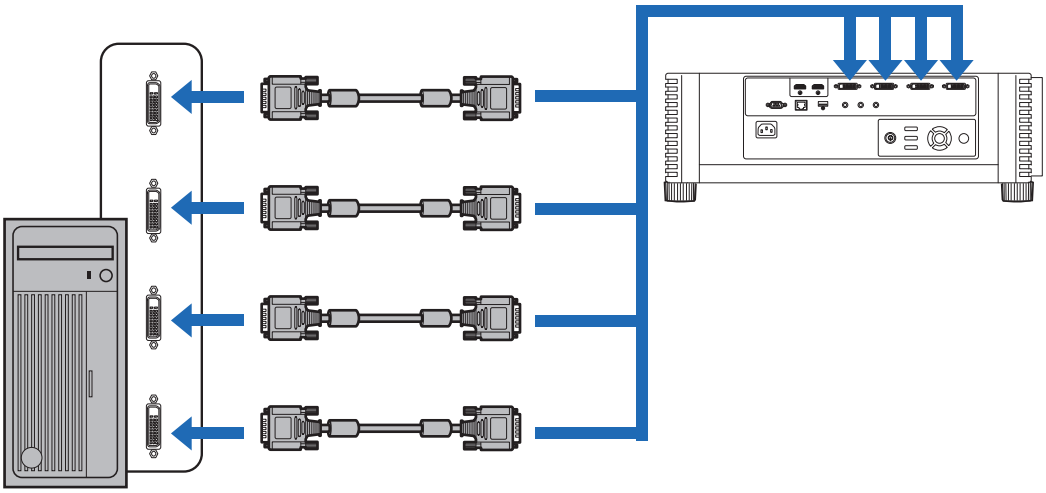
解像度	DCI（4096 x 2160）							
周波数	24Hz				60Hz			
サブサンプリング	422		444		422		444	
色深度	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit
HDMI 1.4（10.2Gbps 帯）× 1 本	○	○	○	×	×	×	×	×
HDMI 2.0*2（18Gbps 帯）× 1 本	○	○	○	○	○	○	○	×

*1 HDCPとは、Higt-bandwidth Digital Content Protectionの略でHDMIを経由してコンピューターなどの映像再生機器からプロジェクターなどの表示機器にデジタル信号を送信するときに暗号化することで、コンテンツの不正コピーを防止する著作権保護技術です。HDCPの規格は、Digital Content Protection,LLCという団体によって、策定・管理されています。

*2 18Gbps に対応したHDMIケーブルをご使用ください。

■ マルチインプット機能について

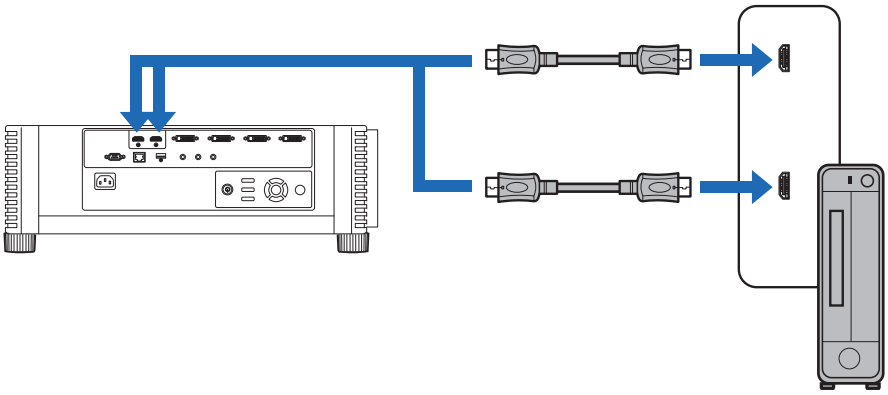
- DVI-D
  DVI-D デュアルリンクケーブルを 4 本使用して 4096 × 2400 ドット（垂直周波数 60Hz）の信号を入力できます。4本のケーブルから入力された信号は合成されて 1 つの映像として表示されます。



DVI デュアルリンクケーブル 4 本でワークステーションに接続する場合

- HDMI

HDMI ケーブルを 2 本使用して 4096 × 2160 ドット（垂直周波数 60Hz）の信号を 1 つの映像として表示できます。2 本のケーブルから入力された信号は合成されて 1 つの映像として表示されます。



HDMI ケーブル 2 本でデスクトップコンピューターに接続する場合

本機は、異なる複数台の機器からの入力を、2 画面、4 画面等の画面分割で同時に投写することはできません。

■ マルチインプットモードの設定

2本のHDMI入力、4本のDVI入力をどのように組み合わせて、映像を構成するかを選択します。コンピューターの映像出力の画面表示形式（2分割、4分割）に合わせる必要があるため、あらかじめコンピューター側の出力設定を確認してください。

マルチインプットモードについて

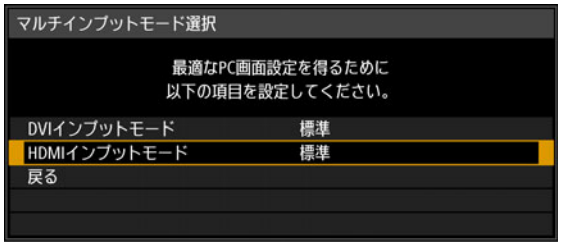
端子に入力する映像の種類（解像度など）を設定します。一般的な信号は［標準］を使用します。特異的な信号を使用するときに［シングル］、［1x2］、［2x2］、［1x4］を使用します。詳細は対応信号の一覧表で確認してください。（P161）

- ［標準］設定
  ［シングル］、［1x2］、［2x2］、［1x4］を含め、代表的な映像を網羅的にサポートします。
- ［シングル］設定
  単端子接続（シングル接続）するときに、専門の信号を多くサポートします。
- ［1x2］設定
  2つの入力端子を使う場合に専門の信号を多くサポートします。
- ［2x2］設定
  4つの入力端子を使い縦横2行2列で投写する場合、専門の信号を多くサポートします。
- ［1x4］設定
  4つの入力端子を使い縦に4列で投写する場合、専門の信号を多くサポートします。

本機の電源の入れかたについては、「ステップ1　電源を入れる」（P51）をご覧ください。

1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［マルチインプットモード選択］の順に選びます。**

2 **入力するインプットモードを選びます。**



DVI インプットモード

DVI 入力の組み合わせを設定します。[標準]、[シングル]、[DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4] から選択できます。

- 【インプット】メニュー（P54）のマルチインプット［DVI 1x2］、［DVI 2x2］、［DVI 1x4］を選んだ場合、DVIインプットモードメニューをそれぞれ［DVI 1x2］、［DVI 2x2］、［DVI 1x4］に設定することで、［標準］には含まれていない信号（P163～P165）も容易に入力できます。
- 【インプット】メニュー（P54）のシングルインプット［DVI-1］、［DVI-2］、［DVI-3］、［DVI-4］選んだ場合、DVI インプットモードメニューをそれぞれ［シングル］に設定することで、[標準] には含まれていない信号（P163）も容易に入力できます。

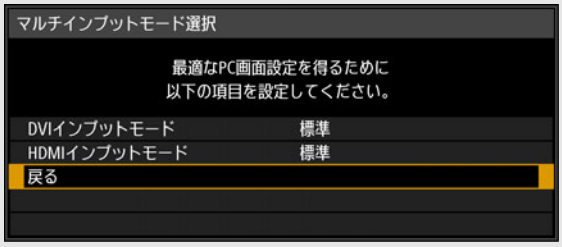
HDMI インプットモード

HDMI 入力の組み合わせを設定します。［標準］、［シングル］、［HDMI 1x2］から選択できます。

- 【インプット】メニュー（P54）のマルチインプット［HDMI 1x2］を選んだ場合、HDMIインプットモードメニューを［HDMI 1x2］に設定することで、［標準］には含まれていない信号（P162）も容易に入力できます。
- 【インプット】メニュー（P54）のシングルインプット［HDMI-1］、［HDMI-2］を選んだ場合、HDMI インプットモードメニューをそれぞれ［シングル］に設定することで、［標準］には含まれていない信号（P161）も容易に入力できます。

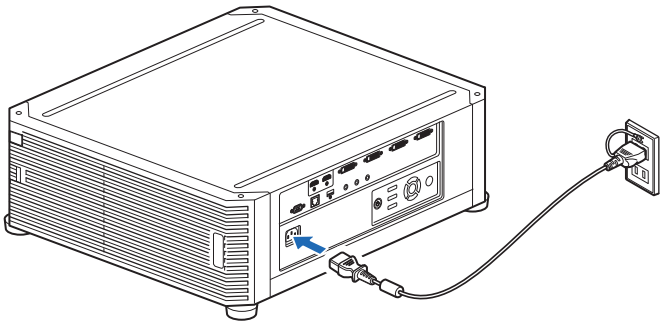
［標準］に設定した場合、EDID（接続先のモニターの機種名や設定値をコンピューターに伝えるディスプレイ固有の ID）には単端子を使う場合の一部と、複数端子を使う場合の一部の映像信号を載せたリストになります。映像出力側で端子数の異なる映像信号を選択して出力できます。

【INPUT】ボタンで設定と異なる入力端子が選択された場合は、マルチインプットモード選択画面が自動的に表示されます。



電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



警告

- **電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。**
- **アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。**
- **電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。**

- 電源を切った後は 5 分以上電源を入れないでください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

ステップ 1　電源を入れる

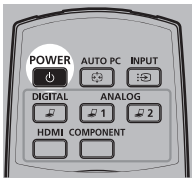
1　コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。（P43、P44）

電源コードの接続については「電源コードを接続する」(P50) を参照してください。

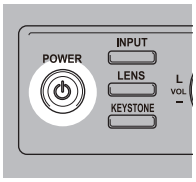
2　【POWER】ボタンを押します。

［POWER］インジケーター（緑）が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



本体



カウントダウン表示（約 20 秒間）が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押すと消えます。

- 電源ケーブルを接続した後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。
- 電源を入れた後数分間、安定するまで波模様のようなノイズが投写画面に現れることがあります。

3　コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。

コンピューターまたは AV 機器からの映像が投写されます。

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- 【POWER】ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。（P109）
- カウントダウン中の表示を変えられます。（P103）
- カウントダウン表示を消すことができます。（P103）

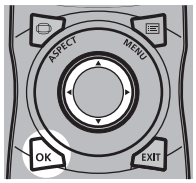
一定時間使用しない場合は

本機は一定時間（工場出荷時の設定では 15 分間）無信号状態、かつ無操作状態が継続すると、パワーマネージメント機能により自動的に電源が切れます。（P108）

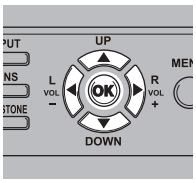
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。
なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。（P110）
ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、ピントを調整してください。（P58）

リモコン



本体



オレンジの項目が選ばれます

■ パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。（P111）

■「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。（P53）
【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。（P54）

■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるよう切り換えます。詳しくは、次ページの「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■ 画面を調整するとき

- コンピューター側の表示解像度を最大解像度、または最も近い解像度に設定してください。（P56）
- 投写画面のサイズは、リモコンの【ZOOM】ボタンで調整してください。（P58）
- ピント調整が不十分なときはリモコンの【FOCUS】ボタンで調整してください。（P58）
- 台形ひずみの補正が必要なときは【KEYSTONE】ボタンで調整してください。（P63）
- スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、アスペクトを選んでください。（P62）
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選んでください。（P66）

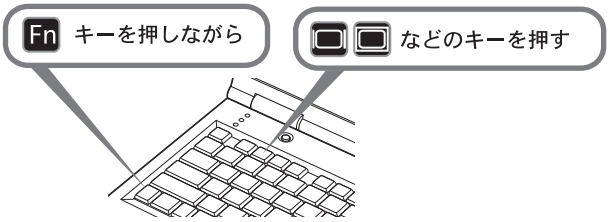
画面の調整に便利な各種テストパターン（P160）を投写できます。

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。
デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■ 外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。
一般的には、[Fn] キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー（[F1] ～ [F12]）を押すと、外部モニターへ切り換わります。



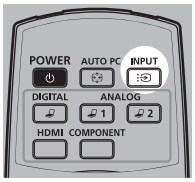
- 機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら [P] キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。

ステップ 2　入力信号を選択する

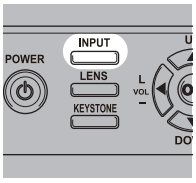
デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[インプット] メニューで入力信号を選びます。前回と同じ信号を投写するときは、この操作は不要です。

1 【INPUT】ボタンを押すと、右の画面が表示されます。

リモコン



本体



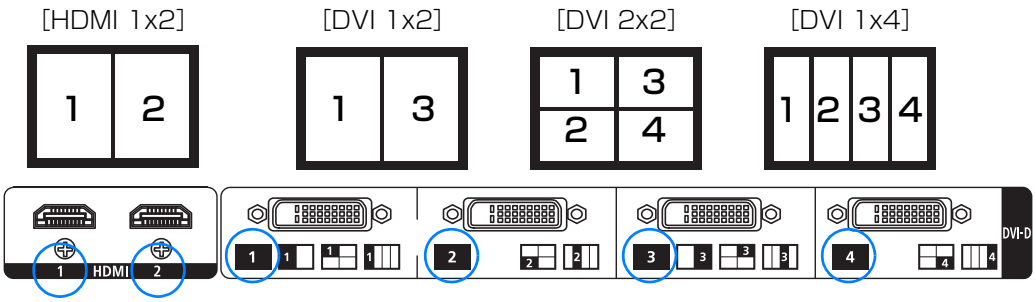
現在投写中の信号に○（緑色）がつき、オレンジ色の枠で表示されます。
また、投写可能な状態の信号は文字が白で表示され、入力のない信号は文字がグレーで表示されます。

2 【▲】【▼】ボタンで入力信号を選びます。

また、【DIGITAL】ボタンを押すたびにDVI-Dの入力が、【HDMI】ボタンを押すたびにHDMIの入力が順に切り替わります。

3 【OK】ボタンを押して、入力信号を決定します。

マルチインプットの入力信号は以下のように分割され投写します。
枠内の1、2、3、4は各入力端子の番号を示します。



HDMIマルチインプット入力時

DVIマルチインプット入力時

- リモコンの入力信号切換えボタン（【DIGITAL】ボタンまたは【HDMI】ボタン）を押して、投写したい入力信号に切り換えることもできます。
- 本機は、複数のケーブル（2本または4本）を使用して1つの映像を入力するマルチインプット機能を備えています。複数入力表示として［DVI 1x2］、［DVI 2x2］、［DVI 1x4］、［HDMI 1x2］が画面に表示され、4K映像などを投写するときに選択します。（P45）
- マルチインプットが正しく成立するには、信号間に条件があります。条件から外れた信号がある場合には、「!」アイコンが表示されます。

ステップ 3　画面を調整する

コンピューターの表示解像度を設定する

本機の最大解像度に合わせて、コンピューター側の表示解像度を最も近い解像度に設定してください。（P161）

最大解像度

- ［パネルドライブモード］が［4096 × 2160］の場合は4096 × 2160ドット
- ［パネルドライブモード］が［4096 × 2400］の場合は4096 × 2400ドット

パネルドライブモードについて詳しくは、93ページの［プロフェッショナル設定］の［パネルドライブモード］を参照してください。

■ Windows 10 の場合

1. スタートメニューから［コントロールパネル］を選び、［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を選びます。
2. ［解像度］欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. ［OK］ボタンをクリックします。

■ Windows 8.1 / Windows 8 の場合

1. マウスポインターを画面の右上、または右下の外に出し、メニュー画面を表示します。
2. ［設定］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
3. ［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を選びます。
4. ［解像度］欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
5. ［OK］ボタンをクリックします。

■ Windows 7 の場合

1. スタートメニューから［コントロールパネル］を選び、［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を選びます。
2. ［解像度］欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. ［OK］ボタンをクリックします。

■ Windows Vista の場合

1. スタートメニューから［コントロールパネル］を選び、［コントロールパネルホーム］の［デスクトップのカスタマイズ］から［画面の解像度の調整］を表示します。
2. ［解像度］から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
3. 【OK】ボタンをクリックします。

■ Mac OS X の場合

1. アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。
2. システム環境設定ウィンドウの［ディスプレイ］アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
3. ［ディスプレイ］タブを選び、［解像度］の一覧から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
4. ［システム環境設定］のウィンドウを閉じます。

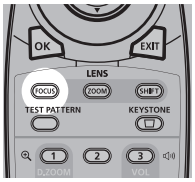
画面のピント / 画面サイズ / 画面の位置を調整する

■ 画面のピントを合わせる

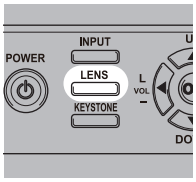
リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンでピントを調整することができます。

1 **リモコンの【FOCUS】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを押すと、フォーカス調整画面が表示されます。**

リモコン

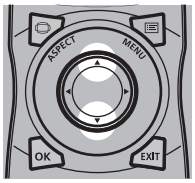


本体

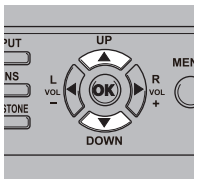


2 **方向ボタンでピントを合わせます。**

リモコン



本体



リモコンまたは本体の【▲】【▼】ボタンでピントを合わせます。

3 **ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。**

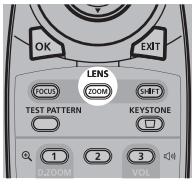
曲面に投写したい場合は、画面周辺部のピントを調整できます。「周辺フォーカス」（P97）および「周辺フォーカスを調整する」（P149）を参照してください。

■ 画面サイズを調整する

リモコンの【ZOOM】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで投写画面のサイズを調整することができます。調整しきれない場合は、本機の設置位置を変えてください。（P28）

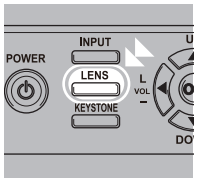
1 **リモコンの【ZOOM】ボタンを押すと、ズーム調整画面が表示されます。**

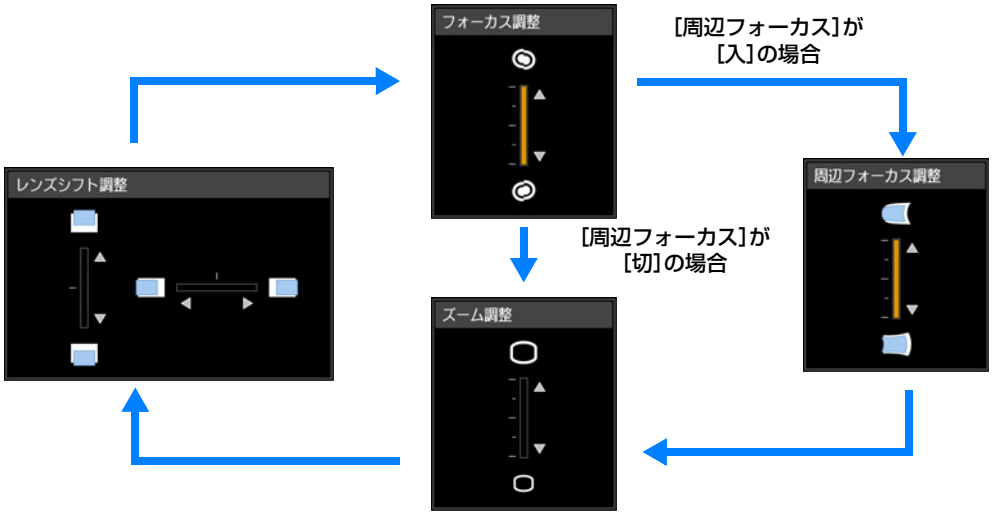
リモコン



本体の【LENS】ボタンでは、押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り換わります。
【LENS】ボタンを２回（[周辺フォーカス］が［入］の場合は３回）押すと、ズーム調整画面が表示されます。

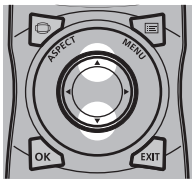
本体　２回押す



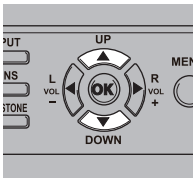


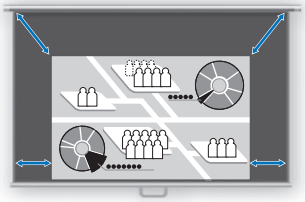
2 方向ボタンで画面サイズを調整します。

リモコン



本体





スクリーン

リモコンおよび本体の【▲】ボタンで画面サイズを拡大します。
リモコンおよび本体の【▼】ボタンで画面サイズを縮小します。

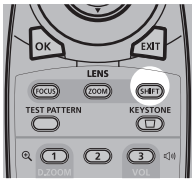
3 画面サイズが決定したら【OK】ボタン、または【ZOOM】ボタンを押します。

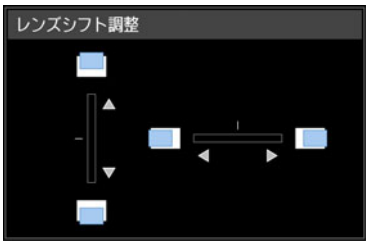
■ 画面の位置を調整する

リモコンの【SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面の位置を上下左右に調整できます。これは、「レンズシフト」といい、レンズの位置を上下左右に移動させることで、投写画面を最適な位置に移動できる機能です。（P41）

1 **リモコンの【SHIFT】ボタンを押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。**

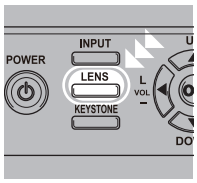
リモコン

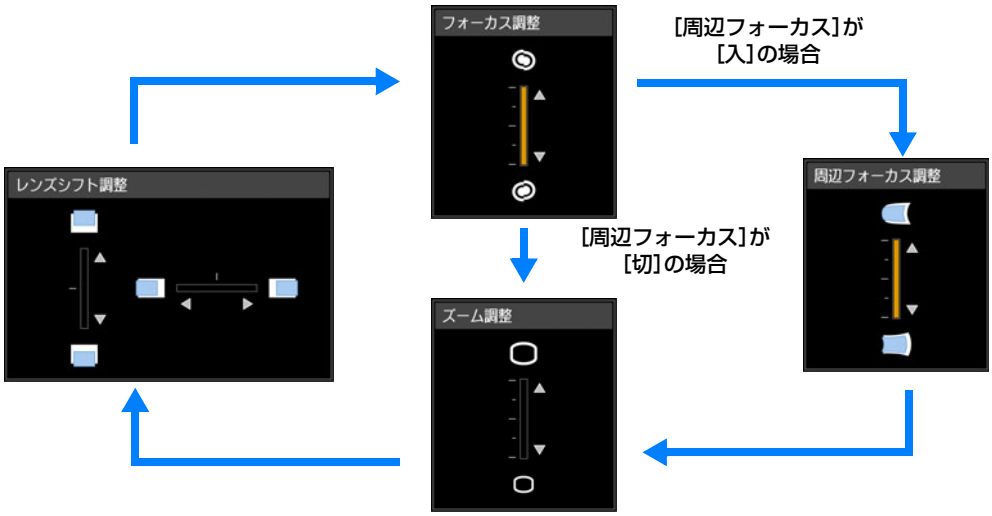




本体の【LENS】ボタンでは、押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り換わります。
【LENS】ボタンを３回（[周辺フォーカス］が［入］の場合は４回）押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。

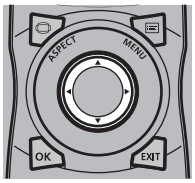
本体　３回押す



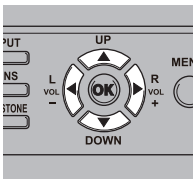


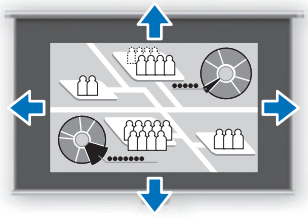
2 方向ボタンで調整します。

リモコン



本体





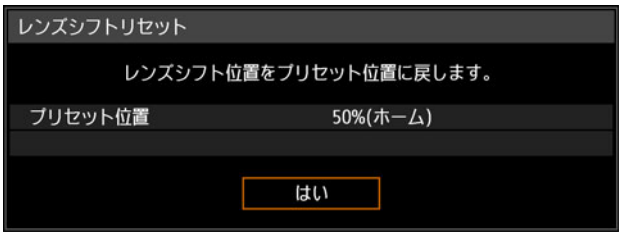
スクリーン

リモコンおよび本体の【▲】【▼】ボタンを押すと画面の位置が上下に移動します。
リモコンおよび本体の【◀】【▶】ボタンを押すと画面の位置が左右に移動します。
それぞれのボタンを長押しするとその方向へ画面が動き続けます。

3 位置が決まったら【OK】ボタンを押します。

位置をリセットする

レンズシフトで移動したレンズの位置は、電源を切っても戻りません。元に戻すには、リセットの操作を行ってください。
まず、画面位置の調整中にリモコンの【SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンを長押しして、［レンズシフトリセット］画面を表示させます。
選択肢として50%（ホームポジション）と0%が表示されるので、方向ボタンでいずれか選んで【OK】ボタンを押します。



- リセットの操作をしても、選択した位置（50%（ホームポジション）または 0%）から、わずかにずれることがあります。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト機能を使用して微調整してください。

ステップ 4　スクリーンに合わせて縦横比（アスペクト）を選択する

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、最適なアスペクトを選んでください。

アスペクトを選択する

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて［アスペクト］を選びます。

アスペクトの種類

■ オート

入力信号の縦横比のまま最大に投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

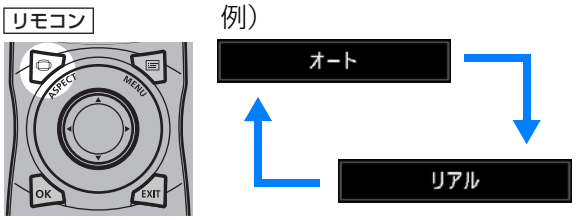
■ リアル

入力信号の解像度のまま投写します。本機より低い解像度のコンピューターを接続する場合、このモードを選択すると画面サイズは小さくなりますが最も鮮明な映像となります。

入力信号や解像度により選択できない場合があります。

アスペクトの選択のしかた

リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。



メニューの［アスペクト］からも選べます。（P81）

ステップ 5　台形ひずみを調整する

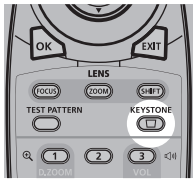
【KEYSTONE】ボタンで台形ひずみの補正（キーストーン調整）ができます。
キーストーン調整の方法には、縦横キーストーンと４点補正の２種類があります。
縦横キーストーンでは、上下、または左右方向の長さ（ひずみ）を個別に調整し、４点補正では投写画面の４隅の位置をそれぞれ調整します。
キーストーン調整の切り換え方法は、「キーストーン」(P92) をご覧ください。

- 台形ひずみの補正は、レンズシフトの位置によっては正しく補正できない場合があります。
- 補正しきれないときは、本機の設置位置をスクリーンに対しまっすぐにしてください。
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の縦横比が変わることがあります。

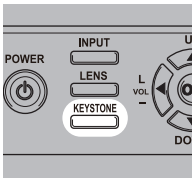
■ 縦横キーストーン調整を行う

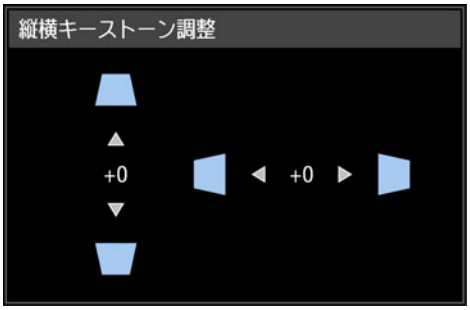
1 **リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、縦横キーストーン調整画面が表示されます。（[キーストーン] の設定が [縦横キーストーン] のとき）**

リモコン

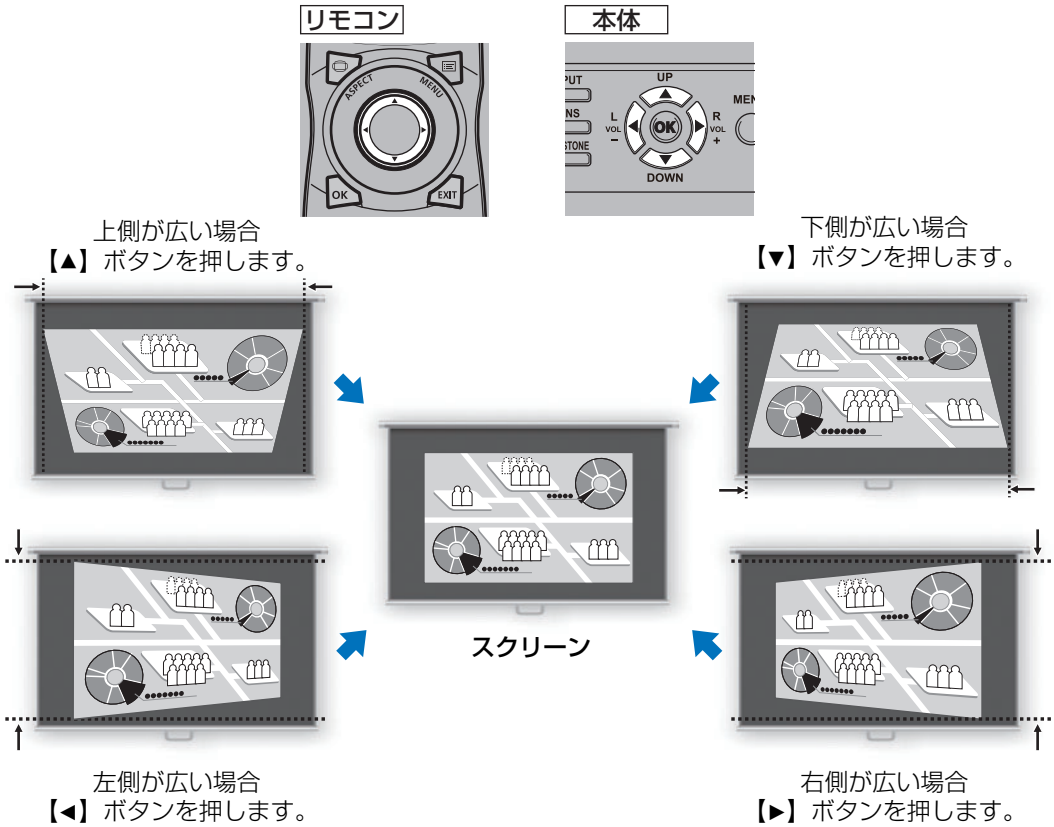


本体





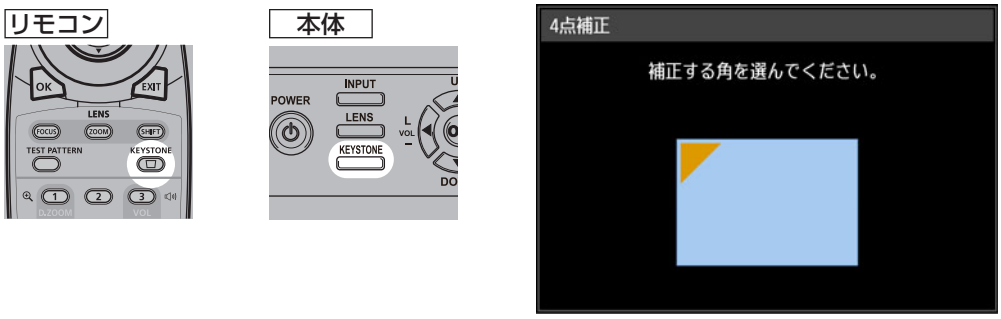
2 方向ボタンで調整します。



3 補正が終わったら、【OK】ボタンを押します。

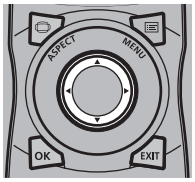
■ 4点補正を行う

1 リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、4点補正画面が表示されます。（［キーストーン］の設定が［4点補正］のとき）

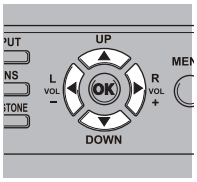


2 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。

リモコン

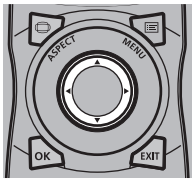


本体

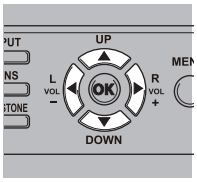


3 方向ボタンで調整します。

リモコン



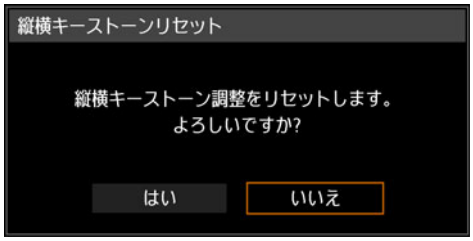
本体

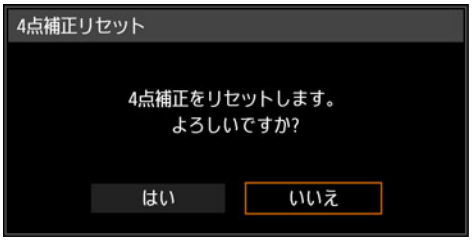


4 補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

■ 補正をリセットする

補正をリセットできます。
まず、リモコンの【KEYSTONE】ボタンを 2 回押して［キーストーンリセット］画面を表示させます。
次に【◀】ボタンで［はい］を選び、【OK】ボタンを押します。
キーストーンで設定した台形ひずみの補正をリセットすることができます。





ステップ 6　画質（イメージモード）を選択する

投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選べます。各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整（P86）、高度な調整（P87）とランプモード（P90）の設定ができます。

イメージモードの種類

選択されている入力信号により、選べるイメージモードが一部変わります。

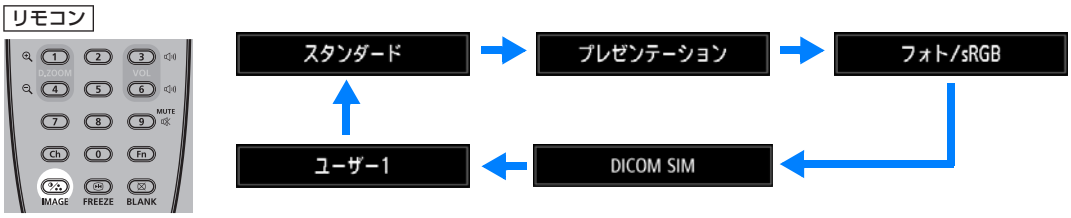
○：対応　　—：非対応

イメージモード	対応する入力信号		機能　（1）周りの明るさ （2）映像の種類 （3）イメージモードの特長
	デジタル PC	HDMI	
スタンダード	○	○	（1）明るい （2）コンピューター画面や映像ソフト（動画） （3）白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	○	○	（1）明るい （2）文字を中心とした映像 （3）画面が明るい
ダイナミック	—	○	（1）明るい （2）映像ソフト（動画） （3）画面が明るい
ビデオ	—	○	（1）やや暗い （2）ビデオカメラ映像 （3）テレビに近い色表現
フォト / sRGB	○	○	（1）やや暗い （2）sRGB 対応のデジタルカメラ映像 （3）sRGB 規格対応
DICOM SIM	○	○	（1）やや暗い （2）モノクロ映像（医用など） （3）DICOM Standard Part14 規格の GSDF カーブにあわせて調整
ユーザー 1 ～ 3	○	○	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを3種類までメモリに登録することができます（P85）。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択します。

■ イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。

【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります 。（表示されるイメージモードの種類は、選択されている入力信号により異なります）



メニューの［イメージモード］からも選べます。（P85）

- ユーザー 1 ～ 3 は、イメージ調整メニューのユーザーメモリ作成でお好みの画面設定を保存したときに表示されます。（P85）

DICOM SIM モードで投写する

本機の DICOM シミュレーションモード（以下、DICOM SIM）では、レントゲンや CT、MRI などのモノクロ医用の映像を、DICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）規格に近似した階調で投写することができます。通常、DICOM 規格に準じて投写するには、環境に合わせて輝度計を用いたグレースケール階調の補正が必要となります。本機では、あらかじめ環境光に対応した 21 通りの階調設定が用意されており、DICOM テストパターン（P160）を選ぶことで、簡易的に階調の補正を行うことができます。
医療についての講演や、学会、院内カンファレンスなどで投写するのに適しています。

本機は、医用画像表示用モニタではないため、読影や診断には使用できません。

注 意

- **本機は、経年変化に対する自動輝度補正、または校正機能を搭載していないため、使用時ごとの階調の確認をお薦めします。**
- **本機の投写輝度が安定するまで、およそ30分かかります。**

■ DICOM SIM モードの切り換え

1 リモコンの【IMAGE】ボタンを［DICOM SIM］と表示されるまで押すか、［イメージ調整］メニューの［イメージモード］から［DICOM SIM］を選びます。

2 リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを［DICOM］と表示されるまで押すか、［設置設定］メニューの［テストパターン］から［入］を選びます。

3 テストパターンを見ながら［イメージ調整］メニューの［ガンマ］（86 ページ）調整を行ない最適な映像にします。

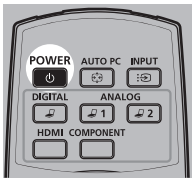
4 調整が終わったら【OK】ボタンを押します。

以下のいずれかを行って十分な視認を確保してください。
- 室内の明かりを暗くする。
- 映像サイズを小さくする。
- 投写距離を短くする。

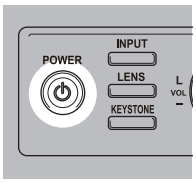
ステップ 7　電源を切る

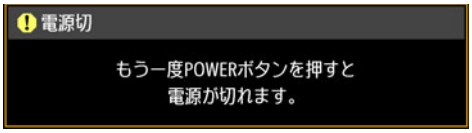
1 【POWER】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

リモコン



本体





2 画面の表示中に、もう一度【POWER】ボタンを押すと電源が切れます。

電源を切った後、ランプが消え、[STAND BY] インジケーターが赤く点滅してランプの冷却が始まります。本機の冷却が終了した状態を「スタンバイ状態」といいます。スタンバイ状態では、[STAND BY] インジケーターが点滅から点灯に切り換わります。電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。

- ランプ冷却中は、電源を入れることができません。
- 電源を切った後は 5 分以上電源を入れないでください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因となることがあります。
- 連続使用は、ランプおよび内部光学部品の寿命を縮める原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

便利な機能

プレゼンテーションなどで便利に使える機能について説明します。

映像を一時的に消す

プレゼンテーションが終了したときや、プレゼンテーション時に出席者の注意をスクリーンからそらすときなど、一時的に映像を消すことができます。

リモコン

【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。
もう一度**【BLANK】**ボタンを押すと元の映像が表示されます。

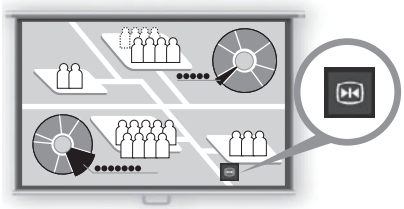
- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。（P103）
- 映像が消えている間もランプは点灯しています。

映像を静止させる

コンピューターから離れて操作するときや、変化する映像を途中で止めて見せるときなど、映像を一時的に静止することができます。

リモコン

【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。
もう一度**【FREEZE】**ボタンを押すと元の映像に戻ります。

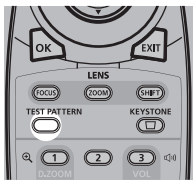


スクリーン

•入力信号がなくなると解除されます。

テストパターンを投写する

リモコン



入力信号がなくても、テストパターンを投写することができます。設置時に投写することで、テストパターンを確認しながら設定することができます。
リモコンの**【TEST PATTERN】**ボタンを押すとテストパターンが表示されます。
もう一度**【TEST PATTERN】**ボタンを押すとテストパターンが消えます。

テストパターンの詳細は、「設置設定」（P91）または、「表示できるテストパターン」（P160）をご覧ください。

省電力を設定する

省電力に関する機能を設定します。
設定できるのは、以下の４項目です。詳細は、各機能の解説ページを参照してください。

- **ランプモード（P90）**
  イメージモードでのランプとファンの消費電力を切り換えます。

- **パワーマネージメントモード（P108）**
  一定時間入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的にランプや電源がオフになる機能です。

- **パワーマネージメント時間（P109）**
  ［パワーマネージメントモード］の設定を［ランプオフ］、または［スタンバイ］に設定した際、入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的にランプや電源がオフになる時間を設定します。

- **ネットワーク待機設定（P117）**
  スタンバイ時の消費電力の設定です。

応用編

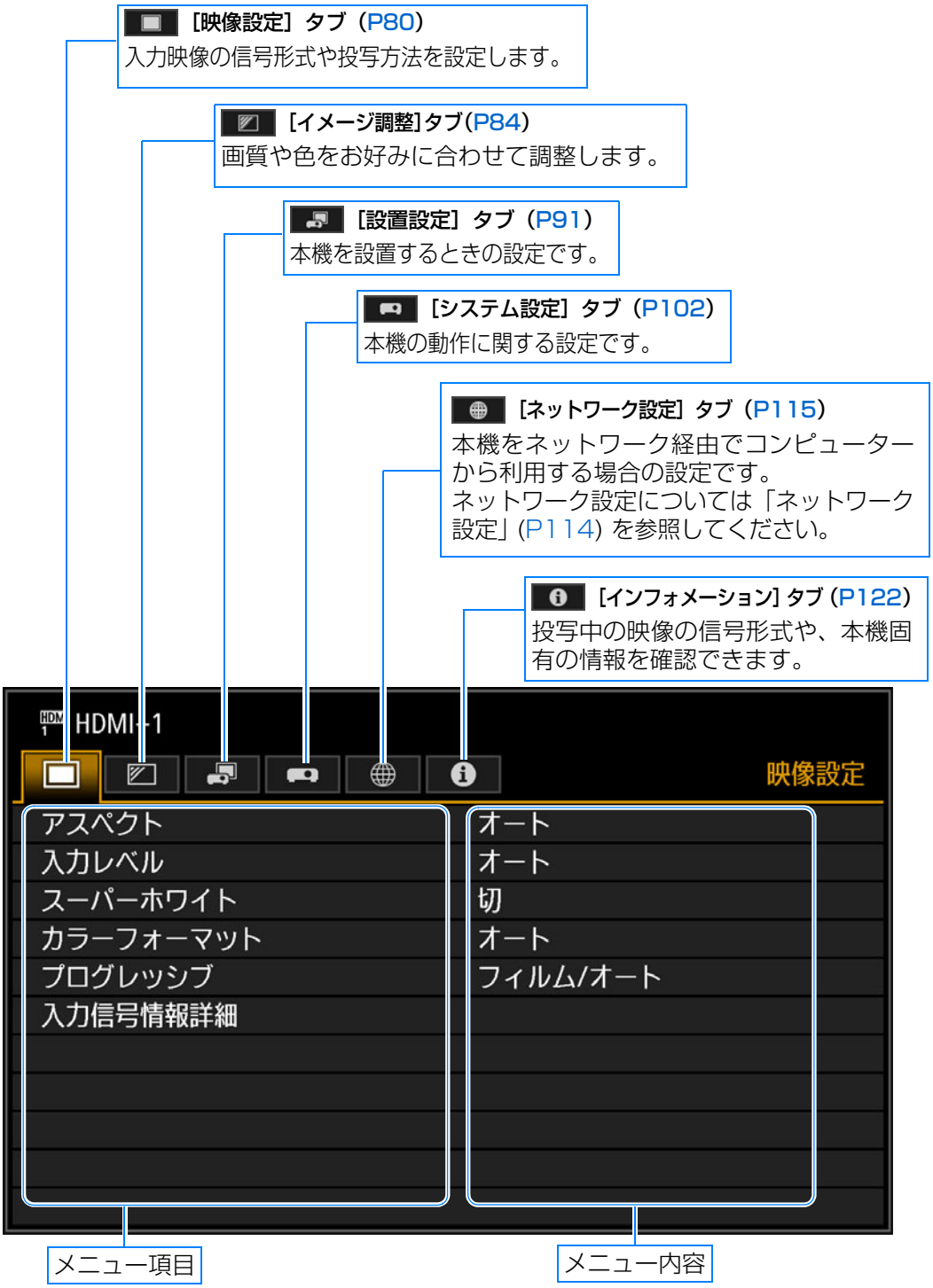
安全にお使いいただくために
はじめに
基本編
設置のしかた
接続のしかた
投写のしかた
便利な機能
応用編
メニューの使いかた
メニューの構成
メニューによる設定
ネットワーク上の
プロジェクターを使用する
高度な投写
その他
メンテナンス
製品の仕様
困ったときには

メニューの使いかた

メニュー（MENU）で本機の動作をきめ細かく設定できます。

メニューの構成

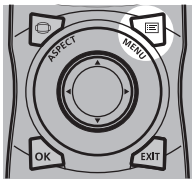
メニュー画面は、次の６つのタブに分かれています。



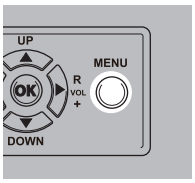
メニューの基本操作

1 【MENU】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン

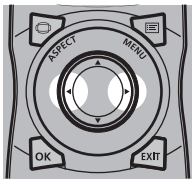


本体

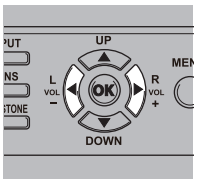


2 【◀】【▶】ボタンでタブを選びます。

リモコン



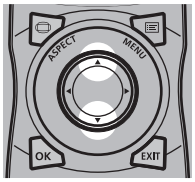
本体



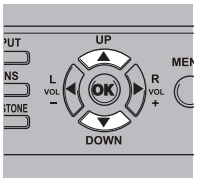
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】【▼】ボタンで一番上に移動させます。

3 【▲】【▼】ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体

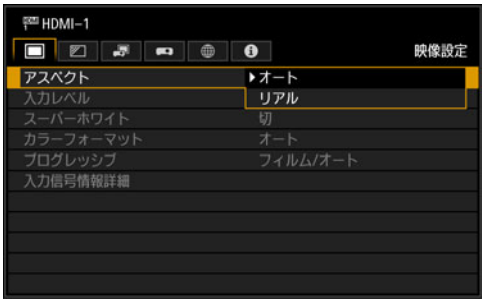


4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ　例：アスペクト（P81）

1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】ボタンまたは【▶】ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】または【▶】ボタンを押します。

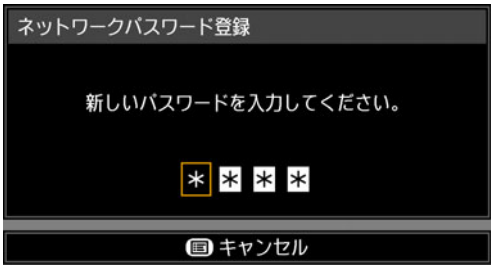


【◀】【▶】ボタンで調整する　例：コントラスト（P86）

1. コントラストを選びます。
2. 【◀】【▶】ボタンで調整量を変えます。

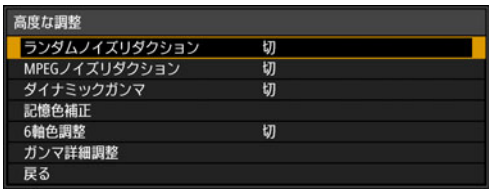
別画面を表示させて選ぶ（1）例：ネットワークパスワードを登録する（P116）

1. ［ネットワークパスワード登録］を選びます。
   別画面が表示されます。
2. 【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



別画面を表示させて選ぶ（2）例：ランダムノイズリダクション（P88）

1. 高度な調整を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. ランダムノイズリダクションを選びます。
4. 【▲】【▼】ボタンで内容を選びます。
5. 決まったら【OK】ボタンを押します。



5 【MENU】ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

【EXIT】ボタンを押しても、メニュー画面が消えます。

メニューの構成

映像設定（P80）

アスペクト	オート*	P81
	リアル	
入力レベル	HDMI	P81
	オート*	
	標準	
	拡張	
スーパーホワイト	HDMI	P82
	切	
	入*	
カラーフォーマット	HDMI	P82
	オート*	
	RGB	
	YCbCr	
プログレッシブ	HDMI	P82
	切	
	フィルム / オート*	
	ビデオ1	
	ビデオ2	
	25p/30p(PsF)	
入力信号情報詳細	入力信号	P83

イメージ調整（P84）

イメージモード	共通	P85
	スタンダード*	
	プレゼンテーション	
	フォト/sRGB	
	DICOM SIM	
	ユーザー1～3	
	HDMI	
	ダイナミック	
	ビデオ	
ユーザーメモリ作成		P85
ユーザーメモリ保存（イメージモード1～3選択時に出現）		P85
基準イメージモード（イメージモード1～3選択時に出現）		P85
明るさ		P86
コントラスト		P86
シャープネス		P86
ガンマ		P86
色調整	色の濃さ	P86
	色合い	
	色温度	
	赤ゲイン	
	緑ゲイン	
	青ゲイン	
	赤オフセット	
	緑オフセット	
	青オフセット	

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

- 高度な調整 P87
  - アンビエントライト P87
    - 切*
    - 調整
      - 種類
        - 電球
        - 蛍光灯*
      - レベル
        - 弱
        - 強*
  - ランダムノイズリダクション P88
    - 切*
    - 弱
    - 中
    - 強
  - MPEGノイズリダクション P88
    - 切*
    - 弱
    - 中
    - 強
  - ダイナミックガンマ P88
    - 切*1
    - 弱
    - 中
    - 強
  - 記憶色補正 P88
    - 肌色
    - 空色
    - 緑色
      - 切*1
      - 弱
      - 中
      - 強
  - 6軸色調整 P89
    - 切*
    - 調整
      - 色相
      - 彩度
      - 明度
    - リセット
  - ガンマ詳細調整 P89
- ランプモード P90
  - フルパワー*
  - エコ
- リセット P90

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

下記は、以下の設定で工場出荷時の設定が異なります。

*1 HDMI入力でイメージモードが［ダイナミック］、［ビデオ］の場合は［弱］

設置設定（P91）

- 設置ロック P92
  - 切*
  - 入
- 反転表示 P92
  - なし*
  - 天吊り
  - リア
  - リア・天吊り
- キーストーン P92
  - 縦横キーストーン*
  - 4点補正
  - リセット
- プロフェッショナル設定
  - パネルドライブモード P93
    - 4096×2160*
    - 4096×2400
  - マルチインプットモード選択 P93
    - DVIインプットモード
      - 標準*
      - シングル
      - DVI 1×2
      - DVI 2×2
      - DVI 1×4
    - HDMIインプットモード
      - 標準*
      - シングル
      - HDMI 1×2
  - HDMI-1 EDID P94
    - 18Gbps*
    - 9Gbps
  - HDMI-2 EDID P94
    - 18Gbps*
    - 9Gbps
  - DVIオプティマイザー P94
    - デュアルリンク自動設定
      - 切
      - 入*
    - DVI-1 ～ 4 イコライザー設定
  - RGBアライメント P95
    - マイクロデジタルイメージシフト
      - 切*
      - 調整
    - レジストレーション
      - 切
      - 調整
    - 高度なレジストレーション
      - 切
      - 調整

- 高地設定 — 切 / 入 — P96
- 直立投写 — 切* / 上向き / 下向き — P96
- ファン設定 — 標準* / 高速 — P96
- 周辺フォーカス — 切* / 入 / リセット — P97
- エッジブレンディング — 切* / 調整 — P97
  - サイドブレンディング色調整
  - 黒レベル調整
  - マーカー
  - リセット
- レンズ-ポジション — ポジションロード1～3 / ポジションセーブ1～3 / レンズシフトリセット — P100
- スクリーン色補正 — 標準* / 黒板 / 調整 — P100
  - 赤/緑/青ゲイン
  - 赤/緑/青オフセット
- アイリス — オープン* / クローズ1～3 — P101
- テストパターン — 切 / 入 — P101

システム設定（P102）

- ユーザー画面設定 — P103
  - ユーザー画像登録 — P103
    - ユーザー画像位置 — 左上 / 右上 / 中央 / 左下 / 右下 — P103
    - 無信号時画面 — 黒 / 青* / ユーザー画像 — P103
    - BLANK時画面 — 黒* / 青 / ユーザー画像 — P103
    - 起動時画面 — 表示しない / Canonロゴ* / ユーザー画像 — P103
- オンスクリーン — P104
  - メニュー表示位置 — 左上 / 右上 / 中央* / 左下 / 右下 — P104
  - メニュー表示時間 — 標準* / 延長 — P104
  - ガイド — 切 / 入* — P105
  - 入力状態表示 — 切 / 入* — P105
  - ランプ交換警告表示 — 切 / 入* — P105
  - エアフィルター清掃警告表示 — 切 / 入* — P105
  - 高温注意表示 — 切* / 入 — P105

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

- リモコン/操作部 P106
  - 電子音 P106
    - 切
    - 入*
  - キーリピート P106
    - 切
    - 入*
  - キーロック P106
    - 切*
    - 本体
    - リモコン(ワイヤレス)
  - リモコンチャンネル P107
    - Ch1～4
    - オール*
- 音声入力端子選択 P107
  - DVI-1
    - 切
    - オーディオイン*
  - DVI-2
    - 切
    - オーディオイン*
  - DVI-3
    - 切
    - オーディオイン*
  - DVI-4
    - 切
    - オーディオイン*
  - HDMI-1
    - 切
    - オーディオイン
    - HDMI-1*
  - HDMI-2
    - 切
    - オーディオイン
    - HDMI-2*
  - DVI 1x2
    - 切
    - オーディオイン*
  - DVI 2x2 / 1x4
    - 切
    - オーディオイン*
  - HDMI 1x2
    - 切
    - オーディオイン
    - HDMI-1*
    - HDMI-2
- シリアル通信 P108
  - ボーレート
  - データビット長
  - パリティ
  - ストップビット
    - 1
    - 2
- パワーマネージメントモード P108
  - 無効
  - ランプオフ
  - スタンバイ*
- パワーマネージメント時間 P109
  - 5分
  - 10分
  - 15分*
  - 20分
  - 30分
  - 60分
- ダイレクトパワーオン P109
  - 切*
  - 入
- MBリダクション P109
  - 切*
  - 弱
  - 強
- 言語 P110
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - スウェーデン語
  - ロシア語
  - オランダ語
  - フィンランド語
  - ノルウェー語
  - トルコ語
  - ポーランド語
  - ハンガリー語
  - チェコ語
  - デンマーク語
  - アラビア語
  - 中国語(簡体)
  - 中国語(繁体)
  - 韓国語
  - 日本語
- その他の設定 P111
  - パスワード設定 P111
    - 切*
    - 入
  - パスワード登録 P112
    - パスワード入力
  - パネル特性調整
    - ガンマリストア P112
      - 切*
      - 調整
    - パネル温度補正 P112
      - 切*
      - 調整
  - ランプカウンター P112
    - リセット/戻る
  - エアフィルターカウンター P113
    - リセット/戻る
  - 通電カウンター P113
  - ファームウェアバージョン P113
    - はい / いいえ
  - 工場出荷設定 P113
    - はい / いいえ

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

ネットワーク設定（P115）

ネットワーク設定変更	ロック解除 ロック*	P116
ネットワーク パスワード設定	切 入*	P116
ネットワーク パスワード登録		P116
ネットワーク待機設定	通常 省電力*	P117
ネットワーク機能	切* 入	P117
詳細設定		P118
IP アドレス		
ゲートウェイアドレス		
MAC アドレス		
DHCP	切* 入	
TCP/IP 設定	IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ アドレス 確定	
ネットワーク設定初期化	はい / いいえ	
PJLink	切 入*	P120
AMX Device Discovery	切* 入	P121
Crestron RoomView	切* 入	P121

インフォメーション（P122）

モデル名
入力信号
ファームウェアバージョン
シリアル No.
プロジェクター使用時間
IP アドレス
メール送信元アドレス
メール送信先アドレス
プロジェクター名
コメント
システム情報 ID

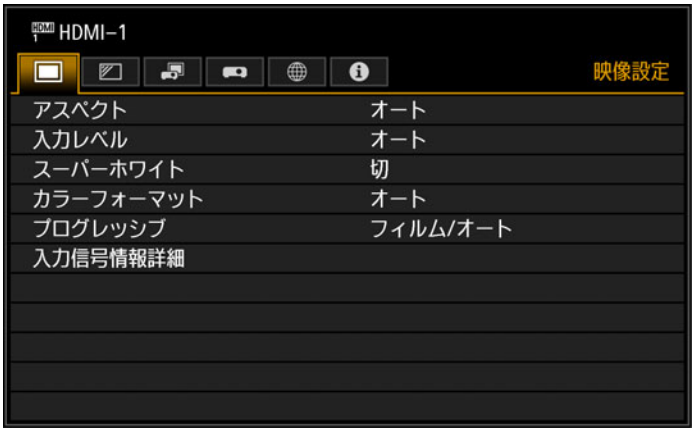
*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

以下の項目は工場出荷設定を行ってもリセットされません。

- 選択されている入力信号
- ランプカウンター
- 言語
- リモコンチャンネル
- ネットワーク設定
- エアフィルターカウンター
- レンズ - ポジション
- プロフェッショナル設定（レジストレーション、高度なレジストレーション、高地設定、直立投写）
- ユーザーメモリ
- 周辺フォーカス調整値
- ガンマリストア
- パネル温度補正
- 通電時間
- インフォメーションの項目内容
- シリアル通信（ストップビット）

映像設定

映像の縦横比などの設定について説明します。



（入力信号がHDMI-1の場合）

メニュー	機能	詳細
アスペクト	映像の縦横比に合わせてアスペクトを設定します。	P81
入力レベル	HDMI 信号の入力レベルを選びます。	P81
スーパーホワイト	HDMI 信号でスーパーホワイトモード対応を選びます。	P82
カラーフォーマット	HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。	P82
プログレッシブ	インターレース信号入力時の IP 変換の方式を選びます。	P82
入力信号情報詳細	使用している入力端子ごとに、入力信号の詳細な情報を表示します。	P83

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

アスペクト

MENU ＞[映像設定]＞**[アスペクト]**

映像の入力信号に対し、どのような縦横比で投写するかの設定をします。

選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。
リアル	入力信号の解像度のまま投写します。

選択できないメニューは非表示になります。

リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

入力レベル

MENU ＞[映像設定]＞**[入力レベル]**

映像ソフトをHDMI信号で投写するときに入力レベルを調整します。

選択	機能
オート	入力信号に応じて入力レベルを自動的に切り換えます。
標準	入力レベルを 16 ～ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ～ 255 でフル入力します。

- HDMI の信号形式が RGB のときのみ選べます。
- ［オート］では信号レベルを自動的に選びます。（機器によっては対応していないことがあります。）
- HDMI 出力が［標準］、［拡張］に切り換えられるときは、［拡張］に設定することをお勧めします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の［ 入力レベル］は［オート］または［拡張］を選んでください。
  詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

スーパーホワイト

MENU ＞[映像設定]＞**[スーパーホワイト]**

HDMI 信号の白色表示を、入力レベルが 16 ～ 235 の白信号に対し、100%（235）～ 109%（255）の明るさの階調表現で行うときに選びます。

選択	機能
切	スーパーホワイトの機能を使用しません。 入力レベル「235」の白信号を白の明るさ 100% とし、入力レベル「235」以上の白信号もすべて明るさ 100% として投写します。
入	入力レベル「16 ～ 235」の入力信号に対し、白 109%（入力レベル「255」）を明るさ 100% に換算して投写します。

- ［入力レベル］が［拡張］に設定されているときは、スーパーホワイトは効果がありません。
- ［入］にしたときに映像の乱れや不自然さが気になる場合は、［切］に設定してください。
- ［入］に設定すると、全体的に暗くなります。

カラーフォーマット

MENU ＞[映像設定]＞**[カラーフォーマット]**

HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

プログレッシブ

MENU ＞[映像設定]＞**[プログレッシブ]**

HDMI 信号のインターレース信号（1080i、1035i、576i、480i）が入力されたときに、フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。

選択	機能
切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対しプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
25p/30p (PsF)	1080PsF / 25（25 フレーム / 秒）および 1080PsF / 30（30 フレーム / 秒）の映像に対しプログレッシブ処理を行います。

動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは［切］にしてください。

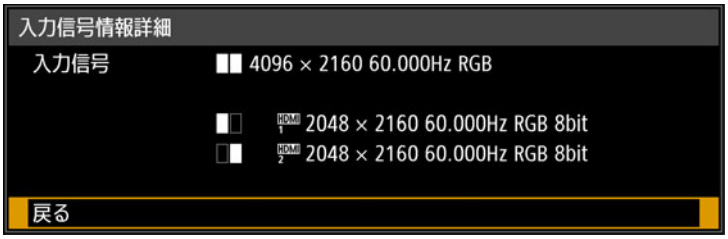
入力信号情報詳細

MENU ＞［映像設定］＞**［入力信号情報詳細］**

［インプット］メニューで選択している入力信号について、使用している入力端子ごとに、入力信号情報の詳細を表示します。

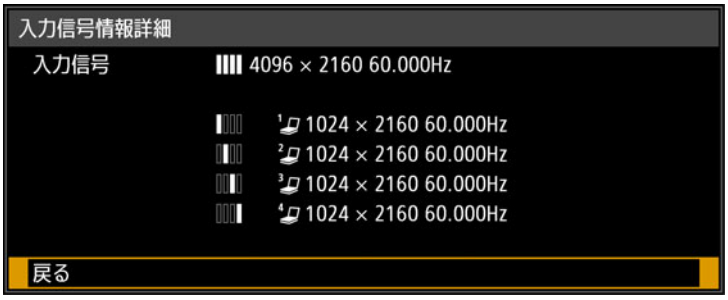
マルチインプットモードの場合、条件から外れた信号が入力されている入力端子に「!」アイコンが表示されるため、正しい入力がされていない端子を特定することができます。

- HDMI入力の場合
  解像度、垂直周波数、カラーフォーマット（YCbCr時はカラーフォーマットとサブサンプリング）、色深度が表示されます。



上の例では、HDMI-1 / 2 の入力信号は解像度 2048 × 2160 ドット、垂直周波数 60.000Hz、カラーフォーマットRGB、色深度8ビットです。

- DVI入力の場合
  解像度、垂直周波数が表示されます。



上の例では、DVI-1 / 2 / 3 / 4の入力信号は解像度1024 × 2160ドット、垂直周波数60.000Hzです。

イメージ調整

映像の明るさやコントラスト、シャープネスなどの画質の設定について説明します。

（入力信号がHDMI-1の場合）

メニュー	機能	詳細
イメージモード *	投写する映像に適した画質を選びます。	P85
ユーザーメモリ作成	任意に設定した画質の設定を保存します。	P85
基準イメージモード	イメージモードがユーザーの時だけ現れ、ユーザーメモリで使用した元のイメージモードが表示されます。	P85
明るさ *	映像の明るさを調整します。	P86
コントラスト *	映像のコントラストを調整します。	P86
シャープネス *	映像の鮮明度を調整します。	P86
ガンマ *	映像が暗い、または明るくて見えにくい部分を補正します。	P86
色調整 *	映像のより詳細な調整をします。	P86
高度な調整 *	ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。	P87
ランプモード *	ランプの光量を選びます。	P90
リセット	現在のイメージ調整の設定を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。	P90

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

* 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

イメージモード

MENU >[イメージ調整]>**[イメージモード]**

投写する映像に合わせ、画質を選びます。リモコンの【IMAGE】ボタンを押しても選択できます。

選択	映像の種類	特長
スタンダード	コンピューター画面や映像ソフト（動画）	画面が明るく、白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	文字を中心とした映像	画面が明るい
ダイナミック	映像ソフト（動画）	画面が明るい
ビデオ	ビデオカメラ映像	画面がやや暗く、テレビに近い色表現
フォト / sRGB	sRGB 対応のデジタルカメラ映像	画面がやや暗く、sRGB 規格対応
DICOM SIM	医療用などのモノクロ映像	DICOM Standard Part14 に準じています。ただし、診断などには使用できません。
ユーザー 1 ～ 3	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 3 種類までメモリ（ユーザーメモリ）に保存することができます。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。	

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
  [明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[ランプモード]
- プレゼンテーションモードの場合、シーンによっては映像にちらつきなどが発生する場合があります。その場合は、フォト / sRGB やスタンダードモードをご使用になることをお勧めします。

ユーザーメモリ作成

MENU >[イメージ調整]>**[ユーザーメモリ作成]**

任意に設定した画質の設定を３種類まで保存できます。

- 保存される設定値は、[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整]、[ランプモード] です。
- 表示されるユーザーメモリの数は3個ですが、入力がDVI-D信号の場合とHDMI信号の場合とで個別に設定値を保存します。そのため、6 種類の設定値を保存できます。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も同時に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「基準イメージモード」としてメニューに表示されます。

明るさ

MENU >[イメージ調整]>**[明るさ]**

映像の明るさを調整します。

コントラスト

MENU >[イメージ調整]>**[コントラスト]**

明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像やソフトな映像に調整します。

シャープネス

MENU >[イメージ調整]>**[シャープネス]**

映像の鮮明度を調整します。

ガンマ

MENU >[イメージ調整]>**[ガンマ]**

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分を補正します。

ガンマ詳細調整（P89）により、より詳細な調整を行うことができます。

色調整

MENU >[イメージ調整]>**[色調整]**

映像の色の濃さ、色合い、色温度などを調整します。

（イメージモードの設定がDICOM SIM以外の場合）

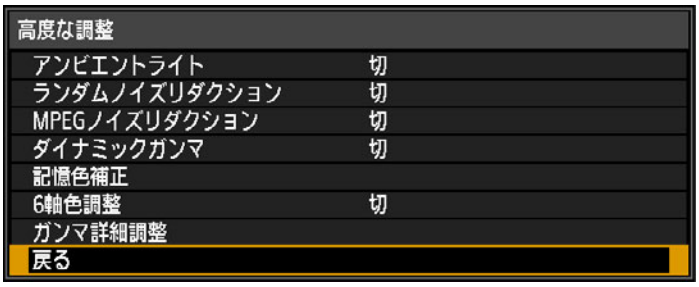
サブメニュー	機能
色の濃さ	色の濃さを調整します。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。
色温度	白の色味を調整します。
赤 / 緑 / 青ゲイン	赤、緑、青の色味のゲインを調整します。
赤 / 緑 / 青オフセット	赤、緑、青の色味のオフセットを調整します。

イメージモードが［DICOM SIM］のときは、［色温度］が数値による調整ではなく、以下の5 種類のプリセットから選択します。
プリセット 1：DICOM Standard Part14 に対して、明るさを優先します。
プリセット 2：DICOM Standard Part14 に対して、色の色味を優先します。
プリセット 3：DICOM Standard Part14 に対応した色を表現します。
プリセット 4：X 線フィルム（クリアベース）の色を表現します。
プリセット 5：X 線フィルム（ブルーベース）の色を表現します。

高度な調整

MENU ＞［イメージ調整］＞**［高度な調整］**

ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。



アンビエントライト

スクリーン上に届く環境光による影響を低減させ投写します。

サブメニュー	機能		
切	調整せずに投写します。		
調整	**種類**	**電球**	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合。
		蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合。
	レベル	**弱**	環境光が通常の場合。
		強	環境光が明るい場合。

アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室など

［アンビエントライト］は、イメージモードが［フォト /sRGB］のときに選ぶことができます。

ランダムノイズリダクション

映像のランダムノイズ * を低減します。

* 周波数や振幅が不規則なノイズです。

選択	機能
切	ランダムノイズリダクションを行いません。
弱	ランダムノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。
中	
強	

動きの速い映像の場合は［弱］を、動きの遅い映像の場合は［強］を選んでください。

MPEG ノイズリダクション

映像の MPEG ノイズを低減します。

選択	機能
切	MPEG ノイズリダクションを行いません。
弱	MPEG ノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。
中	
強	

ダイナミックガンマ

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

選択	機能
切	ダイナミックガンマを行いません。
弱	ダイナミックガンマの強度を 3 段階で指定します。
中	
強	

記憶色補正（肌色、空色、緑色）

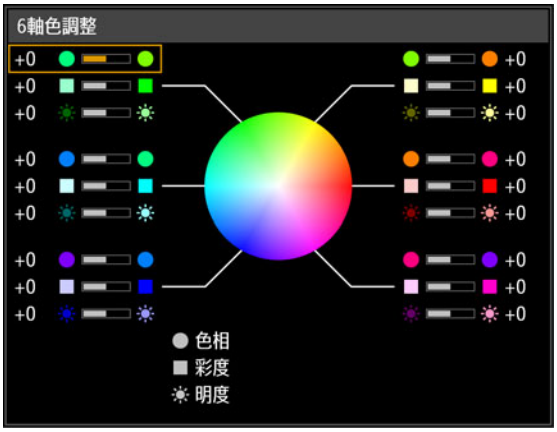
肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。

選択	機能
切	補正は行いません。
弱	補正の強度を指定します。
中	
強	

［ランダムノイズリダクション］、［MPEG ノイズリダクション］を行うと、解像感の低下を生じることがあります。

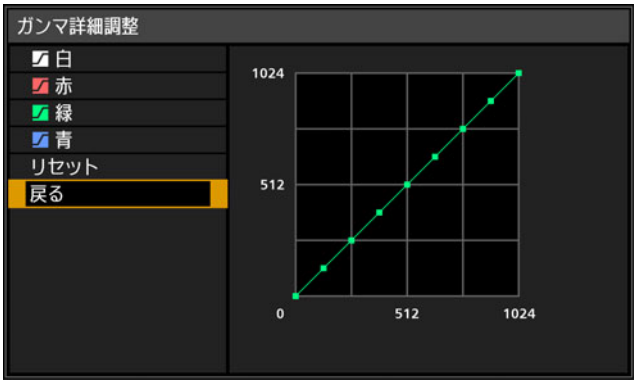
6 軸色調整

映像の色味を RGB（赤、緑、青）および CMY（シアン、マゼンタ、イエロー）できめ細かく調整します。

サブメニュー	機能
切	6 軸色調整を行いません。
調整	 【▲】【▼】ボタンで［○色相（色合い）］、［□彩度（色の濃さ）］、［☼明度（色の明るさ）］を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。
リセット	調整を 0 に戻します。

ガンマ詳細調整

白、赤、緑、青の 4 つのガンマ曲線を調整します。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の 3 色に調整量が反映されます。どちらで調整を行っても、最後の調整値が上書きされます。



【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】を押します。次に【◀】【▶】ボタンで調整点を選択し、【▲】【▼】ボタンで調整します。

- ［ガンマ詳細調整］は、イメージモード（最適なイメージモードは［フォト /sRGB］）が DICOM SIM 以外のときに選ぶことができます。
- ガンマ補正については、86 ページを参照してください。
- 入力信号、またはテストパターンを使って調整してください。

ランプモード

MENU >[イメージ調整]>**[ランプモード]**

ランプの光量を落とすことで消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにします。

選択	機能
フルパワー	最大の明るさで投写します。
エコ	ランプの光量を落とし、消費電力を減らします。

リセット

MENU >[イメージ調整]>**[リセット]**

現在使用しているイメージ調整の設定を、購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

- [イメージモード] でユーザー1 ～ 3 を選択しているときにリセットすると、[ユーザー1 ～ 3] に保存されている状態に戻ります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。
- 以下の項目がリセット（初期化）されます。
  - 明るさ
  - コントラスト
  - シャープネス
  - ガンマ
  - 色の濃さ
  - 色合い
  - 色温度
  - R/G/B ゲイン
  - R/G/B オフセット
  - アンビエントライトの種類、レベル
  - ランダムノイズリダクション
  - MPEG ノイズリダクション
  - ダイナミックガンマ
  - 記憶色補正
  - 6 軸色調整の各色相 / 彩度 / 明度
  - ガンマ詳細調整の白 / 赤 / 緑 / 青

設置設定

スクリーンや投写する映像の補正、プロジェクターの設置方向など設置に関する設定をします。

（入力信号がHDMI-1の場合）

メニュー	機能	詳細
設置ロック	設置に関連する機能の操作を禁止することができます。	P92
反転表示	天吊り投写やリア投写、リア・天吊り投写の設定をします。	P92
キーストーン	キーストーン調整の方法を設定します。	P92
プロフェッショナル設定	プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。	P93
レンズ - ポジション	レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを記憶し、復元します。	P100
スクリーン色補正	スクリーンの色に合わせて映像の色味を調整します。	P100
アイリス	機械的な絞りを 3 段階に可変できます。 光量を絞るほど暗くなりますが、コントラストが良くなります。	P101
テストパターン	本機設置時に解像度や色の確認をするため、テストパターンを投写します。	P101

設置ロック

MENU >[設置設定]>**[設置ロック]**

設置に関連する機能の操作を禁止することができます。

- 反転表示　• キーストーン　• プロフェッショナル設定　• レンズ - ポジションのポジションセーブ、レンズシフトリセット

選択	機能
切	設置関連の機能の設定変更ができます。
入	設置関連の機能の設定変更ができなくなります。

反転表示

MENU >[設置設定]>**[反転表示]**

プロジェクターの設置向きを設定します。

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置するときに選びます。 上下が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置し，リア投写するときに選びます。 上下左右が反転します。

- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を使用します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 反転表示を行うと台形ひずみ（キーストーン）の補正はリセットされるため、改めて補正してください。
- 反転表示の設定を変更しても、本体操作部のキー割り当ては変更されません。

キーストーン

MENU >[設置設定]>**[キーストーン]**

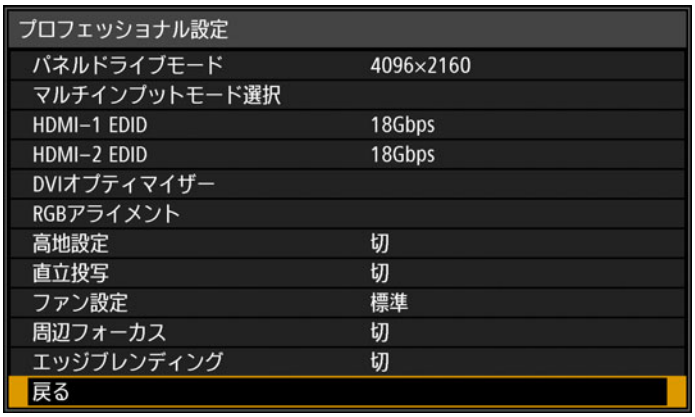
台形ひずみの調整に［縦横キーストーン］と［4 点補正］のどちらを使用するかを設定します。キーストーン調整のリセットも行えます。リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押した場合も実行できます。

選択	機能
縦横キーストーン	縦横キーストーン調整を実行します。上下、左右方向の長さを調整します。
4 点補正	4 点補正を実行します。それぞれの角ごとに位置を調整します。
リセット	調整したキーストーンの値をリセットします。

プロフェッショナル設定

MENU >[設置設定]>[プロフェッショナル設定]

プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。



パネルドライブモード

液晶パネルの縦方向に何ラインを使用するかを選択します。

選択	機能
4096 × 2160	横 4096 ドット×縦 2160 ラインのサイズを使用します。
4096 × 2400	横 4096 ドット×縦 2400 ラインのサイズを使用します。

- 4096 × 2400 を選択するときは、4096 × 2400 の解像度の信号を入力するときのみ選択してください。
- パネルドライブモードを変更すると、以下の設定値がリセットされます。
  - 縦横キーストーン
  - 4 点補正
- エッジブレンディングは、パネルドライブモード別に調整値を保持します。

マルチインプットモード選択

4 本の DVI 入力、または 2 本の HDMI 入力をどのように組み合わせて、映像を構成するかを選択します。

サブメニュー	機能	
DVI インプットモード	標準	[シングル]、[DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4] のいずれの DVI 入力にも対応します。
	シングル	単端子接続（シングル接続）の DVI 入力に対応します。
	DVI 1x2	2 本のケーブルを使った DVI 入力に対応します。
	DVI 2x2	4 本のケーブルを使い、縦横 2 行 2 列で投写する DVI 入力に対応します。
	DVI 1x4	4 本のケーブルを使い、縦に 4 列で投写する DVI 入力に対応します。

サブメニュー	機能	
HDMI インプットモード	標準	［シングル］、［HDMI 1x2］のいずれの HDMI 入力にも対応します。
	シングル	単端子接続（シングル接続）の HDMI 入力に対応します。
	HDMI 1x2	2 本の映像信号を使った HDMI 入力に対応します。

HDMI-1 EDID
HDMI-2 EDID

HDMI 端子（1/2）の EDID を接続機器の互換性に合わせて選択します。

選択	機能
18Gbps	3840x2160(4K) 60Hz YCbCr444 等の広帯域信号を正しく出力できる接続機器を使うときに選択します。
9Gbps	18Gbps を選択したときに、接続機器が EDID を正しく読み取れずに映像や音声が正しく出力されない場合に選択します。

- ［マルチインプットモード選択］の［HDMI インプットモード］が［HDMI 1 × 2］の場合は、本機能を使用しても対応する映像信号のフォーマットリストは変更されません。
- 広帯域信号を出力する機器との接続には HDMI-1 端子をご利用ください。

DVI オプティマイザー

DVI 信号の映像を最適化します。

サブメニュー	機能	
デュアルリンク自動設定	入	DVI 端子のシングルリンク / デュアルリンクモードを自動判別し、切り換えます。
	切	DVI 端子のシングルリンク / デュアルリンクモードを自動判別せず、シングルリンクモードで投写します。

選択	機能
DVI-1 イコライザー設定	DVI 端子のイコライザー値を調整します。 数値が小さいほど増幅率が大きく、数値が大きいほど増幅率が小さくなります。 設定例 • ロングケーブルを使用している場合、数値を小さくする方向で設定して減衰した信号を増幅します。 • アクティブケーブル・信号補正器・リピーター等を使用している場合、もしくはショートケーブルでノイズが乗る場合は信号が強すぎる可能性があります。その場合、数値を大きくする方向で設定し、信号を減衰させて適正化します。
DVI-2 イコライザー設定	
DVI-3 イコライザー設定	
DVI-4 イコライザー設定	

- デュアルリンクケーブルを使用していると、信号ラインにノイズが乗って映像が正常に表示されない場合があります。このときは、［デュアルリンク自動設定］を［切］に設定してください。
- DVI 端子を使用する場合に、ケーブルと本体のマッチングが悪く、映像にノイズが生じるか、もしくは信号検知ができなくなることがあります。この場合は、［DVI-1 イコライザー設定］～［DVI-4 イコライザー設定］でイコライザー値を調整してください。

RGB アライメント

色ずれ調整を行います。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>マイクロデジタルイメージシフト</td><td>複数台のプロジェクターを並べて投写するときなど画面の微小な位置合わせをする場合に、画面全体を 1 画素単位で位置調整できます。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>マイクロデジタルイメージシフトを行いません。</td></tr>
<tr><td>調整</td><td>
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>調整</td><td>上下方向、左右方向の画面位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>チャート</td><td>チャート（ポイント選択画面）が表示されます。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>レジストレーション</td><td>画面全体の色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、1 画素単位で位置調整できます。</td></tr>
<tr><td>高度なレジストレーション</td><td>画面内の場所によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、場所ごとに微調整できます。
詳細な調整方法については「高度なレジストレーションにより投写画面を調整する」（P145）を参照してください。
［切］　場所ごとの色ずれ調整を行いません。
［調整］　場所ごとの色ずれ調整を行うメニューを表示します。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5 点調整</td><td>切　調整を無効にします。</td></tr>
<tr><td>調整　画面内の 5 点（四隅と中央）について調整する 5 点調整モードになります。</td></tr>
<tr><td>マニュアル調整</td><td>画面内の 54 点（縦 6 ×横 9）で細かく調整します。</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td>調整結果をリセットします。</td></tr>
</table>
高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。</td></tr>
</table>

- パネルドライブモードを変更しても、［レジストレーション］［高度なレジストレーション］の設定値は維持されます。
- 5点調整は、画面上の中心と四隅の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正することができます。画面の部分的なレジストレーション調整を行いたい場合は、マニュアル調整を試してください。
- 5点調整してからマニュアル調整を行うと、5点調整値をそのまま引き継ぎます。5点調整後にさらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。
- マニュアル調整から5点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整値はリセットされます。

高地設定

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、海抜 2,300m 以上の高地の場合とで切り換えます。

選択	機能
切	海抜 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
入	海抜 2,300m 以上で使用する場合の設定です。

設定値が不適切な場合、ランプの寿命や他の部品の寿命が縮まる可能性があります。

直立投写

冷却用のファンの動作を、上向きで使用する場合と、下向きで使用する場合とで切り換え、適切に冷却できるようにします。

選択	機能
切	ファンの動作を変更しません。
上向き	本機を上向きにして使用する場合の設定です。
下向き	本機を下向きにして使用する場合の設定です。

- 直立投写をする場合は、必ずこの設定を行ってください。
- この設定を行わずに直立投写をするとランプの寿命や他の部品の寿命がより縮まります。
- この設定を行っても、水平投写に比較してランプの寿命や他の部品の寿命が縮まります。

ファン設定

光学部材の寿命を延ばすために、ファンの回転数を上げます。

選択	機能
標準	ファンを低速回転に設定します。静音が求められる場合に設定してください。
高速	ファンの回転数を上げ、光学部材の寿命を延ばします。ファンの音が大きくなりますが、光学部材の寿命を優先する場合に設定してください。

周辺フォーカス

ドーム型スクリーンに投影するときに、周辺のフォーカスを調整したり、リモコン操作による周辺フォーカス調整の ON / OFF を選びます。詳細な調整方法については「周辺フォーカスを調整する」（P149）をご覧ください。

選択	機能
切	周辺フォーカス調整を OFF にします。
入	周辺フォーカス調整を ON にします。本体の【LENS】ボタンを複数回、またはリモコンの【FOCUS】ボタンを押すと調整用の画面が表示されます。
リセット	周辺フォーカス調整を標準位置へ戻します。

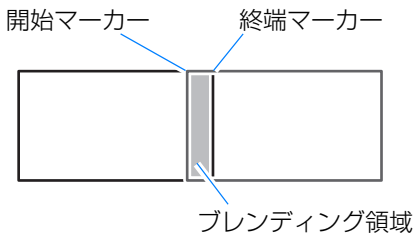
［切］にすると、周辺フォーカス調整値を維持したまま、調整画面が表示されなくなります。周辺フォーカス調整の操作を禁止したい場合に使用してください。

エッジブレンディング

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、映像の重なった部分（ブレンディング領域）の明るさと色を調整して重なった部分を目立たなくします。詳細な調整方法については「エッジブレンディング機能を使って投写する」（P141）を参照してください。

［切］　ブレンディング領域の調整を行いません。

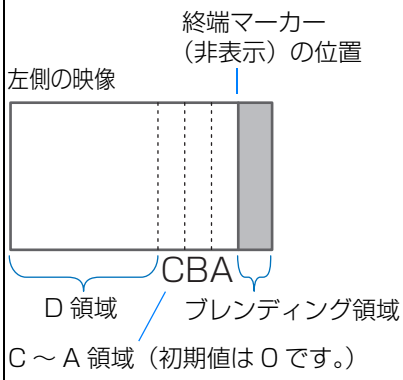
［調整］ブレンディング領域の調整を行うメニューを表示します。



右側の投写画面を調整する場合

- 調整を行ってもブレンディング領域に色つきや輝度差が残る場合があります。
- 各プロジェクターのイメージモードを（最適なイメージモードは［フォト /sRGB］）をそろえたり、以下の調整を行うことでエッジブレンディングの効果を高めることができます。
  ① 明るさ、コントラスト、赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセット、黒レベル、ブレンディング色、色温度、色の濃さ、色合い、シャープネス、ガンマ
  ② 6 軸色調整を用いた色調整
  ③ ガンマ詳細調整を用いたガンマ調整
  ④ キーストーンを用いた 4 点補正

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>サイド</td><td>
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>左</td><td rowspan="4">調整を行うブレンディング領域の方向を選択します。</td></tr>
<tr><td>右</td></tr>
<tr><td>上</td></tr>
<tr><td>下</td></tr>
<tr><td>幅</td><td>開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。</td></tr>
<tr><td>開始位置</td><td>開始マーカーの位置を移動させます。
• ブレンディング領域を大きく設定すると入力信号ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。そのときは一時的にエッジブレンディングを［切］にして表示を確認してください。
• 開始マーカーは通常映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ブレンディング色調整</td><td>ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>切</td><td>ブレンディング色調整は行いません。</td></tr>
<tr><td>調整</td><td>ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
<table>
<tr><th>選択</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>白</td><td>ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青の色つき、色ずれを同時調整します。</td></tr>
<tr><td>赤 / 緑 / 青</td><td>ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青それぞれの色つき、色ずれを個別に調整します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">黒レベル調整</td><td>ブレンディング領域では黒色が他の部分よりも明るく投写されるため、重ならない部分の黒レベルを調整して輝度差を目立たなくします。
 

A 領域：黒レベルの調整はできません。
B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。</td></tr>
<tr><td>切
黒レベル調整は行いません。</td></tr>
<tr><td>領域
ブレンディング領域と接するつなぎ目をよりなめらかにするため C ～ A 領域の調整をします。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>サイド</td><td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下から選択します。</td></tr>
<tr><td>A 幅 /B 幅 / C 幅</td><td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>黒レベル
B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。
<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>B/D 領域基準</td><td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td></tr>
<tr><td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td><td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td></tr>
</table>
［黒レベル調整］を［切］にして一時的にダイアログの表示を消しても、再度［調整］に戻した場合、各調整値は復元されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">マーカー</td><td colspan="2">調整範囲を示すマーカーを表示します。</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>機能</td></tr>
<tr><td>切</td><td>調整範囲を示すマーカーは表示しません。</td></tr>
<tr><td>入</td><td>調整範囲を示すマーカーを表示します。
赤は開始マーカー、緑は終端マーカーです。</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td colspan="2">調整結果をリセットします。</td></tr>
</table>

レンズ - ポジション

MENU >[設置設定]>**[レンズ - ポジション]**

レンズ - ポジションのメモリー機能により、レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを３種類まで記憶しておくことができ、復元もできます。

サブメニュー	機能
ポジションロード 1 ～ 3	ポジションセーブ 1 ～ 3 で記憶したレンズ - ポジションに復元します。
ポジションセーブ 1 ～ 3	レンズ - ポジションをポジションセーブ 1 ～ 3 に記憶します。
レンズシフトリセット	レンズシフト位置を基準位置に戻します。

- レンズ - ポジションのメモリ機能を使用しても、投写画面が設定（ポジションセーブ）した位置から、わずかにずれることがあります。
- 投写画面サイズをスクリーン画面（投影領域）サイズより少し小さく設定することで、投写画面全体を欠けることなく、複数ポジションの投写画面を切り替えることができます。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して微調整して下さい。
- ［ポジションセーブ］、［レンズシフトリセット］は［設置ロック］（P92）が［入］に設定されていると選択できません。
- ［ポジションロード］は［ポジションセーブ］で記憶したデータがないとグレーアウトし、選択できません。
- 記憶される設定値は、フォーカス、ズーム、レンズシフト、キーストーン、４点補正、スクリーン色補正です。

スクリーン色補正

MENU >[設置設定]>**[スクリーン色補正]**

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

サブメニュー	機能
標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板（濃緑色）をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも［標準］に近い色味になります。
調整	赤 / 緑 / 青の色のゲイン、オフセットをそれぞれ細かく調整するときに選びます。

アイリス

MENU >[設置設定]>**[アイリス]**

明るさよりもコントラストを重視した投写を行う時に本機能を使用します。

サブメニュー	機能
オープン	機械的な絞りを使用しません。
クローズ 1 ～ 3	機械的な絞りの度合いを 3 段階で指定します。

［アイリス］の設定により消費電力が変化することはありません。

テストパターン

MENU >[設置設定]>**[テストパターン]**

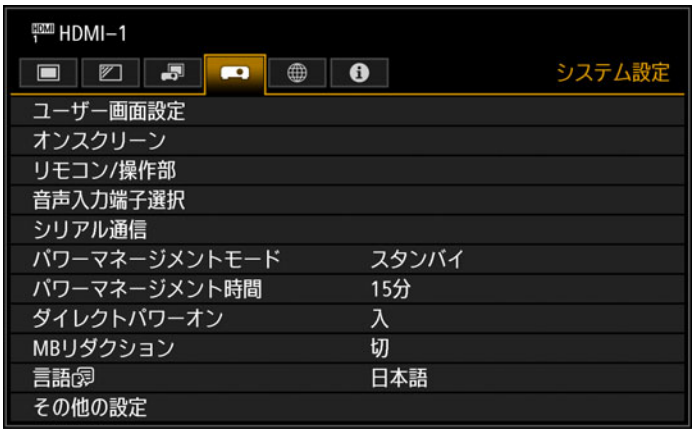
映像信号入力を接続しなくてもテストパターン（P160）を投写することができます。本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押しても選択できます。

選択	機能
切	テストパターンの表示をしません。
入	テストパターンの表示をします。

- テストパターン・ダイレクトメニュー表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。
- テストパターン・ダイレクトメニューは一定時間後に消えます。【▲】【▼】ボタンを押すことにより再表示されます。

システム設定

電源投入時やスタンバイ時、操作音など、本機やリモコンの動作に関する設定をします。



（入力信号がHDMI-1の場合）

メニュー	機能	詳細
ユーザー画面設定	電源を入れたときや入力信号が検出されなくなったときに表示する画面などの設定をします。	P103
オンスクリーン	メニューの表示位置やガイド、警告、注意を示すアイコンの表示、非表示などの設定をします。	P104
リモコン / 操作部	リモコンや本体のボタン操作などを設定します。	P106
音声入力端子選択	音声を入力する端子を選びます。	P107
シリアル通信	シリアル通信の設定値を表示します。	P108
パワーマネージメントモード	映像入力信号がない状態（無信号状態）、しかもリモコンや本体操作部の操作がない（無操作状態）場合、所定時間が経過した後に、ランプや電源をオフにできます。	P108
パワーマネージメント時間	［パワーマネージメントモード］で設定したランプオフやスタンバイの状態になるまでの時間を設定します。	P109
ダイレクトパワーオン	【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。	P109
MB リダクション	MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。	P109
言語	メニューに表示する言語を選びます。	P110
その他の設定	パスワードの登録やランプ、エアフィルターの交換時期の表示などの設定をします。	P111

ユーザー画面設定

MENU >[システム設定]>**[ユーザー画面設定]**

画像の登録や表示の設定をします。

ユーザー画像登録

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK 時の画面、起動時の画面として使用することができます。

選択	機能
はい	登録する画像を画面に表示します。 赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

ユーザー画像位置

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。
ユーザー画面が登録されているときに設定することができます。左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

無信号時画面

入力信号がないときの表示画面の設定をします。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

BLANK 時画面

リモコンの【BLANK】ボタンを押して映像を一時的に消したときに表示する画面を選びます。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

起動時画面

電源を入れてから入力信号の投写ができるまでの間に表示する画面を選びます。

選択	機能
表示しない	黒映像が表示されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

オンスクリーン

MENU >[システム設定]>**[オンスクリーン]**

操作の補助となるガイドやメニュー、警告や注意を示すアイコンの設定をします。

メニュー表示位置

メニュー表示の位置を変えます。
左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

エッジブレンディング機能を使用しているときは、[中央] に固定されるため、他の表示位置はグレーアウトし、選択できません。

メニュー表示時間

通常は 10 秒または 30 秒のメニュー表示時間を 3 分に延長します。

選択	機能
標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

以下の表示時間が変わります。

項目	[標準]	[延長]
MENU 画面	30 秒	3 分
- インプット（P54） - キーストーン調整（P63） - キーストーンリセット（P65） - フォーカス（P58）、ズーム（P58）、レンズシフト（P60）、レンズシフトリセット（P61） - 周辺フォーカス（P97） - アスペクト（P62） - イメージモード（P66） - ガンマ（P86） - 音量の調整（P20、P24）	10 秒	3 分

RGB アライメントの 5 点調整とマニュアル調整の表示時間は、[標準] [延長] にかかわらず 3 分です。

ガイド

ガイド画面を表示します。

選択	機能
切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。

ガイド画面は次の場合に表示されます。
- 入力信号が確認できない場合。
- ［BLANK］、［FREEZE］時に無効なボタンが押された場合。（P24）
- 設置ロック（P92）が［入］に設定されており、設置ロック中の操作禁止のボタンが押された場合。

入力状態表示

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

ランプ交換警告表示

ランプの使用時間が所定の時間に達した場合に、交換を促す警告を表示させます。

選択	機能
切	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示しません。
入	ランプ準備のメッセージとランプ交換警告を画面に表示します。

- ランプ交換時期が近づいたときは本体の［LAMP］インジケーターが点滅します。詳しくは、「LED インジケーターの表示について」（P21）をご覧ください。
- ランプ交換警告表示を［切］にした場合、ランプ準備のメッセージとランプ交換警告は表示されません。ランプカウンター（P112）で交換時期を確認してください。
- ランプの交換時期を過ぎて使い続けると、ランプが破裂する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。

エアフィルター清掃警告表示

エアフィルターの清掃が必要な場合に、清掃を促す警告を表示させます。

選択	機能
切	エアフィルター清掃警告を表示しません。
入	エアフィルター清掃警告を表示します。

エアフィルター清掃警告表示［切］を選択した場合、エアフィルター清掃の警告が表示されません。エアフィルターカウンター（P113）で交換時期の確認をお勧めします。

高温注意表示

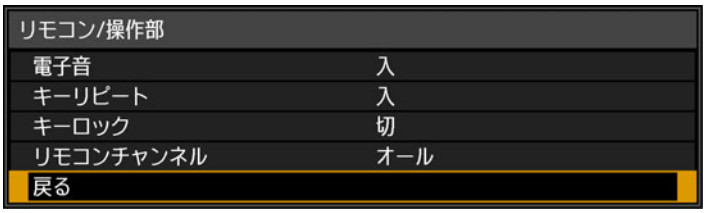
本機内部の温度が上がり、異常温度に近づいたときに、高温注意アイコンを表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	高温注意アイコンを表示しません。
入	高温注意アイコンを表示します。

リモコン / 操作部

MENU >[システム設定]>**[リモコン / 操作部]**

リモコンや本体操作部のボタン操作などの設定を行います。



電子音

操作時の電子音の無効、有効を選べます。

選択	機能
切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピート

本体やリモコンのボタンを押したままにしたとき、連続して押した状態と同じ動作をさせること（キーリピート）ができます。

選択	機能
切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

キーロック

本体またはリモコンのいずれかでの本機の操作をできないようにします。

選択	機能
切	キーロックをしません。本体・リモコンどちらからでも操作することができます。
本体	本体操作部が使用できなくなります。 リモコン側で操作してください。
リモコン （ワイヤレス）	赤外線でのリモコン操作ができなくなります（P26）。本体側で操作してください。 リモコンをケーブルに接続して操作することはできます 。

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

キーロックは、本体操作部を用いて［本体］を設定することはできません。リモコンを用いて［リモコン（ワイヤレス）］の設定も同様にできません。

リモコンチャンネル

ひとつのリモコンで複数台（最大 4 台）のプロジェクターを同時に使用するとき、操作するプロジェクターを使い分けるためリモコンのチャンネル設定をします。

本体側のチャンネルを選ぶ

リモコンをケーブル接続して使用する場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

選択	機能
Ch1 Ch2 Ch3 Ch4	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
オール	すべてのチャンネルのリモコンが使用できるようになります。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

メニューで本体側のチャンネル切り換えを行ったら、リモコンで以下の操作をし、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。

Ch1	Ch ボタンと【1】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	Ch ボタンと【2】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	Ch ボタンと【3】ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	Ch ボタンと【4】ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	Ch ボタンと【0】ボタンを同時に 3 秒間押します。

音声入力端子選択

MENU >[システム設定]>**[音声入力端子選択]**

音声を入力する端子を選びます。

選択	機能
切	音声出力を行いません。
オーディオイン	AUDIO IN 端子から入力される音声を出力します。
HDMI-1	入力信号が［HDMI-1］または［HDMI1x2］のときのみ選べます。HDMI-1 の音声信号を出力します。
HDMI-2	入力信号が［HDMI-2］または［HDMI1x2］のときのみ選べます。HDMI-2 の音声信号を出力します。

シリアル通信

MENU >[システム設定]>**[シリアル通信]**

シリアル通信機能で使用するサービス用端子（CONTROL）の設定値を確認することができます。

選択	機能
ボーレート	変調速度（単位はビット / 秒）を表します。
データビット長	データのビット数を表します。
パリティ	パリティのビット数を表します。
ストップビット	データビットの終了を示すマークの長さを設定します。 選択：機能 1：ストップビット長を 1 に設定します。 2：ストップビット長を 2 に設定します。

パワーマネージメントモード

MENU >[システム設定]>**[パワーマネージメントモード]**

映像入力信号がない状態（無信号状態）で、しかもリモコンや本体操作部の操作がない（無操作状態）場合、所定時間が経過した後に、ランプや電源をオフにできます。

選択	機能
無効	パワーマネージメントモードを使用しません。
ランプオフ	ランプのみを消灯します。
スタンバイ	電源を切り、スタンバイ状態にします。

- ランプオフから復帰するのは、映像信号（ランプオフ前と同じ入力信号）が復活した場合、またはリモコン／本体のボタンを操作した場合、電源を ON にした場合です。
- スタンバイから復帰するには、通常の電源を入れる操作が必要です。
- ［無効］に設定した場合は、［ダイレクトパワーオン］（P109）は使用できません。

パワーマネージメント時間

MENU >[システム設定]>**[パワーマネージメント時間]**

[パワーマネージメントモード] で設定したランプオフやスタンバイの状態になるまでの時間を設定します。

選択	機能
5 分～ 60 分	入力信号がなくなって 30 秒が経過し、かつ操作がない状態が継続すると、選択した時間のカウントダウン表示を開始します。

- ブランク中にカウントダウンを開始する条件になると、ブランクは解除されます。
- カウントダウンを開始すると、音声出力は停止します。

ダイレクトパワーオン

MENU >[システム設定]>**[ダイレクトパワーオン]**

【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

選択	機能
切	電源を入れるために【POWER】ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。

- ダイレクトパワーオンを［入］にするときは、［パワーマネージメントモード］の設定を［無効］以外に設定してください。［無効］にするとダイレクトパワーオンは使用できません。
- 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

MB リダクション

MENU >[システム設定]>**[MB リダクション]**

MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。

選択	機能
切	MB リダクションを実行しません。
弱	動きの速い映像のブレを軽減します。若干映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。
強	［弱］よりも動きの速い映像のブレを軽減します。映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。

- ［弱］、［強］にしたときにちらつきが気になる場合は、［切］に設定してください。
- イメージモードが［DICOM SIM］の場合は、［MB リダクション］は機能しません。メニューはグレーアウト表示となります。

言語

MENU >[システム設定]>**[言語]**

メニューに表示する言語を選びます。

言語		
English 英語	Русский ロシア語	Čeština チェコ語
Deutsch ドイツ語	Nederlands オランダ語	Dansk デンマーク語
Français フランス語	Suomi フィンランド語	إنجليزي アラビア語
Italiano イタリア語	Norsk ノルウェー語	中文简体 中国語（簡体）
Español スペイン語	Türkçe トルコ語	中文繁體 中国語（繁体）
Português ポルトガル語	Polski ポーランド語	한국어 韓国語
Svenska スウェーデン語	Magyar ハンガリー語	日本語 日本語

その他の設定

MENU >[システム設定]>**[その他の設定]**

パスワードの登録や設定、ランプやエアフィルターのカウンターのリセットなどの設定をします。

パスワード設定

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。

選択	機能
切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

パスワードを強制解除するには

本体側で解除する方法	本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。 次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。 電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。（登録したパスワードもリセットされます）
リモコン側で解除する方法	リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを 3 回押し、【POWER】ボタンを押してください。

- ［パスワード登録］を行わないとパスワード設定を［入］にできません。
  パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。
  パスワードは 4 桁で入力します。
  【▲】、【▶】、【▼】、【◀】ボタンまたはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。
  パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。
- パスワードの入力画面のまま無操作状態で 3 分間経過した場合も電源が切れます。

パスワード登録

投写を始めるためのパスワードを登録します。

パスワードは 4 桁で入力します。
方向ボタン【▲】(1)、【▶】(2)、【▼】(3)、【◀】(4)、またはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。
左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。
パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

パネル特性調整

本機の使用期間や環境などによる投写状態の調整をします。

サブメニュー	機能
ガンマリストア	長期間のご使用によって、階調特性の変化や無彩色の色づきが気になった時に使用します。ガンマリストアはランプ点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。
パネル温度補正	環境温度などの変化に応じて、ガンマが変化したときに使用します。LCOS パネルの温度変化により変化した階調性の補正を行います。パネル温度補正は、ランプ点灯後約 2 分以上経過しないと使用可能になりません。

ガンマリストア

サブメニュー	機能
切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。
調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。

- ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色づきを購入時（工場出荷時）の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。
- ガンマリストアを実行すると、約 8 分間、調整画面が投写されます。
- ガンマリストアを中断するには、【POWER】ボタン、または【EXIT】ボタンを押してください。中断すると【切】の状態に戻ります。

パネル温度補正

サブメニュー	機能
切	パネル温度補正を実行しません。
調整	パネル温度補正を実行します。

ランプカウンター

ランプの交換時期を知らせるカウンターをリセットします。
ランプカウンターの表示については、「ランプを交換する」（P156）をご覧ください。

- ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。ランプの交換時期を正しく知らせることができなくなります。
- ランプ交換の指示が出た（P156）場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。

エアフィルターカウンター

エアフィルターの清掃および交換時期を知らせるカウンターをリセットします。

フィルターの交換および清掃については 152 ～ 155 ページを参照してください。

通電カウンター

プロジェクターが電源に接続されていた総時間を表示します。

［工場出荷設定］を行っても初期化されません。

ファームウェアバージョン

ファームウェア（本機の内蔵プログラム）を新しいバージョンに更新します。
表示されるバージョンを確認した上でバージョンアップを実行してください。

本機のファームウェアのバージョンは以下の手順で行います。

1. アップデートプログラムは弊社のウェブサイトからダウンロードし、USB メモリのルートディレクトリに保存します。
2. USB メモリを USB 端子に接続します。
3. 画面に表示される指示に従って操作してください。

- ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。
- アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。詳しくはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 更新処理には数分かかります。ファームウェアの更新中は、赤い LED が点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

工場出荷設定

メニューで設定した内容を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

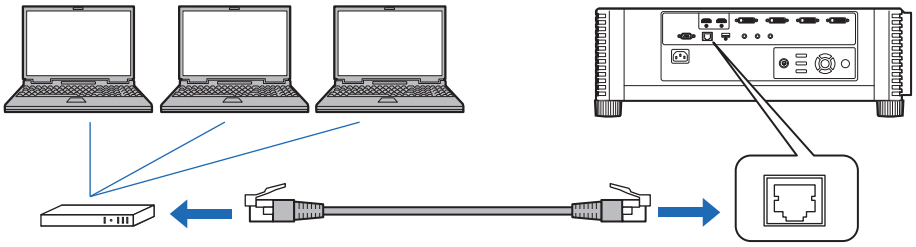
ネットワーク設定

ネットワーク接続の概要

本機（プロジェクター）をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。

接続方法について

LANケーブルを使用してネットワーク環境に接続し、プロジェクターとコンピューターを接続します。



- プロジェクターの［ネットワーク機能］の設定が［切］（ネットワーク接続が無効）になっている場合は、［入］に変更してください。（P117）
- 「インフォメーション」(P122) を参照して、プロジェクターのIPアドレスが、LAN上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターのIPアドレスを設定する場合は、「コンピューターからプロジェクターを制御する」（P139）の手順に従ってウェブ画面で行うか、プロジェクターのTCP / IP設定機能（P118）を使用して行います。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続するネットワーク環境で DHCP サーバーが稼動している場合は、プロジェクターの［DHCP］画面で［入］を選択し、DHCP 機能を有効にして接続することができます。(P118)

プロジェクターでの設定

ネットワークへの接続の設定や、ネットワーク使用時のパスワードの登録など、ネットワークを使用するときの設定について説明します。

（入力信号がHDMI-1の場合）

メニュー	機能	詳細
ネットワーク設定変更	ネットワークの設定が変更できないようにします。	P116
ネットワーク パスワード設定	ネットワークの設定を変更するときに、パスワードの入力が必要か設定します。	P116
ネットワーク パスワード登録	ネットワークパスワードの登録をします。	P116
ネットワーク待機設定	スタンバイ状態時のネットワーク機能の動作状態を設定します。	P117
ネットワーク機能	ネットワーク機能の入／切を設定します。	P117
詳細設定	ネットワークで接続するときの詳細な情報を表示および設定をします。	P118
PJLink	プロジェクターの PJLink 機能の使用の有無を設定します。	P120
AMX Device Discovery	AMX 社の AMX Device Discovery の検出の設定をします。	P121
Crestron RoomView	Crestron RoomView の使用設定をします。	P121

ネットワーク設定変更

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク設定変更]**

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

選択	機能
ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。**【▲】【▶】【▼】【◀】**ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、4 桁のネットワークパスワードを入力します。
ロック	ロックします。

ネットワークのロックを強制解除するには

【▲】【OK】**【▶】**【OK】**【▼】**【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは**【▲】【▲】【▲】【▲】**（**【1】【1】【1】【1】**）に初期化されます。［ネットワークパスワード設定］を［切］に設定すると、常にロックが解除された状態となります。

ネットワークパスワード設定

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード設定]**

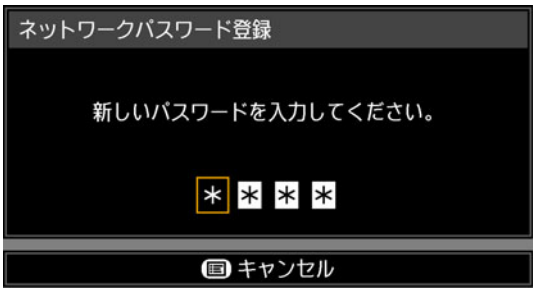
プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードの入力を必要とするかどうかを設定します。

選択	機能
切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

ネットワークパスワード登録

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワークパスワード登録]**

【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



ネットワーク待機設定

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク待機設定]**

スタンバイ時のネットワーク機能の動作状態を設定します。

選択	機能
通常	スタンバイ時も、ウェブ設定、ネットワーク経由の操作、PJLink などすべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	スタンバイ時も、すべてのネットワーク機能が動作します。ただし、機能によっては、最初に使用したときの反応時間が、通常と比べて長くなるものがあります。

- ［省電力］を選んだ場合、機能によってはネットワークでのアクセスに時間がかかるものがあります。アクセスを速くしたい場合は、［通常］を選択してください。
- ネットワーク機能［入］を選んだ場合、ネットワーク待機設定の通常 / 省電力で消費電力が変わります。

ネットワーク機能

MENU >[ネットワーク設定]>**[ネットワーク機能]**

ネットワーク機能の入 / 切を設定します。

［切］に設定すると、消費電力を抑えることができます。

選択	機能
切	ネットワーク機能を無効にします。
入	ネットワーク機能を有効にします。

詳細設定

MENU >[ネットワーク設定]>**[詳細設定]**

ネットワーク接続に関するIP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更したりします。ネットワーク機能が［入］のときのみ有効です。

メニュー	機能
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。
DHCP	<table><tr><th>サブメニュー</th><th>機能</th></tr><tr><td>切</td><td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の設定が可能になります。</td></tr><tr><td>入</td><td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP 設定の各項目（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の入力はできなくなります。</td></tr></table>
TCP / IP 設定	接続するときの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。 • ［DHCP］が［入］の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。 • 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。

メニュー	機能
ネットワーク設定初期化	ネットワークに関する以下の項目を初期化します。 **本機のメニューから設定する項目** • ネットワーク設定変更（P116） • ネットワークパスワード設定（P116） • ネットワークパスワード登録（P116） • ネットワーク待機設定（P117） • ネットワーク機能（P117） • 詳細設定（P118） • PJLink（P120） • AMX Device Discovery（P121） • Crestron RoomView（P121） **ウェブ画面から設定する項目** • [Password]（P129） • [Network]（P130） • [Mail]（P131） • [Mail auth]（P132） • [SNMP]（P133） • [Projector info.]（P134） • [PJLink]（P134）

PJLink

MENU >[ネットワーク設定]>**[PJLink]**

プロジェクターのPJLink機能の無効、有効を切り換えます。
[入] にすると、ネットワーク経由でPJLink規格にそったコマンドによる制御が行えます。

選択	機能
切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。

- このプロジェクターは JBMIA（Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。
- PJLink の利用については「PJLink を設定する [PJLink]」（P134）を参照してください。

PJLinkとは

2003 年 9 月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなどプロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink サイト URL　　http://pjlink.jbmia.or.jp

PJLink™

PJLinkはJBMIAの登録商標です。
PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。

AMX Device Discovery

MENU >[ネットワーク設定]>**[AMX Device Discovery]**

ネットワーク環境で、AMX社のAMX Device Discovery対応機器による検出をするときに設定します。ネットワーク環境にAMX Device Discoveryがないときは、[切] を選びます。

選択	機能
切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。

AMX Device Discovery の詳細については AMX 社の Web ページを参照してください。
http://www.amx.com/

Crestron RoomView

MENU >[ネットワーク設定]>**[Crestron RoomView]**

Crestron 社の Crestron RoomView とは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や、ランプ寿命の把握、電源ON / OFFなどを、一括に管理できるシステムです。Crestron RoomViewを使用するかどうかを設定します。

選択	機能
切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express / Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P135)

Crestron RoomView の詳細については、Crestron® 社の Web ページを参照してください。
http://www.crestron.com/

インフォメーション

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。

メニュー	機能
モデル名	機種名が表示されます。
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」「カラーフォーマット」などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアル No.	本機固有のシリアルナンバーです。
プロジェクター使用時間	総点灯時間を表示します。
IP アドレス *	ネットワーク接続しているときの IP アドレスです。
メール送信元アドレス *	エラーメールの送信元メールアドレスです。（P131）
メール送信先アドレス *	エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。（P131）
プロジェクター名 *	ネットワーク上での本機の識別名です。
コメント *	本機の設置場所などのコメントが表示されます。（P134）
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

* ネットワーク機能が［切］のとき、値は表示されません。

ネットワーク接続時のコンピューター設定

IP アドレスを設定する

コンピューターのIPアドレスを設定する方法をOSごとに説明します。

■ Windows 10 の場合

1 **画面左下のスタートボタン（Windowsロゴ）を右クリックします。**

- デスクトップモード（デスクトップ画面）で操作する場合
  キーボードの［Windows ロゴ］キーと［X］キーを同時に押しても、同じ操作になります。

2 **画面左下に表示されるショートカットメニューから［コントロールパネル］をクリックします。**

3 **［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。**

- アイコン表示の場合
  ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

4 **［アダプターの設定の変更］をクリックします。**

5 **［イーサネット］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

6 **「この接続は次の項目を使用します」の一覧から［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。**

7 **［次のIPアドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。**

プロジェクターの工場出荷時のIPアドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

8 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［イーサネットのプロパティ］画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。**

■ Windows 8.1 / 8 の場合

1 **スタート画面の背景部分で右クリックし、画面右下の［すべてのアプリ］をクリックします。**

- Windows 8.1 をご利用の場合
  スタート画面左下の下向き矢印をクリックします。

2 **［コントロールパネル］をクリックします。**

- デスクトップ画面から操作する場合
  キーボードの［Windows ロゴ］キー と［X］キーを同時に押します。
  画面左下に表示されるショートカットメニューから［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

- アイコン表示の場合
  ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

4 ［アダプターの設定の変更］をクリックします。

5 ［イーサネット］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

6 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4)］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。

7 ［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

8 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［イーサネットのプロパティ］画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows 7 の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［アダプターの設定の変更］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4)］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。

6 ［次の IP アドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows Vista の場合

1 コンピューターの［スタート］メニューで［コントロールパネル］を開きます。

2 ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 ウィンドウの左側のメニューにある［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックして［プロパティ］を開きます。

5 ［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］を選んで［プロパティ］ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。

6 ［次のIPアドレスを使う］を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

7 設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし、［ローカルエリア接続］のプロパティ画面の［閉じる］ボタンをクリックして閉じます。

■ Mac OS X の場合

1 アップルメニューを開き、［システム環境設定］を選びます。

2 システム環境設定ウィンドウの［ネットワーク］をクリックし、ネットワーク画面を表示します。

3 ［内蔵Ethernet］を選び、［TCP/IP］タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、ルーター、DNS サーバーなど）をメモします。

4 新しいネットワーク環境を作成し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」なので、これと重複しないよう設定してください。

5 ［適用］をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。

■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

ネットワークを設定する

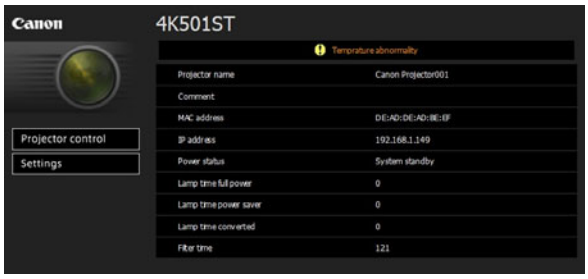
■ ネットワーク設定画面の表示

1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

プロジェクターの電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

2 **ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターの IP アドレス）」を入力して［Enter］キーを押します。**

プロジェクターのウェブ画面が表示されます。



表示される情報は次の通りです。

Projector control	プロジェクターコントロール画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメント
MAC address	プロジェクターの MAC アドレス
IP address	プロジェクターの IP アドレス
Power status	プロジェクターの電源の状態
Lamp time full power	ランプモード［フルパワー］でのランプの使用時間
Lamp time power saver	ランプモード［エコ］でのランプの使用時間
Lamp time converted	ランプの使用時間（換算値）
Filter time	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ（エラーが発生した場合） Temperature abnormality：温度エラー Faulty lamp：ランプエラー Faulty cooling fan：ファンエラー Faulty power supply：電源エラー Faulty air filter unit：エアフィルターエラー

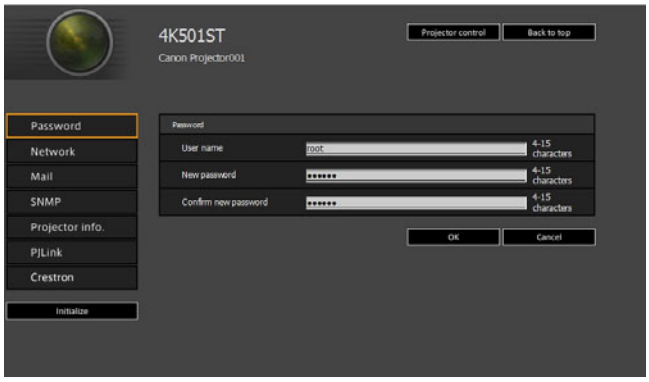
工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。（P118）

3 **ウェブ画面の［Settings］をクリックします。**

パスワードの入力画面が表示されます。

4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

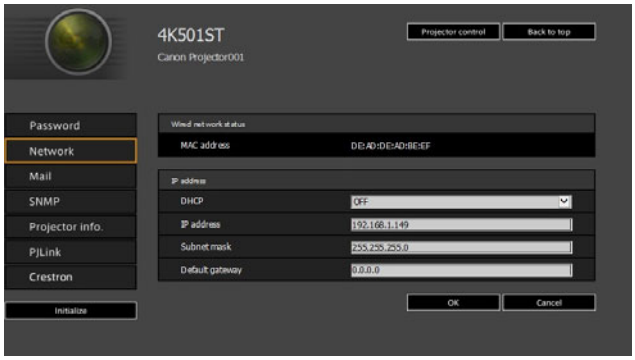
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。
セッティング画面が表示されます。この画面でネットワークの設定を行います。



コンピューターからプロジェクターを制御する場合は [Projector control] をクリックします。(P139)

■ ネットワークの設定

1 **セッティング画面のメニューから、設定したい機能を選択します。**

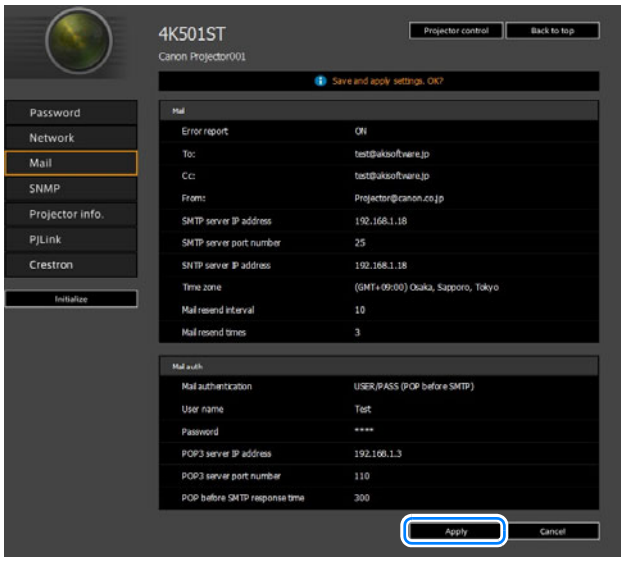


2 表示された各欄に設定内容を入力し（①）、[OK] をクリックします（②）。

①

②

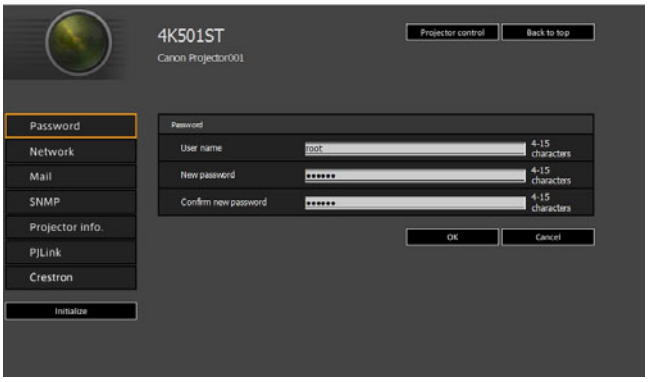
3 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ [Apply] をクリックします。



設定内容がプロジェクターに反映されます。
メニューで［Network］や［Password］を選択していた場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。
それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。［Back to top］をクリックし、ウェブ画面のトップ画面に戻ります。

パスワードの設定［Password］

セッティング画面の［Password］では、ウェブ画面にログインする際のユーザー名やパスワードの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
User name	ウェブ画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号（4 ～ 15 文字）で入力します。	root

項目	説明	工場出荷時の設定
New password	ウェブ画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号（4 ～ 15 文字）で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、［New password］と同じパスワードを入力します。	system

ネットワーク基本情報の設定［Network］

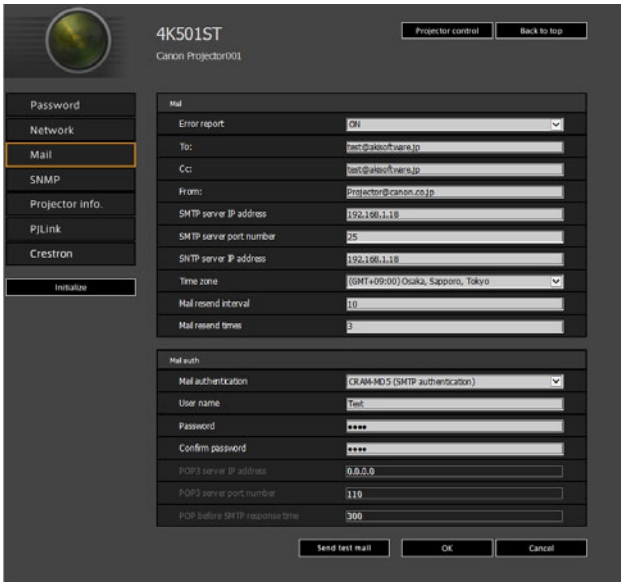
セッティング画面の［Network］では、ウェブ画面へのログインとネットワークの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。

項目	説明	工場出荷時の設定
MAC address	プロジェクターの MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの MAC アドレス
DHCP	DHCP 機能の ON / OFF を選択します。 ON の場合、IP アドレスはサーバーから取得されるため、以下の項目は入力できなくなります。 ［IP address］ ［Subnet mask］ ［Default gateway］	OFF
IP address	プロジェクターの IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
Subnet mask	サブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
Default gateway	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続しなおす必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で［Subnet mask］を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

メールを設定する［Mail］

セッティング画面の［Mail］では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF を選択します。	OFF
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	Projector@canon.co.jp
SMTP server IP address	SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
SMTP server port number	SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	25

項目	説明	工場出荷時の設定
SNTP server IP address	SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
Time zone	プロジェクターを使用する場所のタイムゾーンを選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
Mail resend interval*	エラーメール再送間隔（秒単位）を 0 ～ 59 秒の範囲で半角数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0 ～ 255 回の範囲で半角数字で入力します。	3

* 0 秒を設定した場合、待機時間なしで指定されたエラーメール再送回数の再送を繰り返します。

メール認証を設定する［Mail auth］

［Mail auth］では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。

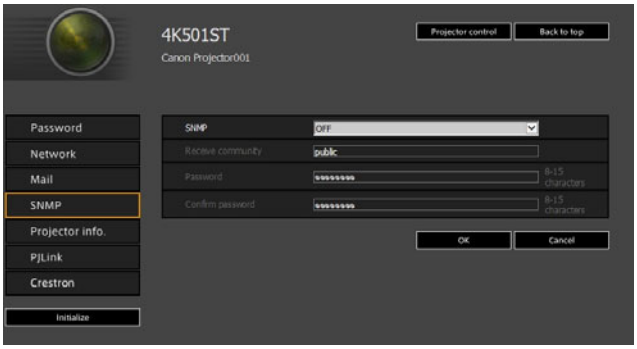
項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞
POP3 server IP address	POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
POP3 server port number	POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数字（0 ～ 9999 ミリ秒）で入力します。	300

テストメールを送信する［Send test mail］

Mail 画面の［Send test mail］は、［Mail］で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。この画面では各項目の内容を変更することはできません。

SNMP を設定する［SNMP］

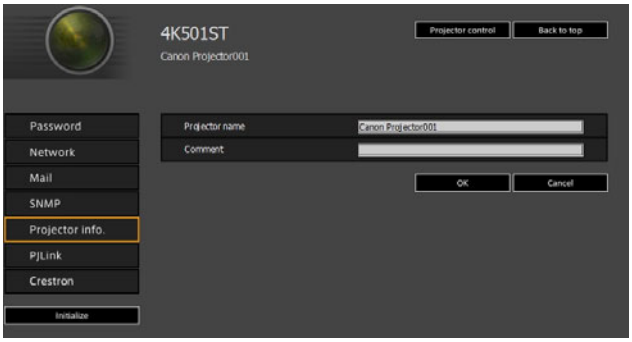
セッティング画面の［SNMP］では、SNMP（Simple Network Management Protocol）を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」（P127）を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、SNMP 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号（1 ～ 15 文字）で入力します。	＜空欄＞
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号（8 ～ 15 文字）で入力します。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	＜空欄＞
Confirm password	確認のため、［Password］と同じパスワードを入力します。	＜空欄＞

プロジェクター情報を設定する［Projector info.］

セッティング画面の［Projector info.］では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と設置場所を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。

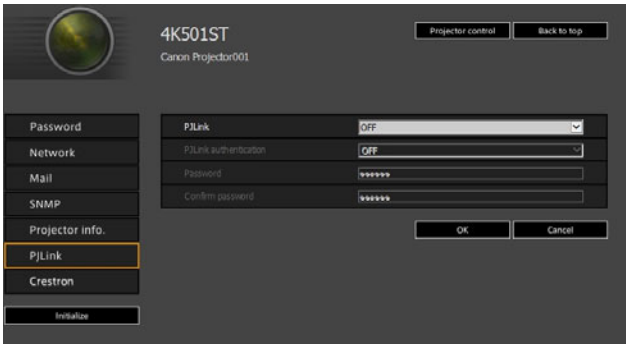


項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号（1 ～ 63 文字）で入力します。	Canon Projector001
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを入力します。	＜空欄＞

［Projector name］と［Comment］には，＃など使用できない文字があります。

PJLink を設定する［PJLink］

セッティング画面の［PJLink］では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格であるPJLink 機能について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P127) を参照してください。また、PJLink については「PJLink とは」(P120) を参照してください。



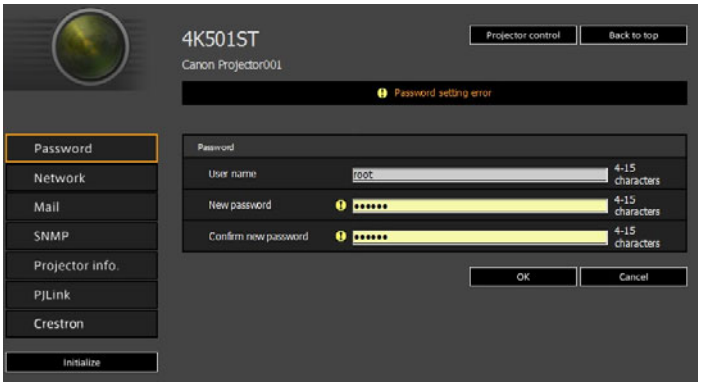
項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、PJLink 機能はオフになり、この画面の他の項目は変更できなくなります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、以下の項目は変更できません。 [Password] [Confirm password]	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字（1 ～ 32 文字）で入力します。	system
Confirm password	確認のため［Password］と同じパスワードを入力します。	system

クレストロン社製のコントローラーの設定をする［Crestron］

Crestron e-Control 画面が開きます。詳しくはクレストロン社のWebページをご覧ください。http://www.crestron.com

設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因となっている入力欄に「 」マークが表示されます。



エラーの意味は以下の通りです。

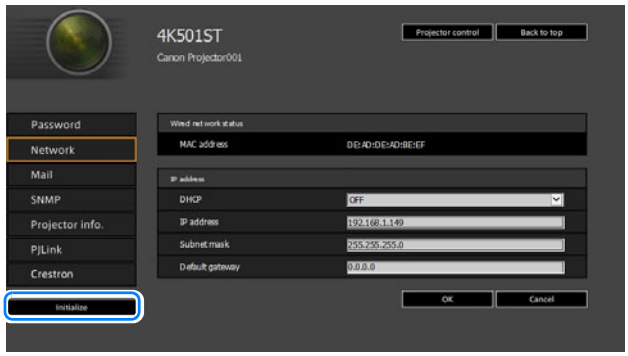
エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。

エラー	意味
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。

ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻す

1 「ネットワーク設定画面の表示」(P126) の手順 1 ～ 3 を行い、セッティング画面を表示します。

2 [Initialize] をクリックします。



3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the specified one. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operated normally, turn off the projector to cool its inside, and retry projection. If the same warning occurs again, the projector may be defective. Contact your dealer.
	内容	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じ警告が出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ランプに関するエラー	件名	Faulty lamp
	本文	The lamp has burnt out. Replace the lamp with a new one. If the same warning occurs again, the lamp drive circuit may be defective. Contact your dealer.
	内容	ランプが切れました。新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じ警告が出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or another component may be defective. Contact your dealer.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter unit is not installed properly. Check whether the air filter unit is installed properly. If it is installed properly, the air filter unit detection switch may be defective. Contact your dealer.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し電源を入れ直してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The voltage of part of the power supply is abnormally high or anyother problem has occurred in the power supply. Contact your dealer.
	内容	電源異常です。パワーサプライユニットの電圧異常か、バラスト基板異常、Main MPU・RGB 基板の起動エラーが考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

コンピューターからプロジェクターを制御する

本機をネットワークに接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

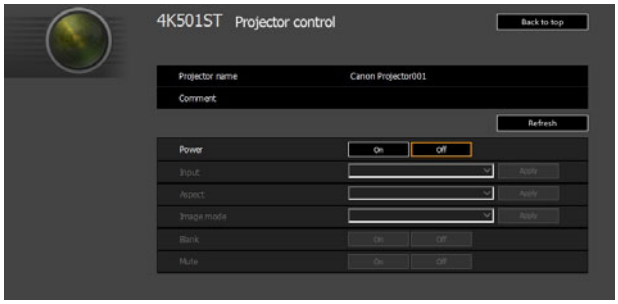
1 **コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。**

2 **ウェブブラウザを起動し、アドレスに「http://（プロジェクターのIPアドレス）」を入力して［Enter］キーを押します。**
プロジェクターのウェブ画面が表示されます。

工場出荷時の IP アドレスは「192.168.254.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

3 **ウェブ画面の［Projector control］をクリックします。**
パスワードの入力画面が表示されます。

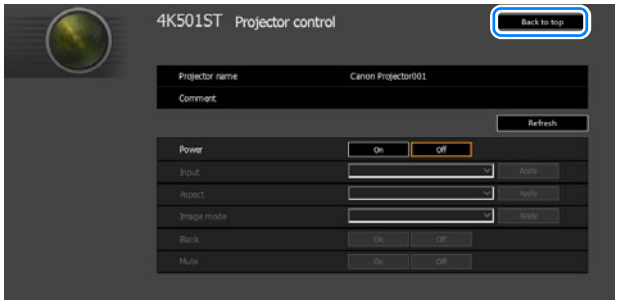
4 **パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。
プロジェクターコントロール画面が表示されます。



この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P134)
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを表示します。(P134)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源をオン / オフします。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P54)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P62)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P66)
Blank	ブランク設定のオン / オフを切り換えます。(P69)
Mute	ミュート設定のオン / オフを切り換えます。(P24)
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

5 **作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、最初のウェブ画面に戻ります。**



エッジブレンディング機能を使って投写する

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくします。

■ 基本的な使いかた

2台のプロジェクターを左右に並べて投写する場合について説明します。

1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［エッジブレンディング］、［調整］の順に選びます。**

- すでにエッジブレンディングの設定を行っている場合、［調整］を選んだときに機能します。
- 調整を初めからやりなおす場合は、［リセット］を選んでください。

2 **［マーカー］を［入］にします。**

映像に赤（調整の開始位置を示す開始マーカー）と緑（調整の終端位置を示す終端マーカー）の線（マーカー）が表示されます。

初期状態では緑と赤のマーカーが重なり、赤の線しか見えません。

3 **映像が重なっているサイドの［開始位置］を変更し、重なっている映像の外側の端に開始マーカーを移動するか、リモコンの数字ボタンを押して開始位置を指定します。**

4 **［幅］を変更し、重なっている映像の内側の端に終端マーカーを移動するか、リモコンの数字ボタンを押して修正したい画素範囲を指定します。**

開始マーカーと終端マーカーの間をブレンディング領域と呼びます。ここでいうブレンディング領域は、入力側のブレンディング領域と同じ数値になるようにします。この領域がグラデーション加工され、重なった状態で他の部分と同じ明るさになるように調整されます。片側の映像の設定が終わったら、もう片側の映像も同様にブレンディング領域を設定してください。その際、それぞれの映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

5 **［マーカー］を［切］にします。**

■ 色を調整する

映像を重ねて投写すると、重なった部分の色つき、色ずれが目立つことがあります。ブレンディング色調整により、映像の重なり部分を目立たなくすることができます。

1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［エッジブレンディング］、［調整］、［ブレンディング色調整］、［調整］の順に選びます。**

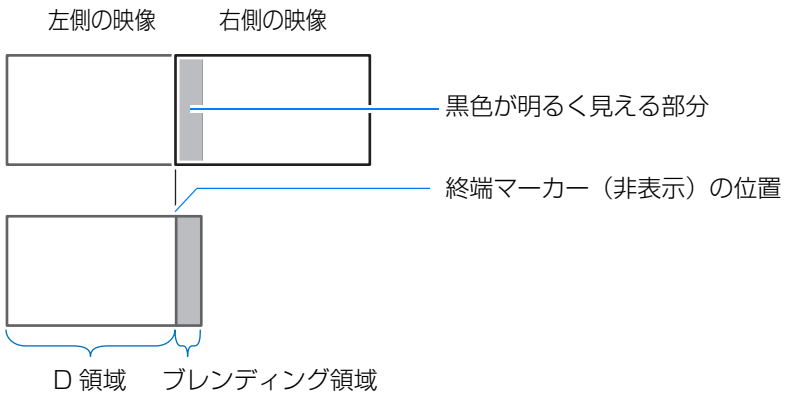
2 **投写映像を見ながら、重なり部分の色つきが残らないように各色調整します。**

まず［白］で赤・緑・青を同時調整し、さらに［赤］、［緑］、［青］でそれぞれの色味を個別に調整します。

3 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

■ 黒レベルを合わせる

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。重なっていない部分の黒レベル調整をすることで、重なり部分を目立たなくすることができます。



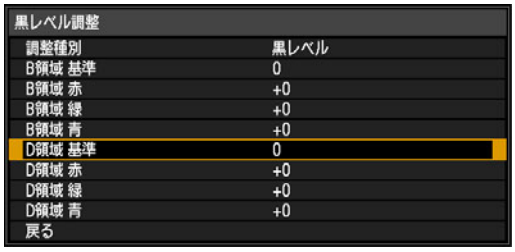
映像の重なっていない終端マーカーの内側部分をD領域と呼び、調整します。
本来は終端マーカーから順にA、B、Cの領域があります。
ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。

調整を行う前に［無信号時画面］を［黒］に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の映像が確認できるようにしてください。（P103）

1 **[設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング]、[調整]、[黒レベル調整]、[調整] の順に選びます。**

2 **[調整種別]、[黒レベル] の順に選びます。**

3 **[D 領域 基準] を選び、投写映像を見ながらブレンディング領域とD領域の明るさと色が同じになるように調整します。**

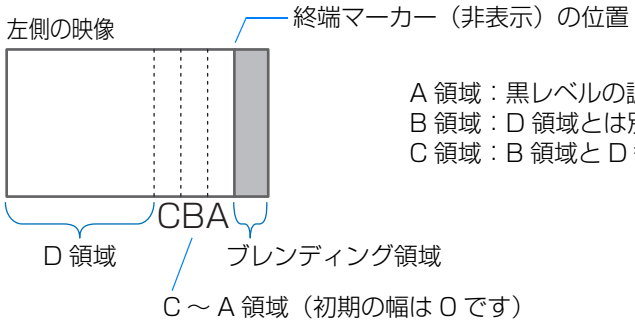


[D 領域 基準] で黒レベルの明るさ、[赤]、[緑]、[青] で黒レベルの色味を調整します。

4 **すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。**

■ つなぎ目をよりなめらかにする

D 領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。
B 領域の黒レベルを調整することにより、つなぎ目をより滑らかにすることができます。
各領域では、以下のような調整をします。



A 領域：黒レベルの調整はできません。
B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。
C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。

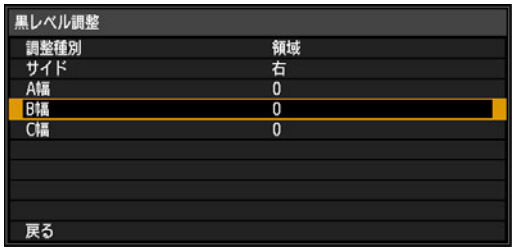
ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、C の領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。
ここでは、B 領域を調整する方法を説明します。

1 **[設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング]、[調整]、[黒レベル調整]、[調整] の順に選びます。**

2 **[調整種別]、[領域] を選び、[サイド]、[右] の順に選びます。**

3 **［B 幅］を選び、B 領域の幅を設定します。**

B 領域の幅を B 領域の黒レベルが違って見える部分に大まかにあわせます。D 領域の幅が狭くなります。



4 **［調整種別］、［黒レベル］の順に選び［B 領域基準］を映像を見ながら調整します。**

- B 領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。
- ［調整種別］、［黒レベル］の［赤］［緑］［青］を調整することで、より詳細に調整できます。

5 **A、B、C の領域の幅を映像を見ながら調整します。**

6 **必要に応じて B 領域の黒レベルを再調整します。**

想定される投写映像で主要となる階調をターゲットとして「ブレンディング色調整」を行うことで、重なった部分の色つき、色ずれを軽減できる場合があります。

「ブレンディング色調整」などの調整を行っても、映像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。

高度なレジストレーションにより投写画面を調整する

画面内の場所によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、場所ごとに微調整できる機能です。
画面の四隅と中央の計５点を調整する５点調整と、54点（縦６×横９）で細かく調整するマニュアル調整があります。
５点調整してからマニュアル調整を行うと、５点調整の値をそのまま引き継ぎます。５点調整後に、さらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。

- ズームやレンズシフト調整をする場合は、［高度なレジストレーション］の調整前に行ってください。
- キーストーン補正を行っていると［高度なレジストレーション］は正しく調整できません。キーストーン補正が必要な場合は、［高度なレジストレーション］の調整を先に行ってください。

■ 5 点調整を行う

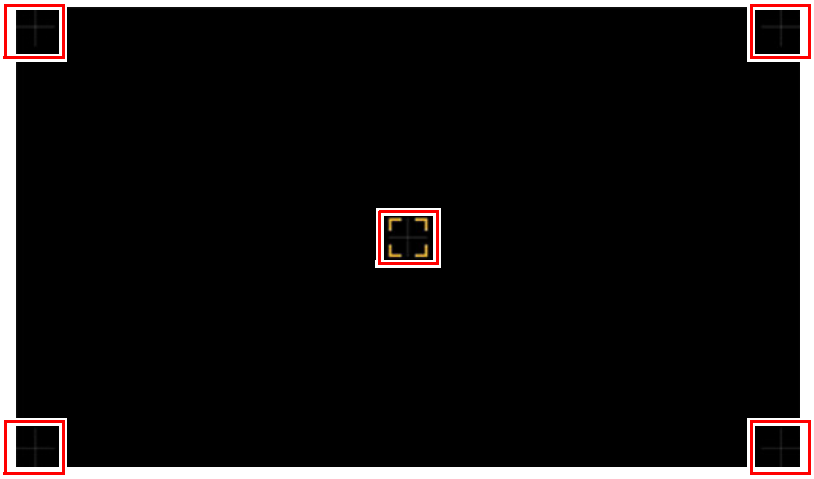
5 点調整は、画面の四隅と中央の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正できます。

1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［RGBアライメント］、［高度なレジストレーション］、［調整］、［5点調整］、［調整］の順に選びます。**
5 点調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。

- このチャート（ポイント選択画面）は、［パネルドライブモード］別に大きさの異なる２種があります。
- 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け処理をした箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

2 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整する点を選び、【OK】ボタンを押します。

色選択モードになります。

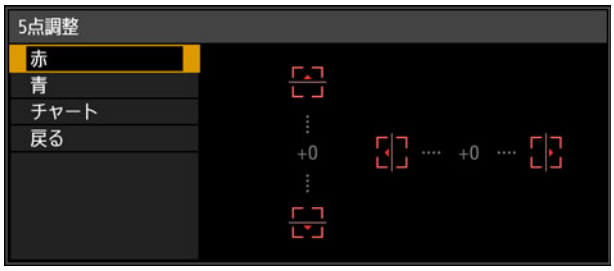


【MENU】ボタンを押すと、［高度なレジストレーション］に戻ります。

3 色種の［赤］または［青］を選び、【OK】ボタンを押します。

- ここで［チャート］を選び、【OK】を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
- テストパターンを表示した状態で5点調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

4 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。



5 【OK】ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。

6 残りの色種や調整点も同様に調整します。

■ マニュアル調整を行う

画面の部分的なレジストレーションを調整したい場合は、マニュアル調整を行います。

マニュアル調整から 5 点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整の値はリセットされます。

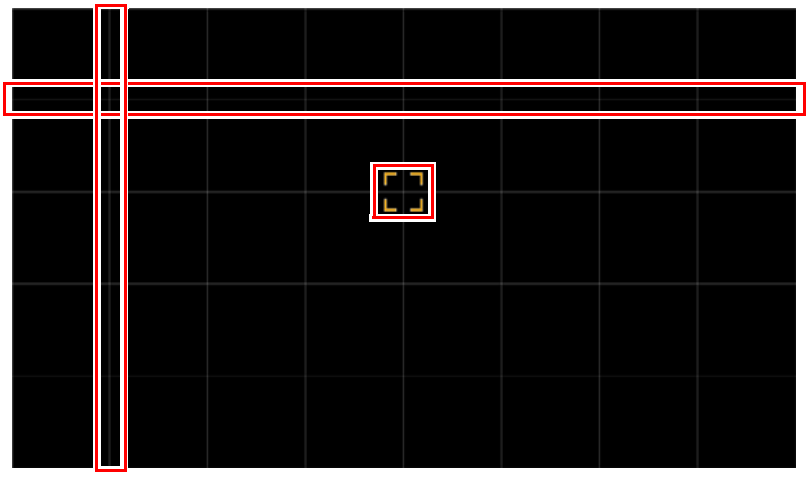
1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［RGB アライメント］、［高度なレジストレーション］、［調整］、［マニュアル調整］の順に選びます。**

マニュアル調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。

- このチャート（ポイント選択画面）は、［パネルドライブモード］別に大きさの異なる 2 種があります。
- 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

2 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整する点を選び、【OK】ボタンを押します。**

色選択モードになります。

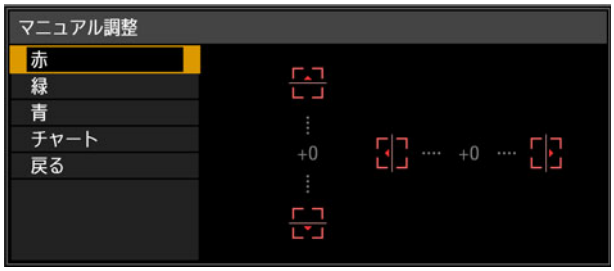


【MENU】ボタンを押すと、［高度なレジストレーション］に戻ります。

3 **色種を［赤］、［緑］、［青］から選び、【OK】ボタンを押します。**

- ここで［チャート］を選び、【OK】を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
- テストパターンを表示した状態でマニュアル調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

4 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。**



5 **【OK】ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。**

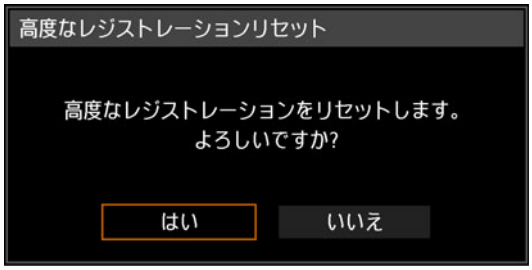
6 **残りの色種、残りの調整点も同様に調整します。**

■ 調整をリセットする

５点調整、マニュアル調整の設定値をリセットします。

1 **［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［RGBアライメント］、［高度なレジストレーション］、［調整］、［リセット］の順に選びます。**

リセット確認の画面が表示されます。



2 **［はい］を選んで、調整をリセットします。**

以下の処理を実行します。

- ５点調整の設定値をリセットする
- ５点調整を［切］にする
- マニュアル調整の設定値をリセットする

周辺フォーカスを調整する

画面周辺部のフォーカスを調整できる機能です。

- ドーム型スクリーンに投写する場合に、周辺のフォーカスを調整します。
- 平面スクリーンにおいて画面全体のピントを合わせても画面周辺がぼけている場合は、周辺フォーカスを調整してピントを合わせます。

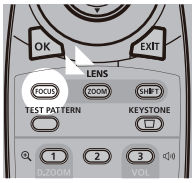
あらかじめ［周辺フォーカス］を［入］に設定する必要があります。（P97）

■ 画面周辺のピントを合わせる

リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面周辺のピントを調整することができます。

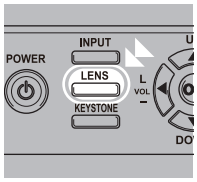
1 **リモコンの【FOCUS】ボタンを２回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。**

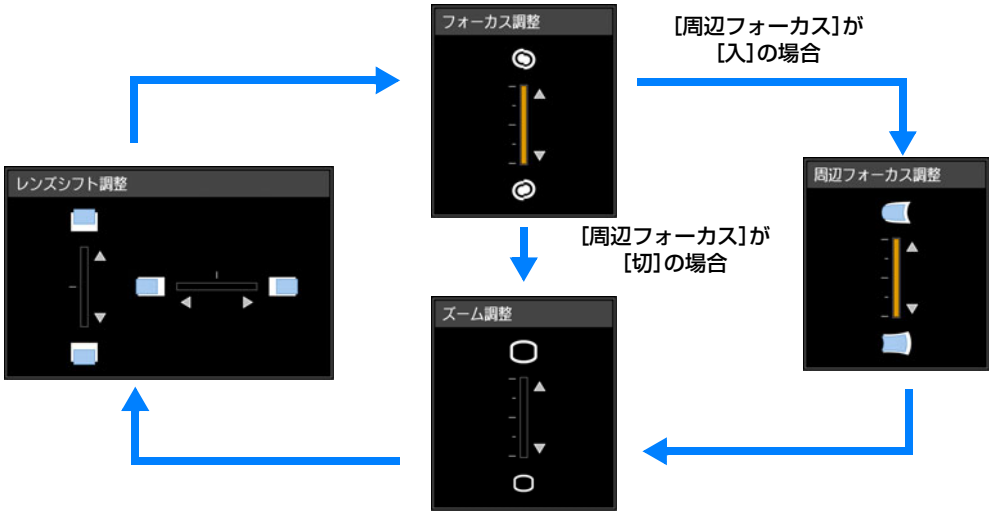
リモコン　２回押す



本体の【LENS】ボタンは、押すたびにレンズ関連の画面表示が切り換わります。【LENS】ボタンを２回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。

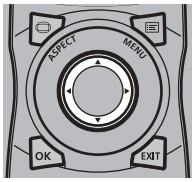
本体　２回押す



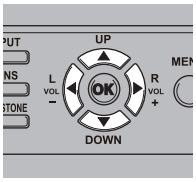


2 **方向ボタンで画面周辺のピントを合わせます。**

リモコン



本体

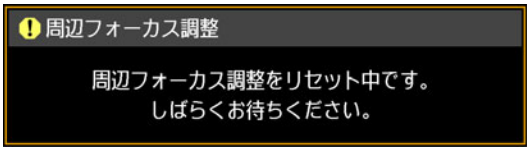


【▲】【▶】【▼】【◀】ボタンで、周辺のフォーカスを調整します。

3 **ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。**

■ 調整をリセットする

周辺フォーカス調整の設定値をリセットします。
調整をリセットするには、［設置設定］メニューから、［プロフェッショナル設定］、［周辺フォーカス］、［リセット］の順に選びます。



以下の処理を実行します。

- 周辺フォーカスの設定値をリセットする
- ［周辺フォーカス］を［切］にする

［周辺フォーカス］を［切］にしただけでは、周辺フォーカスの設定値はリセットされません。

その他

安全にお使いいただくために
はじめに
基本編
設置のしかた
接続のしかた
投写のしかた
便利な機能
応用編
メニューの使いかた
メニューの構成
メニューによる設定
ネットワーク上の
プロジェクターを使用する
高度な投写
その他
メンテナンス
製品の仕様
困ったときには

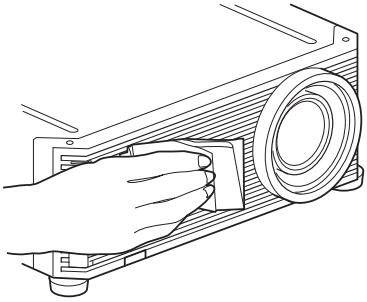
本体を清掃する

本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。

注意

本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



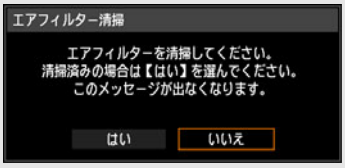
- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きをよくお読みください。
- レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。

定期的に内部の清掃を依頼する

長い間清掃をしないと内部にホコリがたまり火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は内部の清掃をキヤノンお客様相談センターにご相談ください（有料）。特に湿気の多くなる梅雨の前に清掃をすると、より効果的です。

エアフィルターを清掃する

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。エアフィルターの清掃が必要な時間になると、本機の電源を入れたときに次の画面が表示されますので、エアフィルターを清掃してください。

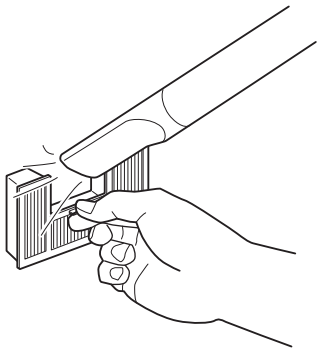


- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】、【EXIT】、【FOCUS】、【ZOOM】、【SHIFT】ボタンのみ反応します。（【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。）
- 10 秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

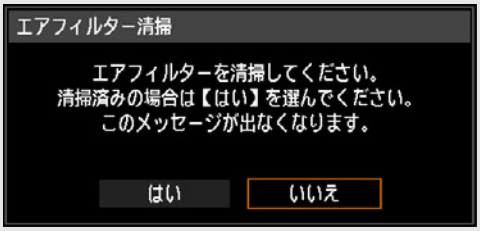
エアフィルターの清掃は次の手順で行ってください。

1 **本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。**

2 エアフィルターは、本体前面のエアフィルターの取っ手に指をかけてエアフィルターを取り外し、掃除機でホコリを吸い取ってください。



- エアフィルターは水洗いしないでください。エアフィルターの破損およびプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- エアフィルターの清掃後、本機の電源を入れたときにフィルター交換の画面が表示されたら「はい」を選んで【OK】を押してください。エアフィルターカウンターがリセットされ、フィルター交換の画面が表示されなくなります。



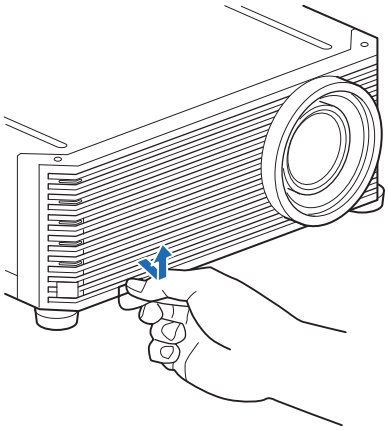
- ［エアフィルター清掃警告表示］を［切］に設定した場合は、この画面は表示されません。（P105）手動でエアフィルターカウンターをリセットしてください。（P113）

エアフィルターを交換する

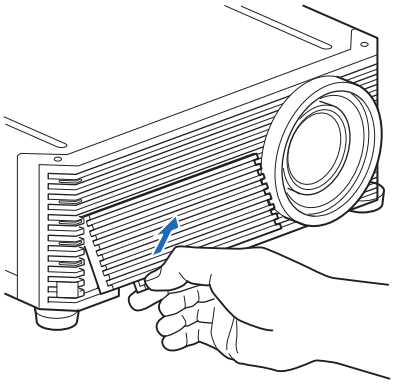
エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

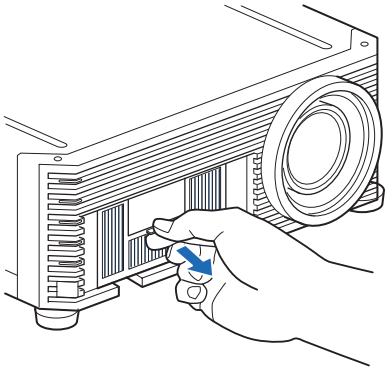
2 フィルターカバー下側のつまみを引きながら上に持ち上げます。



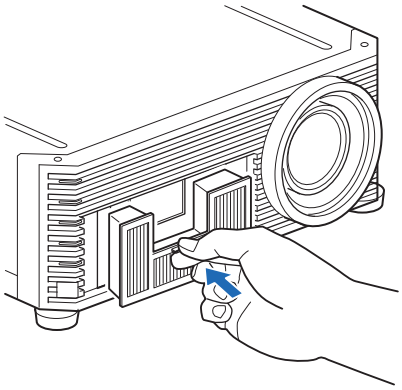
3 フィルターカバーを開いて外します。



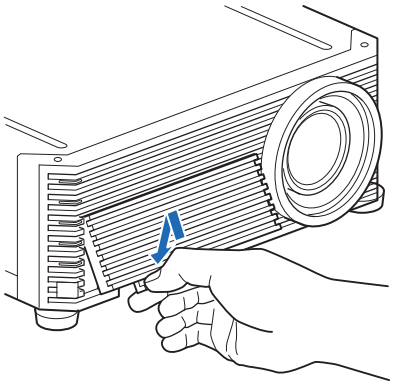
4 エアフィルターを取り外します。



5 新しいエアフィルターのつまみを持ち、本機に取り付けます。



6 フィルターカバーのツメを本機の溝にはめてからフィルターカバーを閉じます。

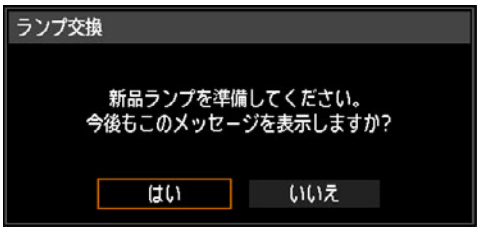


- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- 交換エアフィルター（品番：RS-FL03）単体のご注文は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、キヤノンのホームページ（https://store.canon.jp/online/）から購入できます。
- ランプを交換するときは同時にエアフィルターを交換してください。
  交換ランプ（品番：RS-LP10F）のご注文時にエアフィルターが同梱されます。

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定の時間を越えると、本機の電源を入れるたびに、次の画面（2 種類）が 10 秒間表示されます。

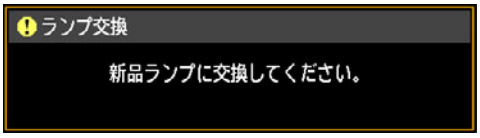
2,700 時間以上 3,000 時間未満



この画面が表示されたら、交換ランプを用意してください。

- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】、【EXIT】、【FOCUS】、【ZOOM】、【SHIFT】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- 「今後もこのメッセージを表示しますか？」で［いいえ］を選ぶと、この画面は表示されなくなります。

3,000 時間以上



ランプ交換画面が表示されたら、157ページを参照しランプを交換してください。

- この画面の表示中は、【POWER】、【OK】、【EXIT】、【FOCUS】、【ZOOM】、【SHIFT】ボタンのみ使用できます。
- 【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 10 秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- ランプの使用時間はシステム設定メニューの［ランプカウンター］で確認してください。（P112）
- ［ランプ交換警告表示］を［切］に設定した場合は、これらの画面は表示されません。（P105）

注意

- **ランプ交換画面が表示された場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。**
- **3,000 時間は交換の目安であり、ランプの寿命を保証するものではありません。**
- **ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。**
- **使用済みランプを捨てるときは各自治体の条例に従って廃棄してください。**

交換用のランプについて

本機では、次のランプを使用しています。
■交換エアフィルター付き交換ランプ RS-LP10F
ご購入の際は、販売店にご相談ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

警告

電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。また、本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。万一、ランプが破裂し破片などを吸い込んだり目や口に入ったときは、すみやかに医師にご相談ください。

注意

ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、ランプが大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

注意　高温注意

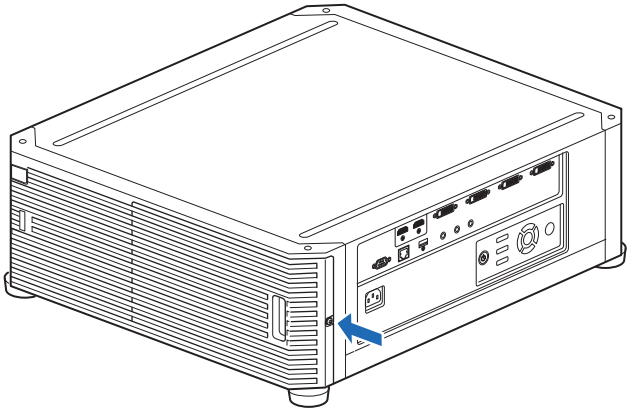
- **ランプは、必ず指定のものを使用してください。**
- **ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページ（https://store.canon.jp/online/）からも購入できます。**
- **ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。**
- **ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、販売店に連絡し、「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」（P9）の指示に従ってください。**
- **ランプ交換の際は、指定のねじ以外は外さないでください。**

ランプを交換する

ランプを交換するときは、投写画像の画質を維持するため、エアフィルターも同時に交換してください。
ランプの交換は次の手順で行ってください。

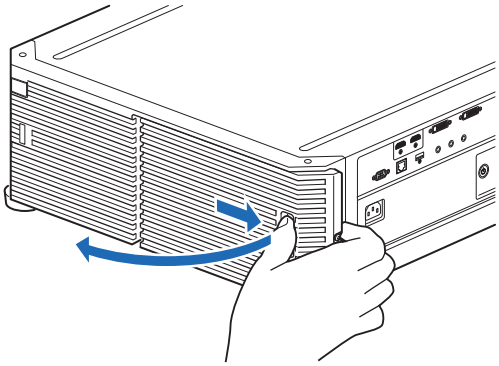
1 **本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。**

2 ランプカバー横のねじを 1 か所ゆるめます。

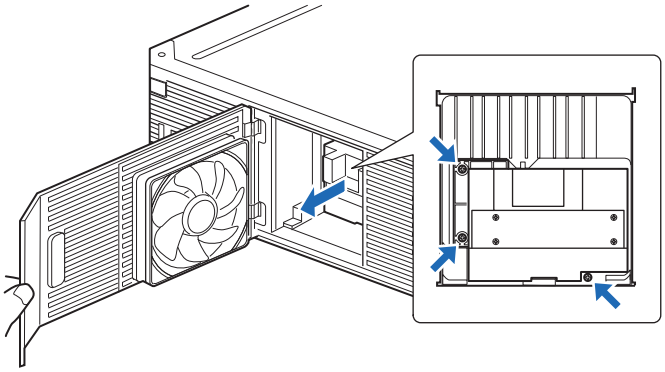


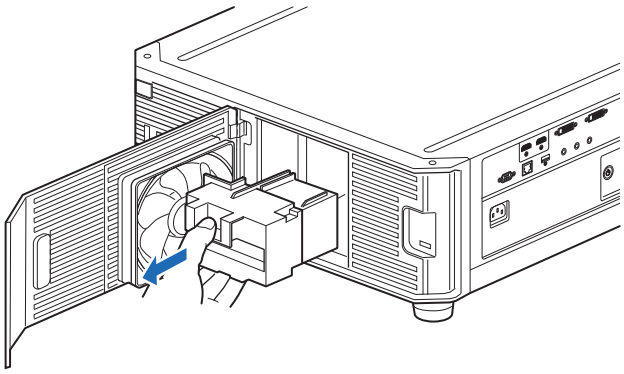
3 ランプカバーの取っ手に指をかけて、ランプカバーを矢印の方向に開きます。

ランプカバーのねじはランプカバーに取りつけられており、外れないようになっています。



4 ランプユニットの奥にあるねじ3か所をゆるめ、ランプユニットを矢印の方向にゆっくり引き出します。ねじをゆるめても、ねじはランプユニットから外れません。



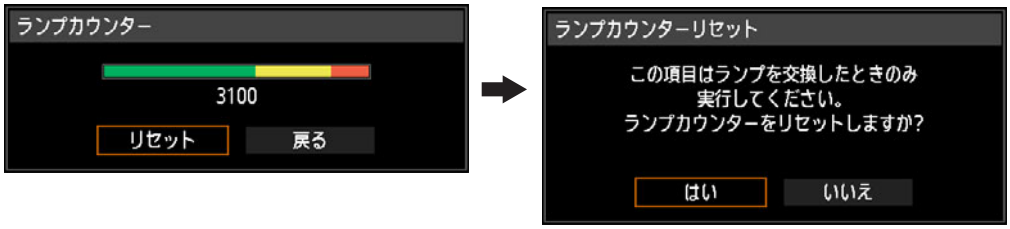


5 新しいランプユニットを奥までしっかり押し込み、ねじ３本で固定します。

6 ランプカバーを閉め、ねじをしめます。

7 電源を入れ、メニューを表示し、［システム設定］- ［その他の設定］の［ランプカウンター］を選びます。

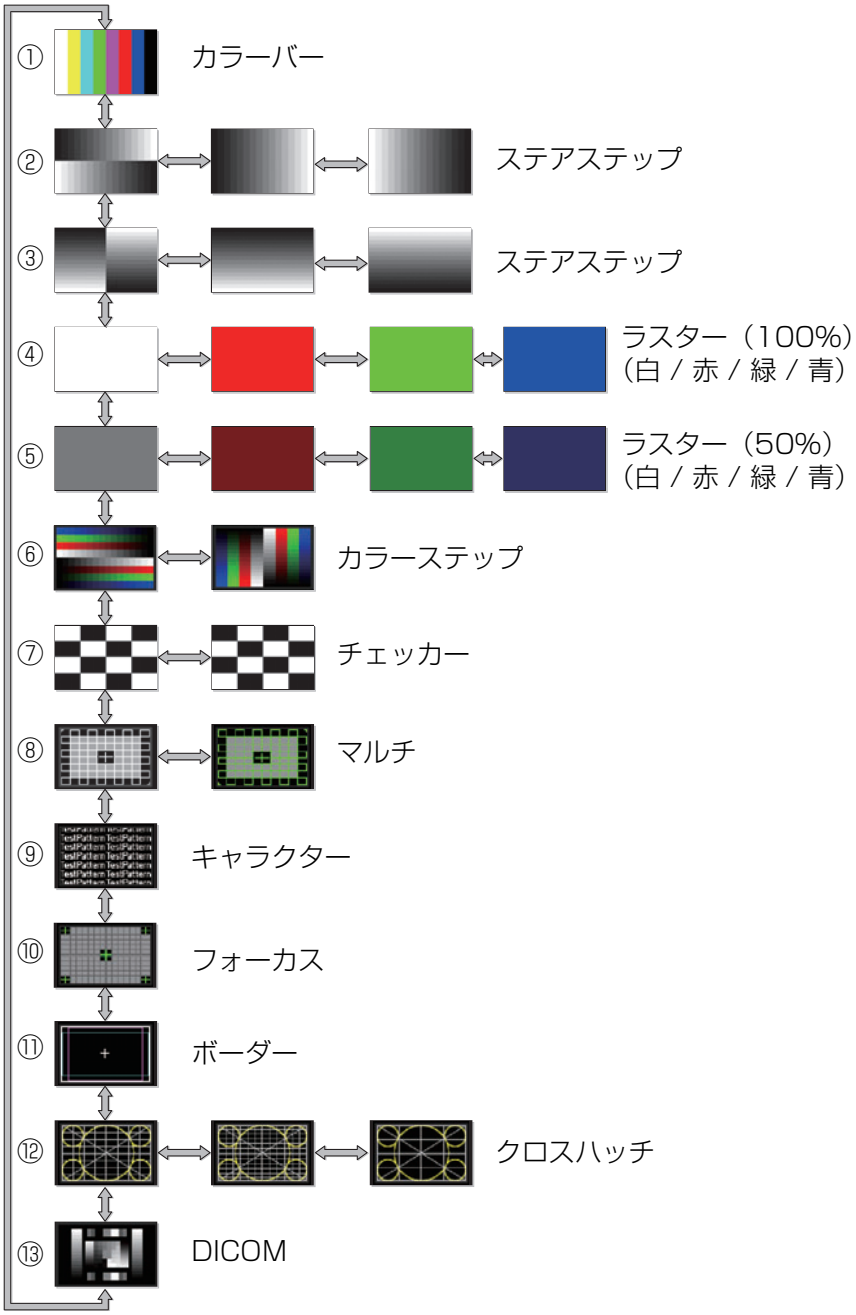
8 ［リセット］を選び、［はい］を選んで、ランプカウンターをリセットします。



- ランプの交換時は同時にエアフィルターを交換してください。
  交換ランプ（品番：RS-LP10F）をご注文時にエアフィルターが同梱されます。
- 交換ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、キヤノンのホームページ（https://store.canon.jp/online/）から購入できます。

表示できるテストパターン

［設置設定］メニューの［テストパターン］（P101）で［入］を選ぶ、または、リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターン・ダイレクトメニューが表示されます。テストパターン・ダイレクトメニューの表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。
表示できるテストパターンは、以下の通りです。



対応信号

コンピューターまたは AV 機器が下の表のいずれかに対応していれば、入力信号が自動的に正しい映像を投写することができます。

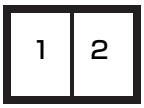
HDMI (single) 1

FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

入力信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	HDMI マルチインプットモード	ブランキング情報	
					水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
640x480	31.469	59.940	25.175	標準 , シングル	16, 96, 48	10, 2, 33
720x480	31.469	59.940	27.000	標準 , シングル	16, 62, 60	9, 6, 30
720x576	31.250	50.000	27.000	標準 , シングル	12, 64, 68	5, 5, 39
800x600	37.879	60.317	40.000	標準 , シングル	40, 128, 88	1, 4, 23
1280x720	18.000	24.000	59.400	標準 , シングル	1760, 40, 220	5, 5, 20
	37.500	50.000	74.250	標準 , シングル	440, 40, 220	5, 5, 20
	45.000	60.000	74.250	標準 , シングル	110, 40, 220	5, 5, 20
1024x768	48.363	60.004	65.000	標準 , シングル	24, 136, 160	3, 6, 29
1366x768	47.712	59.790	85.500	シングル	70, 143, 213	3, 3, 24
	48.000	60.000	72.000		14, 56, 64	1, 3, 28
1440x900	55.469	59.901	88.750	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 6, 17
	55.935	59.887	106.500	標準 , シングル	80, 152, 232	3, 6, 25
1280x1024	63.981	60.020	108.000	標準 , シングル	48, 112, 248	1, 3, 38
1920x1080(I)	28.125	50.000	74.250	標準 , シングル	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5
	31.250	50.000	72.000		32, 168, 184	45.5, 10, 114.5
	33.750	60.000	74.250	標準 , シングル	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5
1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準 , シングル	638, 44, 148	4, 5, 36
	56.250	50.000	148.500	標準 , シングル	528, 44, 148	4, 5, 36
	67.500	60.000	148.500	標準 , シングル	88, 44, 148	4, 5, 36
2048x1080	66.576	59.924	147.000	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 10, 18
	67.500	60.000	148.500	標準 , シングル	44, 44, 64	4, 5, 36
2560x1080	26.400	24.000	99.000	標準 , シングル	998, 44, 148	4, 5, 11
	56.250	50.000	185.625	標準 , シングル	548, 44, 148	4, 5, 36
	66.636	59.978	181.250		48, 32, 80	3, 10, 18
	66.000	60.000	198.000	標準 , シングル	248, 44, 148	4, 5, 11
1920x1200	74.038	59.950	154.000	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 6, 26
	74.556	59.885	193.250	標準 , シングル	136, 200, 336	3, 6, 36
2048x1200	74.582	59.905	205.250	標準 , シングル	136, 216, 352	3, 10, 32
	74.100	60.000	157.684		8, 32, 40	21, 8, 6
2560x1440	88.787	59.951	241.500	シングル	48, 32, 80	3, 5, 33
2560x1600	98.713	59.972	268.500	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 6, 37
3840x2160	52.593	23.993	266.750		216, 400, 616	3, 5, 24
	52.438	23.999	209.750		48, 32, 80	3, 5, 17
	54.000	24.000	297.000	標準 , シングル	1276, 88, 296	8, 10, 72
	56.250	25.000	297.000	標準 , シングル	1056, 88, 296	8, 10, 72
	67.500	30.000	297.000	標準 , シングル	176, 88, 296	8, 10, 72
	112.500	50.000	594.000	標準※3, シングル※3	1056, 88, 296	8, 10, 72
	135.000	60.000	594.000	標準※3, シングル※3	176, 88, 296	8, 10, 72
4096x2160	52.561	23.979	284.250		224, 432, 656	3, 10, 19
	52.397	23.980	223.000		48, 32, 80	3, 10, 12
	54.000	24.000	297.000	標準 , シングル	1020, 88, 296	8, 10, 72
	56.250	25.000	297.000	標準 , シングル	968, 88, 128	8, 10, 72
	67.500	30.000	297.000	標準 , シングル	88, 88, 128	8, 10, 72
	112.500	50.000	594.000	標準※3, シングル※3	968, 88, 128	8, 10, 72
	135.000	60.000	594.000	標準※3, シングル※3	88, 88, 128	8, 10, 72

HDMIマルチインプットモードの設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

HDMI 1x2



FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	HDMI マルチインプットモード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
1280x480	640x480	31.469	59.940	25.175	標準 , 1x2	16, 96, 48	10, 2, 33
1440x480	720x480	31.469	59.940	27.000	標準 , 1x2	16, 62, 60	9, 6, 30
1440x576	720x576	31.250	50.000	27.000	標準 , 1x2	12, 64, 68	5, 5, 39
2560x720	1280x720	37.500	50.000	74.250	標準 , 1x2	440, 40, 220	5, 5, 20
		45.000	60.000	74.250	標準 , 1x2	110, 40, 220	5, 5, 20
3840x1080	1920x1080(I)	28.125	50.000	74.250	標準 , 1x2	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5
		33.750	60.000	74.250	標準 , 1x2	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5
3840x1080	1920x1080	67.500	60.000	148.500	標準 , 1x2	88, 44, 148	4, 5, 36
2560x1600	1280x1600	98.611	59.910	142.000	1x2	48, 32, 80	3, 10, 33
3840x2160	1920x2160	52.404	23.983	109.000		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	1x2 ※2	638, 44, 148	8, 10, 72
		112.500	50.000	297.000	1x2	528, 44, 148	8, 10, 72
		133.293	59.988	277.250		48, 32, 80	3, 10, 49
		135.000	60.000	297.000	標準 , 1x2	88, 44, 148	8, 10, 72
		133.320	60.000	266.640		8, 32, 40	48, 8, 6
4096x2160	2048x2160	52.515	23.957	142.000		112, 216, 328	3, 10, 19
		52.423	23.992	115.750		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	1x2	510, 44, 148	8, 10, 72
		112.500	50.000	297.000	1x2	484, 44, 64	8, 10, 72
		133.265	59.975	294.250		48, 32, 80	3, 10, 49
		133.320	60.000	283.704		8, 32, 40	48, 8, 6
		135.000	60.000	297.000	標準 , 1x2	44, 44, 64	8, 10, 72
3200x2400	1600x2400	148.011	59.948	260.500	1x2 ※1	48, 32, 80	3, 10, 56
3840x2400	1920x2400	148.140	60.000	296.280		8, 32, 40	55, 8, 6

HDMIマルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI (single)

1

FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

入力信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
					水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
640x480	31.469	59.940	25.175	標準 , シングル	16, 96, 48	10, 2, 33
800x600	37.879	60.317	40.000	標準 , シングル	40, 128, 88	1, 4, 23
1280x720	45.000	60.000	74.250	標準 , シングル	110, 40, 220	5, 5, 20
1024x768	48.363	60.004	65.000	標準 , シングル	24, 136, 160	3, 6, 29
1366x768	47.712	59.790	85.500	シングル	70, 143, 213	3, 3, 24
	48.000	60.000	72.000		14, 56, 64	1, 3, 28
1440x900	55.469	59.901	88.750	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 6, 17
	55.935	59.887	106.500	標準 , シングル	80, 152, 232	3, 6, 25
1280x1024	63.981	60.020	108.000	標準 , シングル	48, 112, 248	1, 3, 38
1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準 , シングル	638, 44, 148	4, 5, 36
	67.500	60.000	148.500	標準 , シングル	88, 44, 148	4, 5, 36
2048x1080	66.576	59.924	147.000		48, 32, 80	3, 10, 18
	67.500	60.000	148.500	標準 , シングル	44, 44, 64	4, 5, 36
2560x1080	66.636	59.978	181.250		48, 32, 80	3, 10, 18
	66.000	60.000	198.000	シングル	248, 44, 148	4, 5, 11
1920x1200	74.038	59.950	154.000	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 6, 26
	74.556	59.885	193.250	標準 , シングル	136, 200, 336	3, 6, 36
2048x1200	74.049	59.959	163.500	標準 , シングル	48, 32, 80	3, 10, 22
2560x1440	88.787	59.951	241.500	シングル	48, 32, 80	3, 5, 33
3840x2160	52.438	23.999	209.750	シングル	48, 32, 80	3, 5, 17
4096x2160	52.397	23.980	223.000		48, 32, 80	3, 10, 12

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI 1x2

1	3

FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
2560x1080	1280x1080	66.493	59.850	95.750	1x2	48, 32, 80	3, 10, 18
2560x1440	1280x1440	88.715	59.902	127.750	1x2	48, 32, 80	3, 10, 28
2560x1600	1280x1600	98.611	59.910	142.000	標準 , 1x2	48, 32, 80	3, 10, 33
3840x2160	1920x2160	52.512	23.956	132.750		104, 200, 304	3, 10, 19
		52.404	23.983	109.000		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	標準※2, 1x2	638, 44, 148	8, 10, 72
		67.500	30.000	148.500	1x2	88, 44, 148	8, 10, 72
4096x2160	2048x2160	52.515	23.957	142.000		112, 216, 328	3, 10, 19
		52.423	23.992	115.750		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	標準※2, 1x2	510, 44, 148	8, 10, 72
		67.500	30.000	148.500	1x2	44, 44, 64	8, 10, 72

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI 2x2

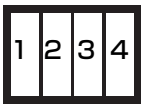
1	3
2	4

FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
3840x2160	1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準 , 2x2	638, 44, 148	4, 5, 36
		33.750	30.000	74.250	標準 , 2x2	88, 44, 148	4, 5, 36
		66.587	59.934	138.500	標準 , 2x2	48, 32, 80	3, 5, 23
		67.158	59.963	173.000	標準 , 2x2	128, 200, 328	3, 5, 32
		67.500	60.000	148.500	標準 , 2x2	88, 44, 148	4, 5, 36
4096x2160	2048x1080	27.000	24.000	74.250	2x2 ※2	594, 44, 64	4, 5, 36
		33.750	30.000	74.250	2x2 ※2	44, 44, 64	4, 5, 36
		66.576	59.924	147.000	2x2	48, 32, 80	3, 10, 18
		67.160	59.964	183.750		128, 216, 344	3, 10, 27
		67.500	60.000	148.500	標準 , 2x2	44, 44, 64	4, 5, 36
4096x2304	2048x1152	70.992	59.909	156.750	標準※1, 2x2 ※1	48, 32, 80	3, 5, 25
		71.584	59.903	197.000	標準※1, 2x2 ※1	136, 216, 352	3, 5, 35
		72.000	60.000	162.000	標準※1, 2x2 ※1	26, 80, 96	1, 3, 44
3200x2400	1600x1200	74.006	59.924	130.250	2x2 ※1	48, 32, 80	3, 4, 28
		75.000	60.000	162.000	2x2 ※1	64, 192, 304	1, 3, 46
3840x2400	1920x1200	74.556	59.885	193.250	標準 , 2x2 ※1	136, 200, 336	3, 6, 36
		74.038	59.950	154.000	標準 , 2x2 ※1	48, 32, 80	3, 6, 26
4096x2400	2048x1200	74.582	59.905	205.250		136, 216, 352	3, 10, 32
		74.049	59.959	163.500	標準 , 2x2 ※1	48, 32, 80	3, 10, 22

DVIマルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

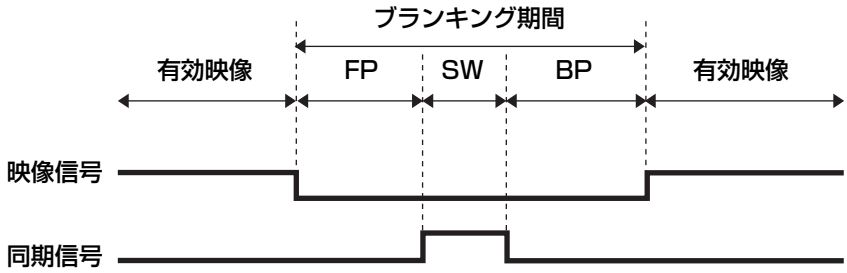
DVI 1x4



FP ：フロントポーチ
SW：同期信号期間
BP ：バックポーチ

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
3840x2160	960x2160	134.036	59.918	178.000		80, 104, 184	3, 10, 64
		133.259	59.973	149.250	1x4 ※2	48, 32, 80	3, 10, 49
		133.319	60.000	138.652		8, 32, 40	48, 8, 6
		135.000	60.000	148.500	標準 , 1x4	44, 22, 74	8, 10, 72
4096x2160	1024x2160	134.055	59.926	188.750		80, 112, 192	3, 10, 64
		133.235	59.962	157.750	1x4 ※2	48, 32, 80	3, 10, 49
		133.320	60.000	147.185		8, 32, 40	48, 8, 6
		135.000	60.000	148.500	標準 , 1x4	22, 22, 32	8, 10, 72
4096x2304	1024x2304	142.103	59.959	168.250	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 53
		143.111	59.979	201.500		80, 112, 192	3, 10, 69
		142.199	60.000	156.988	1x4 ※1	8, 32, 40	52, 8, 6
3840x2400	960x2400	147.991	59.940	165.750	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 56
		149.096	59.974	198.000		80, 104, 184	3, 10, 73
		148.139	60.000	154.065	標準※1, 1x4 ※1	8, 32, 40	55, 8, 6
4096x2400	1024x2400	148.970	59.924	209.750		80, 112, 192	3, 10, 73
		148.015	59.949	175.250	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 56
		148.139	60.000	163.546	標準※1, 1x4 ※1	8, 32, 40	55, 8, 6

DVIマルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。



※1［パネルドライブモード］が［4096x2400］の時のみ
※2［パネルドライブモード］が［4096x2160］の時のみ
※3［HDMI-1(2) EDID］が［9Gbps］の時はYCbCr420のみ対応（RGB、YCbCr444、YCbCr422は非対応）

仕様一覧

■ 本体

型名			4K501ST
表示方式			3 原色液晶方式 : 反射型（LCOS）: 3 枚
光学方式			ダイクロイックミラー、 偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式
表示素子	形式 / 枚数		反射型液晶パネル（LCOS）/ 3 枚
	サイズ / アスペクト比		0.76 型 / 128:75（約 17 : 10）
	画素数		9,830,400（4096 × 2400）
	駆動方式		アクティブマトリックス方式
投写レンズ	ズーム		1.3 倍（電動）
	フォーカス		電動
	レンズシフト		V : ± 60%（電動）H : ± 10%（電動）
	焦点距離		f = 17.2 − 22.3mm
	F 値		F2.6
光源			400W/300W（ランプモード フルパワー / エコ）
画面サイズ（投写距離）			40 ～ 600 型（0.9 ～ 17.7m）
再現色数			1,677 万色（フルカラー）
明るさ *1*2（プレゼンテーションモード時）			5000 ルーメン
コントラスト比 *2 (アイリスのクローズ 3 モード時)			3000:1（ 全白 : 全黒、プレゼンテーションモード）
周辺照度比 *2			88%
スピーカー			5W、モノラル
最大入力解像度			4096 × 2400 ドット
映像信号	HDMI 入力	HDMI (single)	640 × 480, 720 × 480, 720 × 576, 800 × 600, 1280 × 720, 1024 × 768, 1366 × 768, 1440 × 900, 1280 × 1024, 1920 × 1080, 2048 × 1080, 2560 × 1080, 1920 × 1200, 2048 × 1200, 2560 × 1440, 2560 × 1600, 3840 × 2160, 4096 × 2160
		HDMI 1 × 2	1280 × 480, 1440 × 480, 1440 × 576, 2560 × 720, 3840 × 1080, 2560 × 1600, 3840 × 2160, 4096 × 2160, 3200 × 2400*4, 3840 × 2400*5
	デジタル PC 入力	DVI (single)	640 × 480, 800 × 600, 1280 × 720, 1024 × 768, 1366 × 768, 1440 × 900, 1280 × 1024, 1920 × 1080, 2048 × 1080, 2560 × 1080, 1920 × 1200, 2048 × 1200, 2560 × 1440, 3840 × 2160*3, 4096 × 2160*3*5
		DVI 1 × 2	2560 × 1080, 2560 × 1440, 2560 × 1600, 3840 × 2160*3, 4096 × 2160*3
		DVI 2 × 2	3840 × 2160, 4096 × 2160, 4096 × 2304*4, 3200 × 2400*4, 3840 × 2400*4, 4096 × 2400*4
		DVI 1 × 4	3840 × 2160, 4096 × 2160, 4096 × 2304*4, 3840 × 2400*4, 4096 × 2400*4
入力端子	DVI-D 端子		デジタル PC（DVI コネクター 29 ピン）
	HDMI 端子		デジタル PC、デジタルビデオ
	LAN 端子		ネットワーク接続（RJ-45）10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
	USB 端子		USB Type A
	CONTROL 端子		RS-232C（D-sub 9 ピン）
	REMOTE 端子		有線リモコン（3.5φ ステレオミニジャック）
	音声入力端子		音声信号（3.5φ ステレオミニジャック）
音声出力端子			音声信号（3.5φ ステレオミニジャック）

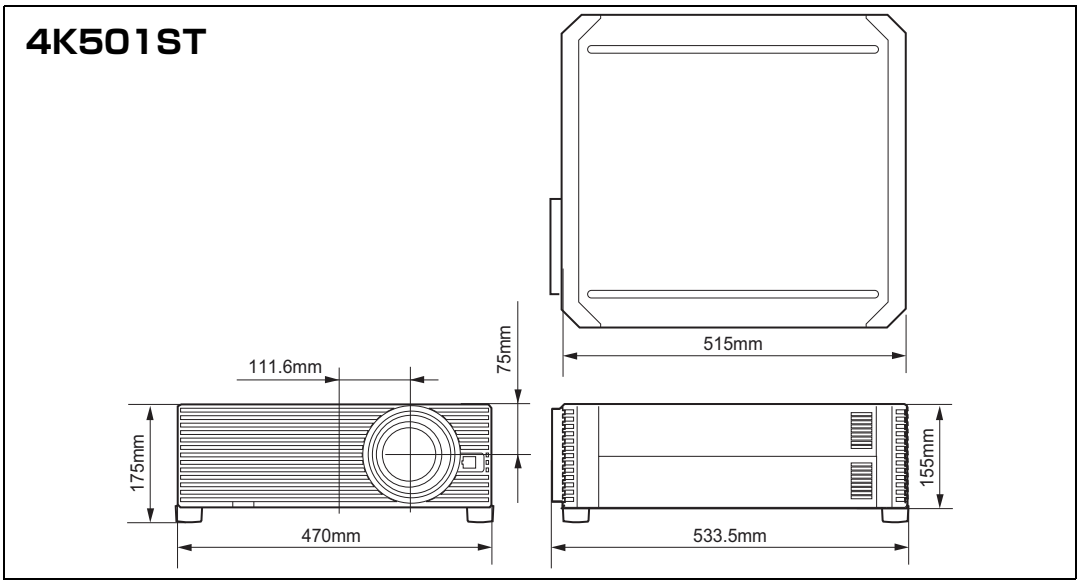
型名			4K501ST
入力信号	デジタル PC		TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）
	音声		インピーダンス 47KΩ 以上
騒音			39dB/34dB（ランプモード　フルパワー / エコ）
使用温度範囲			0～40℃
電源			AC100V ～ 240V　50 / 60Hz
消費電力	フルパワー		600W
	エコ		475W
	スタンバイ時	LAN OFF 時	0.4W
		LAN ON 省電力	0.8W
外形寸法			幅 470mm ×高さ 175mm ×奥行 533.5mm（突起部は含む）
質量			18.0kg
付属品			リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、レンズキャップ、重要なおしらせ（Important Information）、使用説明書（CD-ROM）、保証書

*1［ランプモード］が［フルパワー］および、［パネルドライブモード］が［4096x2400］の場合。
*2出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 A に基づいています。
*3低周波数（24～30Hz）のみ対応
*4［パネルドライブモード］が［4096x2400］の時のみ対応
*5EDID非対応
※ 液晶パネルの有効画素は99.99%以上です。投写中0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
※ 本プロジェクターはJIS C 61000-3-2適合品です。
※ 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

■ リモコン

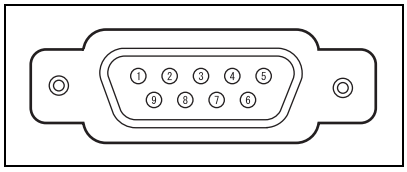
型番	RS-RC05
電源	DC3.0V　単 3 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横± 25°（受光部正面）
本体寸法	幅 51mm × 高さ 28mm × 奥行 176mm
質量	100g

■ 外観図



■ サービス用端子（CONTROL）

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式　　：RS-232C 調歩同期 半２重通信
通信速度　　：19200bps
キャラクタ長　：８ビット
ストップビット：1/2ビット
パリティ　　：なし
フロー制御　　：なし

おもなユーザーコマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDMI-1	INPUT=HDMI1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 0Dh
	HDMI-2	INPUT=HDMI2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 32h 0Dh
	HDMI 1X2	INPUT=HDMI1X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 58h 32h 0Dh
	DVI-1	INPUT=D-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	DVI-2	INPUT=D-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	DVI-3	INPUT=D-RGB3<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 33h 0Dh
	DVI-4	INPUT=D-RGB4<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 34h 0Dh
	DVI 1X2	INPUT=D-RGB1X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 58h 32h 0Dh
	DVI 2X2	INPUT=D-RGB2X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 32h 58h 32h 0Dh
	DVI 1X4	INPUT=D-RGB1X4<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 58h 34h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	フォト /sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	DICOM SIM	IMAGE=DCM_SIM<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 43h 4Dh 5Fh 53h 49h 4Dh 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ設定	BRI=＜数値＞<CR>	42h 52h 49h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh
シャープネス	シャープネス設定	SHARP=＜数値＞<CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト設定	CONT=＜数値＞<CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh ＜数字コード＞ 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード	フルパワー	LAMP=FULL<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 46h 55h 4Ch 4Ch 0Dh
	エコ	LAMP=ECO<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 45h 43h 4Fh 0Dh
ランプモード取得		GET=LAMP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 4Ch 41h 4Dh 50h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

LED インジケーターの警告

本体に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLEDインジケーターが点灯または点滅し続けます。

- 本体の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、清掃または交換を行ってください。（P152、P154）再度、同じ警告が出る場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGとLAMPが点灯	ランプの異常	ランプが点灯しません。電源を入れ直して、ランプが点灯するか確認してください。それでもランプが点灯しない場合は、新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じ警告が出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが３回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターが取り付けられていません。エアフィルターが正しく取り付けられているか確認してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGが３回点滅を繰り返し、LAMPが点灯	ランプカバーの異常	ランプカバーが開いています。電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。 ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
WARNINGのみが４回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

LED インジケーターの状態	内容	原因と対処
WARNINGのみが5回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じ警告が出る場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■ 電源が入らない

原　因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。（P50）
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1 秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。（P51）
ランプカバーが開いている	電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。
吸気口または排気口がふさがれて本体内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても［POWER］インジケーターは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでいるものを取り除き、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。（P154）
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック（P106）が設定されているか確認してください。

■ 映像が投写されない

原　因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。（P43、P44） また、再生する機器によってはHDMI入力が正常に動作しない場合があります。その際にはHDMI-1 端子に再接続し入力を選択してください。（P43、P44、P94）
電源を入れて 20 秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。（P20、P23）

原　因	対処のしかた
AV 機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVD などで、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本体の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。（P22）
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく［INPUT］メニューから選ばれていることを確認してください。（P54）
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。（P54、P161）
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。（P69）
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れ直してください。
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの［Fn］を押しながら、［LCD］や［VGA］または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながらP キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。（P53） なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書などを確認してください。
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面（マルチディスプレイ）モードになっていないかを確認してください。2 画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を複製表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。

■ 音声が出ない

原　因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。（P43、P44）
MUTEになっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。（P24）
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。（P20、P24）
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が［切］になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。（P107）

■ 映像が鮮明でない

原　因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。（P58）
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。（P40）
本体がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、キーストーンの補正機能で補正できます。（P63）
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。（P152）
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。（P109）
MB リダクションが設定できない	イメージモードが［DICOM SIM］の場合には、MBリダクションが設定できません。

■ 映像が正しく表示されない

原　因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。設置設定メニューで［反転表示］の設定内容を確認してください。(P92)
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	全てのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

■ 電源が切れてしまう

原　因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本体内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。（［WARNING］インジケーターと［TEMP］インジケーターが点灯します。）本体の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P19、P51)
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの清掃または交換を行ってください。(P152、P154)
ランプが破裂している（またはランプの異常）	ランプが破裂している場合は「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」(P9) に従って対応してください。
使用環境が適正でない	使用環境が 0 ℃～ 40 ℃であることを確認してください。(P13) 海抜2,300m以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの［プロフェッショナル設定］の［高地設定］を［入］にしてください。(P96)

■ ネットワークに接続できない

原　因	対処のしかた
LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていない	プロジェクターに LAN ケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていることを確認してください。（P114）
電源を入れて約 40 秒経過していない	電源を入れた直後の約40秒間はネットワークに接続できません。約40秒以上経過してから再度ネットワークに接続してください。（P126）

■ リモコンの操作ができない

原　因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。（P25）
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。（P26）
リモコンと本体の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。（P26）
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで［リモコンチャンネル］の設定を確認できます。（P107）
キーロックでリモコンの操作を禁止している	［キーロック］でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで［キーロック］を［切］に設定してください。（P106）

索引

英数字
4 点補正 64
6 軸色調整 89
AMX Device Discovery 121
ASPECT 62
BLANK 69
Crestron RoomView 121
FREEZE 69
HDMI 端子 22, 43, 44
IMAGE 66
INPUT 54
KEYSTONE 63
LAN 端子 22
LED インジケーター 21, 171
MENU 72
OK 20, 23
PJLink 120, 134
POWER 51, 68
USB 端子 22
WARNING インジケーター 21, 171

あ
明るさ 86
アスペクト 62
アンビエントライト 87

い
イメージ調整 72, 84
イメージモード（画質） 66
インフォメーション 72, 122

え
エアフィルター 19, 152, 154
映像の重なった部分の明るさを調整する 141
エッジブレンディング 4, 97, 141

お
オート（アスペクト） 62
音声出力端子 22
音声入力端子 22

か
外部モニター切り換え 53
環境光による影響 87
ガンマ補正 86

き
キーストーン 63
キーロック 106
記憶色補正 88
起動時画面 103

け
言語 110

こ
光学的なズーム 58
コントラスト 86

し
システム設定 72, 102
シャープネス 86
信号形式 161

す
スーパーホワイト 82
スクリーン色補正 100

せ
接続端子 22
　AV 機器との接続 44

た
台形ひずみ調整 63
ダイナミックガンマ 88
ダイレクトパワーオン 109

て
デジタル PC / DVI-D 端子 22
テストパターン 160
天吊り 29, 30, 92

に
入力信号選択 54
入力端子 22

ね
ネットワーク設定 72, 114
ネットワークパスワード 116

の
ノイズリダクション 88

は

パスワード 111, 112

ひ

表示解像度（コンピューターの準備）....56
表示言語の選択 52, 110
表示状態を設定する 72, 80

ほ

本体操作部 20

ま

マルチインプット 46, 93

め

メニュー 72

ら

ランプ交換 156, 157
ランプモード 90

り

リア投写 29, 92
リアル（アスペクト）.....62
リセット 65, 90, 113
リモコン 23, 24, 25, 107

れ

レンズシフト 41, 60

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

■修理を依頼される前に

171 ～ 176 ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

別売品

- 天吊り金具　品番：RS-CL15
- 天吊りパイプ（400-600mm）品番：RS-CL08*
- 天吊りパイプ（600-1000mm）品番：RS-CL09*
- 交換エアフィルター　品番：RS-FL03
- 交換エアフィルタ付き交換ランプ　品番：RS-LP10F
- リモコン　品番：RS-RC05
- リモコン　品番：RS-RC04

* 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	→	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

［受付時間］〈平日〉9:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT-7497-000
© CANON INC. 2016